

平成 19 年

2007 年

三重県立総合医療センター一年報

1. 病院の概要

(1) 沿革

- 昭和23年 8月 三重県医師会より旧海軍燃料廠附属病院を継承し三重県立医学専門学校・三重県立医科大学附属塩浜病院として発足
初代院長 渡辺 篤 病床数 113 床
- 24年 6月 二代院長 高安 正夫
- 25年 4月 塩浜病院乙種看護婦養成所を設立
12月 病床数 134 床 (普通病床 99 床・結核病床 35 床) 許可
生活保護法に基づく保険医療機関指定
- 27年 借用中の国有財産(土地 7,270 坪・建物 18 棟、1,809 坪)を譲り受ける
- 28年 2月 第6病棟(木造平屋建)竣工
4月 県立大学医学部附属塩浜病院准看護婦学校に推移
5月 「総合病院」の名称使用承認。
- 30年 7月 鉱工業の医学に及ぼす影響及び産業従事者の特殊疾患の研究を目的として病院敷地内に産業医学研究所設立
- 31年 7月 第1病棟(鉄筋コンクリート2階建)竣工
- 32年 3月 第3病棟(鉄筋コンクリート2階建)竣工
8月 病床数 307 床 (一般 220 床・結核 87 床) 許可
健康保険法に基づく保健医療機関指定
- 33年 10月 基準看護(一般・結核)、基準給食承認
11月 病床数 307 床 (一般 208 床・結核 87 床・伝染病 12 床) 許可
- 34年 1月 東5病棟(鉄筋コンクリート4階建)竣工
国民保険法に基づく保険医療機関指定
9月 病床数 465 床 (一般 354 床・結核 99 床・伝染病 12 床) 許可
11月 中央治療棟(鉄筋コンクリート3階建)竣工
- 35年 1月 県立大学行政機構改革に伴い三重県立大学医学部附属塩浜病院、県立大学医学部附属准看護婦学校へ改称
- 36年 10月 手術室、ボイラー室及び変電室竣工
- 37年 5月 病床数 465 床 (一般 354 床・結核 91 床・精神病 8 床・伝染病 12 床) 許可
8月 病床数 465 床 (一般 354 床・結核 99 床・伝染病 12 床) 許可
- 38年 3月 外来診療B棟(鉄筋コンクリート2階建)竣工
- 39年 3月 外来診療A棟(鉄筋コンクリート2階建)竣工
7月 基準寝具承認
12月 看護婦宿舎(鉄筋コンクリート4階建)竣工
- 40年 4月 三代院長 藤野 敏行
第5病棟2階に公害患者のための空気清浄室設置

- 41年 2月 病床数 465 床（一般 354 床・結核 52 床・精神病 47 床・伝染病 12 床）許可
5月 「救急病院等を定める省令」に基づき救急病院の告示
- 44年 4月 四代院長 宮地 一馬
- 48年 3月 院内保育所（木造平屋建）竣工
- 49年 4月 五代院長 高崎 浩
県立大学の国立移管により三重県立大学医学部附属塩浜病院を廃止し、三重県立中央病院として発足
県立大学の国立移管により県立大学医学部附属准看護婦学校を廃止。塩浜高等看護学院を設立
- 9月 病院名称を三重県立中央病院から三重県立総合塩浜病院に改名
- 50年 6月 六代院長 森 幸夫
- 51年 4月 解剖霊安棟（木造）を鉄筋 2 階建に改築
5月 給水、ボイラー、焼却及び電気設備を改修
- 52年 4月 第 5 病棟西棟（木造 2 階建）を鉄筋コンクリート 4 階建に改築
- 53年 4月 第 1 病棟 1 階を検査室と薬品倉庫に改修
- 54年 3月 防災設備（スプリンクラー等）を改修
- 54年 9月 病院群輪番制病院に
- 55年 8月 外来棟冷房設置及び駐車場を整備
- 57年 8月 基準寝具承認
- 58年 1月 医事業務の電算化
3月 第 3 病棟の病床を第 5 病棟に移設（7 看護単位とする）
塩浜高等看護学院廃止
6月 X線コンピューター断層診断装置を設置
- 59年 3月 第 6・7 病棟、第三宿舎、倉庫 2 棟の木造建築を解体撤去
8月 結核病床 52 床、精神病床 47 床、伝染病 12 床を廃止、一般病床 354 床許可
- 60年 3月 食器洗浄棟を設置
- 61年 12月 県立総合病院整備基本計画策定
- 62年 3月 注射用与薬車を全病棟へ導入
錠剤自動分包機導入
- 平成 2年 3月 高周波加速電界発生機器収納施設（ライナック治療棟）設置
3年 3月 県立総合医療センター建設用地取得
4月 七代院長 杉山 陽一
4年 1月 県立総合医療センター建設工事着工
3月 県立総合医療センター（一般 350 床、救命救急センター 30 床）開設許可
7月 県立総合医療センターヘリポート設置許可承認
- 5年 4月 夜間看護等加算の承認
6月 県立総合医療センター医師公舎、看護婦宿舎、院内保育所建設工事着工
- 6年 3月 県立総合医療センター医師公舎建設工事完成
4月 医事課を医事経営課に改める

- 6月 総合医療センター建設工事完成
- 9月 県立総合塩浜病院閉院
- 10月 県立総合医療センター開院
 - 救急病院の指定
 - 身体障害者福祉法による更生医療指定病院の承認
 - 結核予防法指定病院の承認・生活保護指定病院の承認
 - 母子保健法による養育医療指定病院の承認
 - 臨床研修指定病院の承認
 - 保険医療機関の指定承認
 - 労災保険指定病院の変更承認・労災保険義肢採型指導医の指定変更承認
 - 労災アフターケア実施医療機関指定変更承認
- 7年 4月 NICU施設承認
- 8年 2月 エイズ拠点病院の選定
 - 4月 八代院長 宗行 万之助
- 9年 1月 災害拠点病院の指定
- 11年 4月 九代院長 鈴木 宏志
 - 適時適温給食導入
- 12年 1月 西棟・手術棟完成
- 13年 3月 6階東病棟改修完了
 - 4月 第二種感染症病床指定医療機関の指定
 - 病床数（一般412床、救命救急センター30床、感染症病床4床）許可
 - 7月 セミオープンベットの開設
- 14年 8月 地域がん診療拠点病院の指定
 - 10月 十代院長 小西 得司
- 15年 3月 地域周産期母子医療センターの選定
 - 8月 新オーダーリングシステム導入
 - 9月 救命救急センター HCU、ICU、CCU に分離
 - ICU、CCU 7床→6床
- 16年 2月 （財）日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
 - 3月 パーキングシステム設置
 - 4月 患者相談窓口を設置
 - 6月 化学療法室を開設
- 17年 11月 太陽光発電システム設置
- 18年 1月 緩和外来開設
 - 8月 電子カルテ稼動

(2) 施設設備の概要

所在地 四日市市大字日永 5450 番の 132

●病床数

一般……………	412 床
感染症病床……………	4 床
救命救急センター……………	30 床
計	446 床

●診療科目

内科	脳神経外科	眼科	循環器科
小児科	耳鼻いんこう科	呼吸器科	産婦人科
精神科	消化器科	整形外科	神経内科
外科	リハビリ科	放射線科	心臓血管外科
皮膚科	麻酔科	呼吸器外科	泌尿器科

●本館敷地・建物概要

敷地面積……59,450.90 m²

建物規模……地下1階、地上7階、塔屋2階

建物構造……高層部SRC造、低層部RC造

建築面積……9,549.15 m²

延床面積……29,176.89 m²

駐車台数……約700台

●附属施設

医師公舎 R C 2階建、延床面積： 517.86 m² (12戸)

看護師宿舎 R C 3階建、延床面積： 1,758.99 m² (68室)

院内保育所 R C 平屋建、延床面積： 233.40 m²

●厚生施設

食堂(7階)、売店、喫茶、自販機コーナー、授乳室(1階)

●付帯設備

電子カルテシステム

医療情報システム(オーダーリングシステム)

院外処方FAXステーション

災害備蓄倉庫

●電気設備

受変電設備受	電電圧 6.6kV 変圧器容量 3,800kVA
非常用発電機設備	ガスタービンエンジン 3相3線 6.6kV1,000kVA×1台 ディーゼルエンジン 3相3線 220V200kVA×1台 ディーゼルエンジン 3相3線 220/100V150kVA×1台
非常用発電機燃料設備	地下タンク 40,000L (A重油)
無停電電源設備	医療用定格出力 75kVA リニア搬送設備用定格出力 30kVA×1台 15kVA×1台
電気時計設備	親時計 1台、子時計 268台
電話交換設備	電子交換機中継台方式 一般電話機、多機能電話機、コードレス電話機、PHS
放送設備	非常・業務兼用定格出力 1,320W 系統 50
ナースコール	ベッド単位方式同時通話 PHS 対応
自動火災報知設備	GR型複合型受信機 (2系統、832回線)
その他	照明制御装置、避雷設備、中央集塵設備、投薬表示設備、電気錠、防犯カメラ設備、太陽光発電装置

●空気調和設備

主熱源	空気熱源スクルーヒートポンプ冷凍機 2台、ガス焚冷温水発生機 1台 合計約 610 冷凍トン
主空調方式	空気調和機、ファンコイルユニット、パッケージエアコン
空調制御設備	中央監視設備による自動制御 (病室用パッケージエアコンを除く)
換気設備	給気設備、排気設備

●給排水衛生設備

給水設備	上水受水槽 216,000L×1台 井水受水槽 102,000L×1台 上水高架水槽 60,000L×1台 井水高架水槽 40,000L×1台
排水設備	厨房・洗濯排水系、人工透析・解剖室排水系、生活排水系、検査系の 4 系 統処理能力 712 m ³ /日 R I 排水処理設備処理能力 0.2 m ³ /日
ボイラー設備	炉筒煙管式ボイラー 2基最高使用圧力 10kg/cm ² 最大蒸発量 2.4t/h
医療ガス設備	液体酸素、気体酸素、笑気、窒素、圧縮空気
エレベータ設備	一般用 2台業務用 3台配膳用 1台ヘリポート搬送用 1台検体搬送用 1台

●リニア搬送設備

	21ステーションキャリア・コンテナ各 40台 走行レール全長 1,031メートル
--	---

- ヘリポート設備 陸上ヘリポート (屋上) 耐重量6.4t
着陸帯 22メートル (長さ) ×18メートル (幅)

●高額備品一覧

資産名称	メーカー	構造規格	数量
患者監視装置(医療用テレメタ)	フクダ電子	DS-7640	1
患者監視装置	日本光電	CNS-9303	1
心臓超音波診断装置 (NICU)	フィリップス	SONOS5500	1
フィールドアナライザー	カールツァイス	H F A II 750	1
眼科レーザー光凝固装置	トーマー	MD S 1000	1
超音波白内障手術装置	アルコン	レガシー2000	1
救急X線撮影装置	シーメンス	ベルチックス 3D-3	1
患者監視装置システム	日本光電		1
心臓超音波診断装置(救命センター)	フィリップス	SONOS5500	1
鼻マスク式人工呼吸器	ゾ・レスピ・ロニクス	BiPAPVision	1
外科用超音波診断装置	G E横河	LOGIQ200MDpro	2
ガンマ線検出システム	センチュリーメテikal	NE02000	1
頭腹部アンギオ装置	東芝	スーパーG	1
脳機能検査装置	日本光電	EEG4524/BF	1
免疫測定装置	バイエルメテikal	ケミル ADVIA Centaur	1
長時間心電図記録解析装置	フクダ電子	SCM-6000	1
脳波計	日本光電工業	EEG-1714	1
一般検査システム	シスメックス	UF-100 他	1
全自動輸血検査装置	オリンパス	ID-GelStasion 他	1
全自動細菌検査装置	日本ビオメリュー	バイテック 2 システム	1
生化学自動分析装置	日本電子	JCA-BM1250	2
総合肺機能検査システム	チェスト	CHESTPkC-8800 BDN 型	1
総合血液検査システム	シスメックス	XE-A1phaN	1
血液ガスシステム	バイエルメテikal	フビットポイント 405	1
産婦人科用超音波診断装置	持田製薬	MEU-1585	2
分娩監視装置	フィリップス	OBトレスビュー、M1351A 他	1
超音波診断装置	G E横河	LOGIQ400MD	1
患者監視装置(モニタリングシステム)	日本光電	M 1 166 A	1
移動型外科用X線装置	フィリップス	BV Libra	1
筋電計	ニコレー	バイキングIV	1
内視鏡下血管採取システム	バイタル	ハルビューエントスコープ	1
X線テレビ装置	東芝	DBA-300A	1
膝関節鏡視下手術セット	ストラッカー、ジンマー他		1

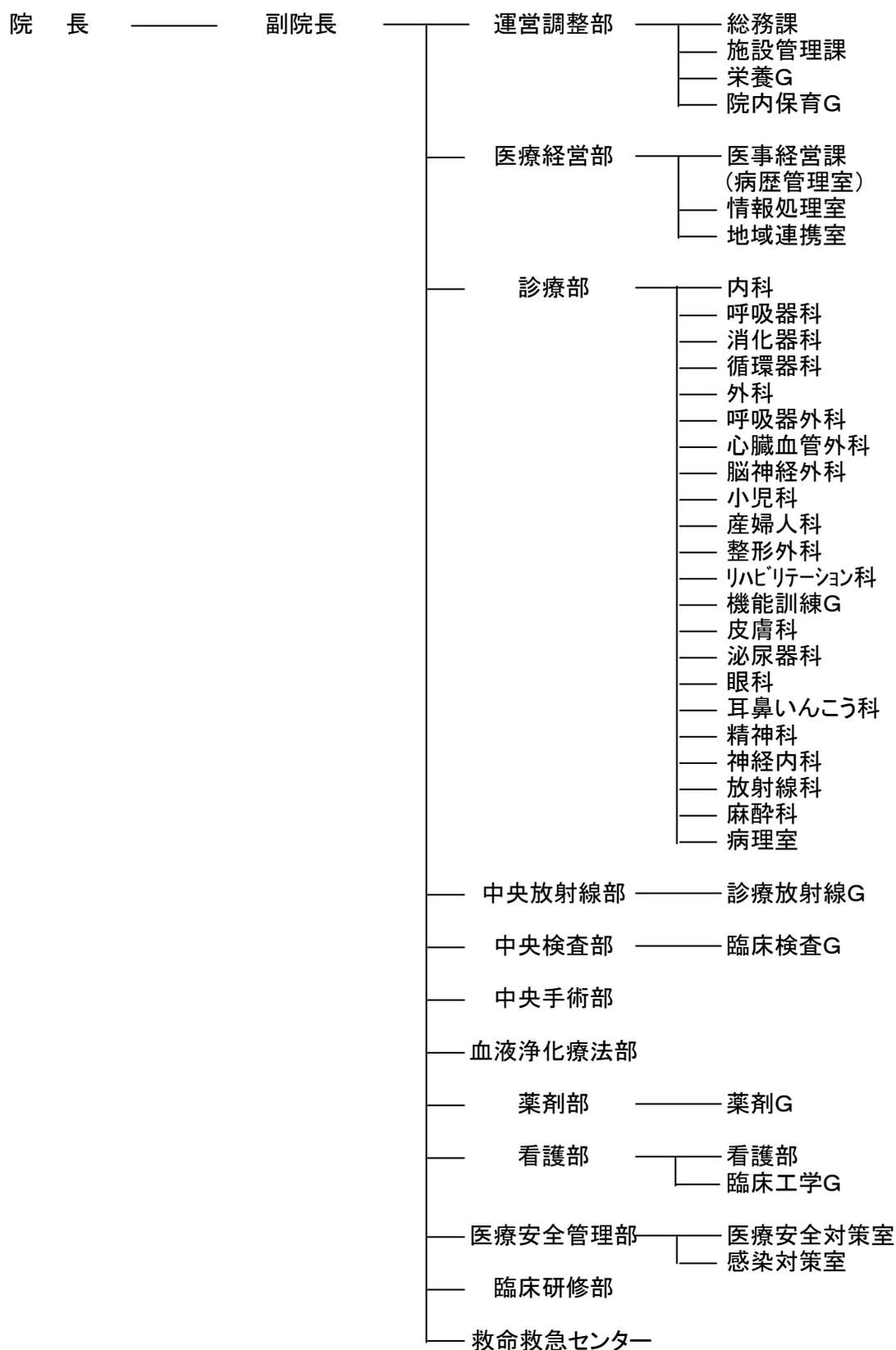
資産名称	メーカー	構造規格	数量
診断用 X線撮影装置	東芝	KOX-50F	2
多軌道断層撮影装置	島津	HLZ-110	1
心アングロ装置	シーメンス	コロスコプ HS	1
C T装置	東芝	X Vision	1
ライナックシステム	三菱	EXL-15SP	1
ガンマーカメラ	東芝	GCA-7200	1
内照射装置(マイクロレプトン)	千代田テクノル	HDR 1 9 2 1 r	1
誘発電位・筋電図検査装置	日本光電	MEB-2208	1
X線テレビ撮影装置	東芝	DBA-300 A	1
超音波診断装置 (心エコー室)	フィリップス	SONOS5500	1
乳房X線撮影装置	インスツルメンタルユー・イメージング	アルファ R T型	1
腹部超音波診断装置	シーメンス旭メデテック	ソラインアンタレス	1
X線コンピュータ断層撮影装置	東芝メディカル	AquilionMULTI(16列)	1
磁気共鳴診断装置	シーメンス旭メデテック	MAGNETOM Symphony	1
腹部超音波診断装置(中央放射線部)	東芝メディカルシステムズ	nemio-10	1
X線テレビ装置	東芝	Winscope5000	1
腹部超音波診断装置	東芝メディカルシステムズ	AplioSSA-770A 他	1
一般撮影システム	フジフイルム	F C R	1
内視鏡ビデオシステム	オリンパス	OTY-SX2C 他	1
電子内視鏡システム	オリンパス	EVIS LUCERA CV-260	2
超音波内視鏡システム	オリンパス	EU-M2000	1
脳神経外科用手術顕微鏡	カールツァイス	OMUNI Pentero	1
泌尿器科用超音波診断装置	アロカ	ProSound SSD-4000	1

(3) 学会認定状況

- ・日本内科学会認定医制度教育病院
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本脳神経外科学会専門医訓練施設（A項施設）
- ・日本医学放射線学会専門医修練協力機関
- ・日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設
- ・日本呼吸器外科学会専門医認定制度指定関連施設
- ・日本循環器学会専門医研修施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本神経学会教育関連施設
- ・日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- ・日本大腸肛門病学会専門医修練施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期新生児専門医暫定研修施設
- ・日本ペインクリニック学会認定指定研修施設
- ・日本透析医学会専門医制度教育関連施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- ・日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医関連施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本呼吸器学会認定施設

(4) 三重県立総合医療センター組織図

平成19年4月1日現在



業務委託 医事業務、夜間休日警備、電話交換業務、施設管理中央監視、検体検査業務、医療用具等の滅菌消毒業務、患者給食業務、患者搬送業務、医療機器の保守点検業務、寝具等の洗濯業務、施設の清掃業務、医療ガス供給設備の保守点検業務、感染性廃棄物の処理業務

(5) 職種別定数及び現在員数

平成19年4月1日現在

職 種 \ 区 分		定数	現在員	過不足	嘱託・業務補助
一 般 職	一 般 事 務 職	21	22	1	11
	電 気 技 師	1	1	0	
	情 報 技 師	1	1	0	
	保 育 士	4	3	-1	8
	医 師	93	76	-17	
	薬 剤 師	15	13	-2	1
	管 理 栄 養 士	3	3	0	1
	臨 床 検 査 技 師	20	21	1	2
	診 療 放 射 線 技 師	18	16	-2	
	理 学 療 法 士	4	4	0	
	作 業 療 法 士	2	1	-1	
	言 語 聴 覚 士	1	1	0	1
	臨 床 工 学 技 士	3	3	0	
	看 護 師	308	292	-16	33
	准 看 護 師	0	0	0	7
	医 療 福 祉 技 師	3	1	-2	
	保 健 師	1	1	0	
	社 会 福 祉 士			0	
	司 書			0	1
	診 療 情 報 管 理 士	2	2	0	
小 計	500	461	-39	65	
現 業 職	病 院 施 設 管 理 員	4	4	0	
	看 護 助 手	4	4	0	4
	看 護 補 助			0	15
	労 務 員			0	1
	小 計	8	8	0	20
合 計	508	469	-39	85	

2. 各セクションの状況

(1) 平成 19 年度診療実績

循環器科

当科は心臓血管疾患および高血圧等循環器疾患を広くに担当しております。

心臓血管疾患では、虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、心臓弁膜症、心筋症、不整脈、ペースメーカー植込み、先天性心疾患、肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症、大動脈疾患などを扱い、さらに救急診療としましては、心不全、急性心筋梗塞、不安定狭心症、不整脈、大動脈解離、肺血栓塞栓症などの循環器救急に迅速に対応すべく待機医を配しております。また心臓血管外科医と密な連携をとり対処しております。

虚血性心疾患の方には、非侵襲的な核医学検査とともに必要と思われる患者様には積極的に心臓カテーテル検査を行っております。左心カテーテルの穿刺部位は肘の動脈(上腕動脈)、手首の動脈(橈骨動脈)、太ももの動脈(大腿動脈)を使用しておりますが、なるべく患者様の負担にならないよう肘か手首の血管を選択するようにしております。冠動脈疾患の場合、患者様の背景、重症度、年齢、糖尿病の有無などに応じて、内科的保存療法(投薬観察)か、バルーン、ステントなどによる冠動脈形成術か、冠動脈バイパス術かを厳密に選択しております。冠動脈インターベンション(冠動脈形成術)では、穿刺部位は手首の血管をほとんどの例で使用していますので、侵襲が少なく術後安楽にお過ごしいただけます。また再狭窄の少ない薬剤溶出性ステントを必要と判断される患者様には積極的に使用するようし、再狭窄の減少とともに確実な治療成果を目指しています。

高齢化に伴い種々の心疾患を基礎とする心不全患者様が激増しており、必要性および重症度に応じて入院投薬治療、補助循環装置の利用等手段を駆使して病態に則した治療を行い、また再入院を減らすよう努めております。

不整脈疾患に対しては、確実な診断と、投薬やペースメーカーによる治療にあたっています。より高度な不整脈治療を希望される場合は、大学病院の専門医に紹介させていただく場合もあります。

肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症に対しては、下肢静脈エコー、静脈造影、心エコー、マルチスライス CT、肺血流シンチ、肺動脈造影などを使用して、正確な診断と適正な治療(抗凝固療法、血栓溶解療法、回収可能型下大静脈フィルター留置術など)を行っております。

大動脈疾患に関しては、当院の血管外科との綿密な連携により、迅速かつ最も安全で確実な治療を提供しています。

以上、循環器疾患は緊急性が高いため、当科は 24 時間、365 日体制で複数の医師が当直または待機にて診療させていただいております。当院にかかりつけの患者様のみならず、近隣遠隔を問わず、他医、他院よりの紹介患者様においても病診連携の意味から、幅広く対応させていただいております。

◆入院疾患の概要

疾患名	事例数
狭心症	224
心不全	232
急性心筋梗塞	86
慢性虚血性疾患	172
肥大型心筋症	14
拡張型心筋症	14

◆主疾患を含む治療成績

冠動脈造影総数 515 例

経皮的冠動脈形成術数 161 例

初期成功率 95% (153/161 例)

ステント挿入 148 例 (内 薬剤溶出ステント 128 例)

POBA (拡張のみ) 13 例

ペースメーカー植え込み術 28 例(新規 18 例 交換 10 例)

◆主疾患プロトコール

冠動脈造影検査 経皮的冠動脈形成術 急性心筋梗塞

急性大動脈解離 ペースメーカー植込み・電池交換

呼吸器科

主な疾患について記します。

<肺癌>

がん拠点病院の指定を受け、肺癌に対する集学的治療を最大のテーマとしています。患者様の人間性を尊重し、病名はもちろん、病状、治療法、予後についても患者様ご本人及びご家族に説明し、理解していただいたうえで、一緒に癌と向き合う姿勢をとっています。たとえ進行癌や高齢者であっても、本人の治療希望があり、化学療法に耐えうるとこちらが判断した場合には、延命を目指して積極的に化学療法を行っています。また生活の質を重視し、外来化学療法を推進することで、入院日数の短縮や在宅期間の延長に努めています。

<気管支喘息>

急性期病院として大発作による呼吸不全に対しては、人工呼吸管理を含む集中治療を行っています。慢性安定期には吸入ステロイドを主体とした治療とピークフローメーターや喘息日記を用いた自己管理指導を行っています。

<慢性閉塞性肺疾患 COPD>

かつて肺気腫と呼ばれていた「タバコ病」です。長時間作動型吸入抗コリン薬などによる治療や呼吸リハビリテーションにより労作時息切れなどの改善を目指します。重症例には在宅酸素療法や在宅人工呼吸管理を行っています。また、本疾患は肺炎併発リスクが高く、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンによる感染予防を推奨しています。急性増悪による呼吸不全にはマスク型人工呼吸器を用い救命を目指しています。

<肺炎>

抗生物質の進歩した現在においても肺炎は日本人の死因の第4位であり、高齢者や進行した慢性疾患を有する患者様においてはしばしば致死的となります。当科では学会ガイドラインに基づいた正確な肺炎重症度評価を行ったうえで治療を行っています。その一方、非高齢者や基礎疾患のない患者様に対しては、不要な入院は避けて経口抗菌薬による通院での治療を推奨しています。

<その他、留意していただきたいこと>

1. 気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患などの慢性疾患については、その増悪時には管理・治療を行います。急性期を過ぎれば地域の開業医さんを紹介させていただいておりますので、ご理解をお願いいたします。
2. 当院には結核病棟がありませんので、排菌性結核の方は他病院を紹介させていただくことになります。
3. 睡眠時無呼吸症候群に関しては、検査機器の関係でスクリーニング検査しか行っていません。
4. 禁煙外来は開設していません。
5. 訪問診療はおこなっていません。

◆入院疾患の概要

疾患名	事例数	備考
肺癌	274例	
肺炎	187例	34例はCOPD
慢性閉塞性肺疾患 COPD	91例	
自然気胸	45例	
間質性肺炎	12例	
気管支喘息	31例	

◆主疾患（悪性疾患）を含む治療成績（5年生存率など）

肺癌は治療成績がよくない癌の一つです。長年の喫煙で肺機能が損なわれている高齢者に多いことや、進行例での発見が多いことなどが、その理由です。

手術可能例は呼吸器外科にて手術を行っていますが、手術不能進行例や術後再発例は当科にて化学療法や放射線照射を行っており、平均を上まわる治療成績を出しています。

◆主疾患治療プロトコール（クリパスを含む。）

クリニカルパス

1) 呼吸リハビリテーション：対象は慢性閉塞性肺疾患。12日間。

2) 睡眠時呼吸検査：1泊2日。スクリーニングのみ。

◆その他

当科は日本呼吸器学会および日本呼吸器内視鏡学会の認定施設です。

また、日本アレルギー学会の準認定施設でもあります。

消化器科

消化器科は消化器疾患全般について診療しております。

胃十二指腸潰瘍に対して、内視鏡的止血術、ピロリ菌感染の診断と除菌治療。また、消化管悪性腫瘍に対して、内視鏡検査を中心に、早期診断・内視鏡的治療・外科手術が必要な場合は外科との連携による的確な紹介を行っています。

また、B型あるいはC型肝炎ウイルスによる慢性肝炎、肝硬変に対するインターフェロンによるウイルス排除、肝癌に対する動脈塞栓術・リザーバ動注療法を行っております。またラジオ波焼灼療法や肝移植が適応となる患者様については三重大学病院等と密に連絡をとり適切に御紹介させていただいております。

今後は、消化器癌の症例増加を踏まえて、これまでの治療方針に加えて、さらに、大腸内視鏡検査数の増加・超音波内視鏡検査による癌診断の充実・進行癌に対する抗癌剤治療さらに、末期癌症例に対する緩和医療などにも取り組んでいきたいと考えています。

◆平成 19 年診療実績

肝癌	106
大腸ポリープ	106
胆石症	127
胃癌	146
胃潰瘍	61
腸閉塞	123
肝不全	48
胃腸炎	163
食道癌	45
大腸癌	167
肝硬変	69

◆主疾患治療プロトコール

胃・大腸ポリペクトミークリパス

ウイルス肝炎に対するインターフェロン治療クリパス

肝癌に対する動脈塞栓術、エタノール局注、ラジオ波焼灼療法のクリパス

食道静脈瘤内視鏡的治療クリパス

などがあります。

◆その他

平成 19 年年間消化器検査及び処置施行数（下記は当院全体の施行数です）

上部消化管内視鏡	2038 例
上部消化管内視鏡的ポリープ切除術	21 例(内 ESD12 例)
食道静脈瘤硬化療法/結紮術	23 例/18 例
下部消化管内視鏡	1072 例
下部消化管内視鏡的ポリープ切除術	316 例
超音波内視鏡	28 例
内視鏡的逆行性膵胆管造影	295 例
内視鏡的胃ろう造設術	67 例

神経内科

神経内科は「内科的な神経疾患」を中心に診療を行います。

脳卒中を始め、頭痛、めまい、手足のしびれなど日常的な症状から、筋肉・末梢神経の疾患やパーキンソン病・脊髄小脳変性症・多発性硬化症・痴呆症などの各種変性疾患や専門疾患などを担当します。

CTやMRIなどの画像検査を始め、神経の機能を調べる神経生理検査や高次脳機能検査などの専門検査での評価・治療を行います。

特殊治療では、眼瞼痙攣・顔面痙攣・痙性斜頸へのボツリヌス局所療法も行っています。脳卒中に対しては、当院では脳卒中ユニットによるチーム医療を特徴とし、脳神経外科との合同診療を行っています。

◆平成19年入院疾患の概要

入院患者 311 人

疾患名	事例数	備考
脳梗塞/TIA	196	血管・脳血流評価し手術適応判定
脳出血・脳腫瘍	5	脳出血は原則脳外科入院
変性疾患・代謝性疾患	21	Parkinson 病・小脳変性症など
末梢神経・筋肉疾患	8	末梢神経疾患・筋炎など 生検施行
脊髄・脊椎疾患	14	脊髄・脊椎疾患
運動ニューロン疾患	11	ALS など
感染・炎症・脱髄疾患	13	MS・脳炎・髄膜炎など
認知症(痴呆症)	3	認知症・水頭症など
機能性疾患・その他	40	てんかん・頭痛・めまい・心因性など

◆主疾患を含む治療方針と成績

- ・脳卒中：脳神経外科との合同チーム医療(脳卒中ユニット)を形成。
毎日24時間迅速なる対応が可能としています。急性期脳血管障害の判定を行い、可能例には血栓溶解療法を始め、最適な治療方法を選択し加療を行います。

平成19年度 脳梗塞・TIA 入院患者 195 名

- ・超急性期加療：脳梗塞発症3時間以内の超急性期加療として当院では脳卒中学会ガイドラインに基づきt-PAを用いた加療も行っております。

平成17年認可後 t-PA 使用患者 17 人

- ・ボツリヌス局所療法

眼瞼痙攣・顔面痙攣・痙性斜頸に対しての局所注射療法

短時間で外来で可能。併行して頭蓋内画像検査、神経生理検査で評価を施行

平成19年 55 人局所注射施行

◆主疾患治療プロトコール

- ①脳梗塞：1週間評価コース、2週間治療自宅退院コース、4週間治療・リハビリ転院コースなど病状にあわせ選択施行
- ②眼瞼痙攣・顔面痙攣・痙性斜頸：ボツリヌス局所注射療法
- ③物忘れ・脳卒中評価：2-3日間の短期精査診断コース
- ④多発性硬化症へのインターフェロン導入コース
- ⑤γグロブリン大量両方(IVIg療法)
- ⑥他

日本内科学会認定医 2名・指導医 1名

日本神経学会専門医 1名

日本脳卒中学会専門医 1名

日本臨床神経生理学会認定医 1名

日本神経学会教育関連施設

日本脳卒中学会研修教育病院

ボツリヌス施行有資格者 当科 2名

研修医にも資格取得し施行してもらっております。

◆ その他

逆紹介制度：基本的に外来・入院を問わずに、病状が安定した後にはかかりつけ医の医療機関へ逆紹介させていただきます。

外科

消化管の手術は、胃癌、大腸癌、胆石症、虫垂炎、腸閉塞を対象に、腹腔鏡下手術を積極的に行っており、平成 19 年では 140 例と消化器手術のうち約 4 割の実施率です。胆嚢炎では、炎症の程度、開腹の既往の有無にかかわらず全例腹腔鏡下手術の適応とし、開腹移行率は 1%前後と良好な結果をおさめています。総胆管結石症には、消化器内科医と協力し腹腔鏡下胆嚢摘出術と同時に内視鏡下で総胆管結石を採石する「ランデブー・メソッド」を取り入れ、総胆管結石を伴う胆嚢結石症の患者様の入院期間短縮に貢献しています。虫垂炎の腹腔鏡下虫垂切除は、在院日数の短縮のみならず遺残膿瘍、創感染の軽減などのメリットを認めます。

直腸癌治療は、三重大学消化管・小児外科学講座との連携により、当院の放射線治療医の指導のもと、術前化学放射線療法を施行し、局所再発の軽減をはかり自然肛門を可能な限り残す治療をおこなっています。肛門括約筋の温存術(ISR)は、癌の位置や大きさ、深達度により可能です。

乳癌治療では、乳房温存療法、センチネルリンパ節生検による腋窩リンパ節郭清省略をとり入れるほか、術前化学療法により乳房温存率が向上し、手術の縮小化がはかられています。

抗癌剤治療は外来化学療法室で通院で行い、各癌腫の術後(術前)化学療法のほか、進行再発癌に対する QOL 改善、延命を目指す治療を行っています。月 1 回の化学療法安全運営会議をもち、治療レジメンの吟味・処方内容の院内統一を行い、一定の安全管理システムと適切な支持療法のもとに実施されています。治療用ベッドは年内に増床の予定です。

緩和ケアは、緩和治療医 2 名、薬剤師 1 名、看護師 2 名、臨床心理士 1 名にて構成される緩和ケア・チームが週 2 回の外来と院内回診を行い、精神的・肉体的・社会的緩和のための支援を行っています。

◆ 手術症例の概要

食道癌	7 例
胃癌	63 例
大腸癌	75 例
肝・胆・膵癌	20 例
乳癌	56 例

◆主疾患（悪性疾患）を含む治癒成績

- 1) 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術の経口摂取の平均は 3.5 日、在院日数の平均は 12 日であり、術後疼痛の軽減、早期退院に貢献しています。
- 2) 腹腔鏡下胆嚢摘出術は胆嚢炎に対しても施行し、開腹移行率は 1%です。
- 3) 大腸癌も結腸を中心に腹腔鏡下切除を施行しています。腹腔鏡下大腸切除では術後 3 日目より食事開始し、術後 7 日前後で退院可能です。
- 4) 平成 19 年の乳癌手術（全身麻酔）56 例中、乳房温存療法 38 例(乳房温存率 67%、術前化学療法 11 例を含む)、残存乳房内再発 0 例です。センチネルリンパ節生検 37 例（実施率 60%）。センチネルリンパ節生検は、全例同定成功、偽陰性 0 例と高い精度管理で行われています。

◆主疾患治療プロトコール

主疾患治療プロトコール（クりにカルパスによる術後入院期間）

胃癌	胃全摘術	術後 14 日間
	幽門側胃切除術	術後 12 日間
大腸癌	大腸癌手術	術後 10 日間
乳癌手術	乳房切除又はリンパ節廓清を伴う手術	術後 7 日間
	乳腺部分切除かつセンチネルリンパ節生検	術翌日退院（2泊3日）
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	術後 3 日間

◆その他

当科は日本外科学会・日本消化器外科学会の専門医修練施設、日本乳癌学会専門医制度関連施設、大腸癌研究会の会員施設に認定されています。

救命救急センターに外科医が 1 名（日本救急医学会救急科専門医）常勤し、救急診療体制が確立しています。

心臓血管外科

私たちの心臓血管外科は、三重県立総合医療センターが開設された 1994 年 10 月に発足しました。心臓・大血管・末梢血管などの疾患を対象として、外科治療を行っています。

狭心症や心筋梗塞に対しては、からだに優しい心臓手術として、off pump(オフポンプ)による冠動脈バイパス術を行っております。従来、心臓手術は体外循環(人工心肺ともいいます=人工の肺で血液を酸素化し、心臓の代わりにポンプで血液を全身に送り出す装置)を用いて、かつ心停止下に行っておりました。一方、心臓の表面の冠動脈に行くバイパス手術では、心拍動下、さらに体外循環を用いない(ポンプを用いないためオフポンプと言います)で手術可能となっており、当科では冠動脈バイパス術にはオフポンプ手術を第一選択としております。体外循環を用いず、心臓も止めないため、手術による身体への負担が軽く、脳血管障害、呼吸機能障害、腎機能障害などの合併症を有する患者様や、高齢者でも、より安全に術後合併症を起こすことなく手術が可能となっております。自己血輸血(詳細は後述)のみで手術可能で、手術翌日から食事もでき、入院期間も短くなりました。昨年までで、全単独冠動脈バイパス術患者様の 94.3%で、待機手術例では 97.5%でオフポンプにて手術を行っております。

バイパスに用いるグラフトは、遠隔成績が良好である(長持ちする)内胸動脈を主に、多くの患者様に動脈グラフトのみを用いており、何らかの理由で動脈グラフトが用いられない場合に静脈グラフトを用いております。しかし近年は重症例が多く(年々増加傾向にあります)、静脈グラフトを用いる場合も増加しているのが現状です。

心臓弁膜症に対しては、人工弁で置き換える手術のほか、僧帽弁閉鎖不全症におきましては可能な限り弁形成術を行い、抗凝固療法を必要としない手術治療を目指しています。また、心房細動を合併している患者様には積極的に不整脈手術(MAZE 手術)を併施し、正常の心調律に復するよう努めております。そして飲み薬をできる限り少なくし、手術後の生活のレベルアップを図っています。

大動脈瘤や大動脈解離に対しては、人工血管で大動脈を置き換える手術を行っております。閉塞性動脈硬化症に対する血行再建術、下肢静脈瘤に対する手術も積極的に行っております。

予定手術の場合、患者様自身の血液を前もって採取して病院内に貯めておき、手術の時に戻すという自己血輸血を積極的に行っております。この自己血輸血は、他人の血液を輸血することに伴う合併症や副作用を防ぐ意味で、非常に有効な輸血方法です。冠動脈バイパス術や弁膜症の手術では原則として 800ml の自己血を貯めて手術に臨み、その結果、他人からの輸血を受けることなく退院していただいております。現在、自己血を前もって採取可能であった患者様の多くの方で、自己血輸血のみで経過しております。

私たち心臓血管外科は、機能を再建する外科で、術前より良い状態にすることを目的として取り組んでおります。皆様の日常生活のレベルアップに貢献できるように努力いたしますので、お気軽にご相談下さい。

◆入院手術症例の概要（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

疾患名	例数	平均入院期間(術後入院日数)
虚血性心疾患	30	27.5(20.9)
弁膜症・先天性心疾患等	26	33.3(26.1)
大動脈疾患（胸部）	13	39.7(38.0)
大動脈疾患（腹部）	11	22.5(16.8)
末梢動脈疾患	26	20.8(16.0)
静脈疾患	10	8.4(6.4)

術後入院日数は糖尿病などの持病や合併症の治療も含めた日数です。ちなみに虚血性心疾患で術後の心臓カテーテルを済ませて外科的治療が終了し、退院可能な状態となった術後日数は平均 14.1 日でありました。胸部大動脈疾患緊急手術の患者様では、合併症のため入院治療が長期化する場合があります、平均在院日数が長くなります。

◆主疾患の治療成績（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

1) 単独冠動脈バイパス術：28 例

- ・ off pump 手術：25 例（89.3%）
 - ・ 平均バイパス本数：3.1 本/人
- ・ 緊急手術：7 例（25.0%）、準緊急手術：3 例（10.7%）
- ・ グラフト開存率：100%（86/86 本）
- ・ 死亡：1 例

2) 大動脈瘤手術：24 例

- ・ 胸部：13 例
 - 死亡：2 例（再手術例 1、慢性透析例 1）
- ・ 腹部：11 例
 - 死亡：2 例（破裂例 2）

呼吸器外科

私たちの呼吸器外科は、三重県立総合医療センターが開設された 1994 年 10 月に発足しました。肺・縦隔などの疾患や胸部外傷を対象として、外科治療を行っています。

肺癌に対しては、癌病巣が存在する肺葉を切除するとともに、関係するリンパ節を取り除き、完全切除手術を目指しています。原発性肺癌に対しては直視下での手術を基本方針としておりますが、病期に合わせ胸腔鏡補助下の小開胸直視下手術も積極的に取り入れております。また、術前・術後を通し呼吸器内科と連携し、病期や年齢・全身状態に合わせた最適な補助療法（抗癌剤・放射線治療）を行っています。

自然気胸に対しては胸腔鏡下での手術を積極的に行っており、患者様の痛みを和らげ早期の社会復帰ができるよう努めています。ただし、当施設に多い高齢者の難知性気胸に対しては、完全治癒を目標として、小開胸下の手術を行っており、最近は上記例が増える傾向です。

◆入院手術症例の概要（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

患名	例数	平均入院期間(術後入院日数)
肺癌（原発性＋転移性）	46	18.9(15.3)
肺癌・気胸以外の肺疾患	19	17.6(14.4)
縦隔腫瘍・その他の縦隔疾患	7	15.2(12.5)
自然気胸	17	10.0(8.0)

◆主疾患の治療成績（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

原発性肺癌手術：38 例

- ・完全切除　：35 例（92.1%）
- ・非完全切除： 3 例（ 7.9%）
- ・死亡　　　： 1 例（ 2.6%）

他の肺疾患手術：36 例

- ・死亡　　　： 1 例（ 2.8%）

脳神経外科

頭部外傷、脳血管障害などの救急疾患にたいする迅速な診断、治療はもちろんのこと、脳腫瘍や頸椎、腰椎の変性疾患（椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、後縦靭帯骨化症）を中心に治療をおこなってきました。最近では、虚血性脳血管障害（脳梗塞）の患者に対する、t-PAの急性期静脈投与による治療や、血行再建術などの積極的な治療が増えてきております。また、特殊外来として脊椎・脊髄外来を開いており、脊椎、脊髄疾患の手術症例が増えております。

◆入院疾患の概要

年間手術総数 198例

主な手術内訳		事例数
脳腫瘍		18例
脳血管障害	脳動脈瘤	25例
	脳動静脈奇形	2例
	頸動脈内膜剥離	11例
	バイパス手術	6例
	高血圧性脳内出血 開頭血腫除去術	26例
	定位手術	6例
外傷	急性硬膜外血腫	1例
	急性硬膜下血腫	3例
	減圧開頭術	1例
	慢性硬膜下血腫	18例
水頭症	脳室シャント術	19例
	内視鏡手術	0例
脊椎・脊髄	脊髄腫瘍	4例
	変形性脊椎症	10例
	椎間板ヘルニア	18例
	後縦靭帯骨化症	2例
血管内手術	脳動静脈奇形	1例
	閉塞性脳血管障害	1例
脳定位的放射線治療		0例

地域医療に対しては、救急患者の積極的な受け入れのみならず、早期のリハビリテーション、早期の退院およびかかりつけ医師への紹介を心がけております。

高齢者に対しても、＜生活の質＞の向上を目指して、積極的な手術治療をすすめております。平成20年8月からは脳卒中患者における地域連携クリニカルパスの運用開始により、急性期を経過した患者様のすみやかな回復期リハビリテーション施設への移行などをはかっております。

小児科

地域周産期母子医療センターの指定を受け、北勢地区基幹病院としての小児医療を目指しております。

以下に各部門の概略を記し、皆様方のご批判、ご教示を賜りながら県立病院として、地域医療のみならず、三重県全県にわたる小児医療に貢献すべく精進します。

1) 周産母子センター（3階東病棟）

本院開院時に県下で初めてNICU（未熟児新生児集中治療室）の認可を受け、多くの未熟児および病的新生児の診療が行われています。退院後のフォローは未熟児新生児専門外来（通称すくすく外来）にて発達のフォローを行っております。

2) 小児科病棟（3階西病棟）

感染症等の一般小児疾患に加え、精査を必要とする各種疾患に対応しております。重篤な急性疾患については当院に設置されている救命救急センターと連携をとり集中治療を行います。また、特殊疾患にて精査を要する患者さんについては、県内外の各分野の専門医と連携を取りながら診断治療を行います。

3) 外来診療

一般の急性期疾患等に加え、心疾患、神経疾患（てんかん等）、アレルギー疾患、内分泌疾患等の専門性の高い疾患については、一般外来とは区別して院外からの専門医の協力を受け、専門外来を開設しております。

4) 救急外来

当院は本来は2次、3次救急を担うべき施設ではありますが、小児救急の特殊性、必要性を考慮して対応しております。特に、紹介いただいた患児の場合は原則24時間お断りすることなく対応させていただいております。

◆一般小児科の疾患別入院患者数

疾患名	事例数
呼吸器系の疾患	358
感染症および寄生虫症	149
内分泌、栄養および代謝疾患	79
神経系の疾患（痙攣発作を含む）	93
筋骨格系および結合織の疾患	21
尿路生殖器系の疾患	22
消化器疾患	15
循環器疾患	10
血液、造血器、免疫疾患	14
その他の疾患	317
計	1078

◆NICU入院患者数

NICU入院患者総数	233
(内訳)	
超低出生体重児（1,000g以下）	3
極低出生体重児（1,500g未満）	8
低出生体重児	36
病的新生児	156
人工呼吸管理症例	30

産婦人科

当科では、産婦人科疾患全般を診療対象としていますが、地域癌拠点病院および地域周産期母子医療センターの指定を受けています。婦人科悪性腫瘍の治療、ハイリスク妊娠の治療、腹腔鏡手術を中心に診療を行っています。

◆平成19年入院疾患の概要

疾患名	事例数	備考
産科手術（帝王切開）	147例	
ハイリスク分娩	181例	全分娩数 413例
婦人科手術	255例	
（内視鏡手術）	80例（腹腔鏡79例）	

◆主疾患（悪性疾患）を含む治癒成績（5年生存率など）

疾患名	事例数	備考
子宮頸部悪性腫瘍	59例	（CIN3を含む）
子宮体部悪性腫瘍	10例	
卵巣悪性腫瘍	7例	
その他婦人科悪性腫瘍	7例	

◆主疾患治療プロトコール（クリパスを含む。）

婦人科癌化学療法 卵巣癌を中心に、3週1回投与を基準にして3日間入院コースをクリパスで運用しています。

腹腔鏡手術 19年度から良性婦人科疾患の腹腔鏡手術を積極的に行っています。

◆手術実績

腹式良性手術（子宮全摘術）	40例
膣式単純子宮全摘術	26例
準広汎子宮全摘術	13例
広汎子宮全摘術	9例
腹腔鏡手術	79例
腹式良性卵巣腫瘍手術	45例
腹式悪性卵巣腫瘍手術	7例
子宮外妊娠手術	7例
円錐切除術	45例

◆その他

高齢化に伴う疾患として子宮脱、子宮下垂の症例が増加傾向にあり、保存的治療（外来）・手術（入院）を行います。19年度は17例の根治術を行いました。

整形外科

隔日に定期検討会を開き、各患者様ごとに、原因、症状、経過、種々検査結果、そして治療法と予測される治療結果につきスタッフ全員で検討した上で、患者様の希望を第一とし、可能な限りより侵襲が少なくかつ最も効果的な治療法を選択しております。

◆入院疾患の概要

入院患者数：910名 手術総数：884例

疾患名	事例数
四肢骨折手術	291例
人工関節置換術	73例
関節鏡視下手術	262例
断裂靭帯形成術	35例

◆治療の実際

骨折：骨折の状態により種々最新の手術方法を積極的に採用し、早期社会復帰を目指しております。また、患者様の希望によっては、治療結果に影響のない範囲で、保存的治療や外来での手術も行っております。

変形性関節症：高齢化社会に伴い、変形性関節症は増加傾向にあります。当院では専用の無菌室(クリーンルーム)での人工関節手術や人工関節を用いない骨切り術を中心に組み合わせており、安定した治療成績を得ております。また、関節鏡視下手術も低侵襲のため積極的に行っております。

スポーツ整形：膝の十字靭帯損傷、半月板損傷、反復性肩関節脱臼、足関節の靭帯損傷等に積極的に治療を行い、スポーツへの復帰に取り組んでおります。関節鏡視下および併用手術は年間平均250例を超え、自家腱移植による靭帯形成術は年間35例となっております。

◆主疾患治療プロトコール

人工股関節置換術：術後6週間にて退院

人工膝関節置換術：術後3週間にて退院

単顆置換型人工膝関節置換術：術後2週間にて退院

大腿骨頸部骨折：術後2週間前後で地域連携クリニカルパスにて近隣病院へ転院

半月板切除術：3泊4日にて退院

前十字靭帯再建術：術後2週間にて退院

◆その他

第三次救急病院及び基幹病院として、あらゆる分野の整形外科的疾患の治療を行っておりますが、病状によってはより専門の医療機関を紹介させていただいております。

当科では他院との病診連携に力を入れており、他院からの紹介も多く、紹介患者様優先で診察を行っております。また、症状の落ち着いた方に関しましては積極的に近隣の信頼できる整形外科の先生方にご紹介申し上げております。

皮膚科

現在、皮膚科専門医 1 名が診療を行っています。外来は、月曜日は、大学よりの非常勤医師が第 1 診、常勤医師が第 2 診を、火から金曜日は常勤医師のみが診察を担当しています。湿疹皮膚炎群、皮膚感染症、皮膚良性腫瘍、一部の皮膚悪性腫瘍、膠原病、自己免疫疾患（水疱症）など、皮膚科一般の診療を行っています。治療は外用療法や内服療法が中心ですが、化膿部の排膿処置、ヤケドなどの創傷処置、イボや腫瘍への冷凍凝固療法、小腫瘍の摘出術、感染性皮膚疾患の点滴療法なども行っています。あわせて局所処置方法の指導やスキンケア指導、生活環境指導を行うとともに、近年高齢化社会により増加している皮膚癌の早期発見などにも努めています。

◆入院疾患の概要

疾患名	事例数	備考
蜂巣炎	8	
帯状疱疹	4	
熱傷	7	
水疱性類天疱瘡	1	
重症薬疹	2	
アトピー性皮膚炎	5	
丹毒	1	
その他	3	

入院患者 31 件／年

◆主疾患（悪性疾患）を含む治癒成績

検査処置・手術領域では、診断及び治療方針決定のための皮膚生検、比較的簡単な局所麻酔下での皮膚腫瘍の切除術などを行っています。

年間手術・処置件数 100 件/年（皮膚生検，外来小手術 65 件、手術室手術 35 件）

表皮嚢腫 18 件、母斑 16 件、線維腫 7 件、脂肪腫 6 件、血管腫 5 件など

◆主疾患治療プロトコール

皮膚感染症の入院治療

帯状疱疹 抗ウイルス剤点滴 5～7 日間

蜂窩織炎 抗生剤点滴 7～10 日間 など

泌尿器科

当科では主として尿路性器悪性腫瘍(前立腺癌、膀胱癌、腎癌、精巣癌など)の診断・治療を中心に行っております。治療としては手術のみならず、放射線療法や抗癌剤を使用した全身化学療法なども積極的に行っております。その他、前立腺肥大症・尿失禁などの女性泌尿器疾患・神経泌尿器疾患も増加しており、適宜対応しています。なお、尿路結石においては、四日市社会保険病院泌尿器科と連携し、治療を行っています。

◆入院疾患の概要

疾患名	手術名	H13-18 間の件数	H19 年の件数
前立腺癌	根治的前立腺摘出術	28 例	7 例
膀胱癌	膀胱全摘術、尿路変向術	24 例	8 例
膀胱癌	経尿道的膀胱腫瘍切除術	299 例	67 例
腎癌	根治的腎摘出術	39 例	9 例
腎盂癌・尿管癌	腎尿管全摘術	29 例	6 例
精巣癌	高位精巣摘出術	20 例	2 例

◆主疾患（悪性疾患）を含む治癒成績

総手術件数は 130 例（H15 年度）、176 例（H16 年度）、190 例（H17 年度）、197 例（H18 年度）、213 例（H19 年度）と年々増加しております。一方、悪性疾患（癌）に対する化学療法も積極的に行っております。進行膀胱癌の全身化学療法として標準的治療とされる MVAC 療法が無効となった症例ではタキサン系抗癌剤やゲムシタビンを中心とした化学療法を行っています。少量の抗癌剤を併用した化学放射線療法も行っています。また、内分泌療法抵抗性となった再燃前立腺癌でもタキサン系抗癌剤を用いた化学療法を積極的に行っております。

前立腺癌を診断する経直腸的前立腺生検は前立腺体積にもよりますが、初回生検であれば少なくとも 10 ヶ所以上の多数ヶ所生検を行っています。

◆主疾患治療プロトコール（クリパスを含む。）

症例数の多い経尿道的膀胱腫瘍切除術をはじめ、各手術ではクリニカルパスを用いています。また、疾患別標準資料・説明書を作成し、患者さんの説明に用いています。

◆その他

当科では患者さまとの十分な説明と話し合いの結果、治療法の選択を行い、最善の治療を行うことを目指しております。

今後は開放手術のみならず、腹腔鏡手術や小切開手術にも取り組む予定です。

進行性腎癌に対する分子標的薬治療も行いつていきます。また、抗癌剤を使った全身化学療法もできる限り外来通院にて行っていきます

耳鼻咽喉科

当科は耳鼻咽喉・頭頸部外科全般の診療を行っていますが、特に頭頸部腫瘍（鼻・副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、甲状腺、唾液腺の良性腫瘍や悪性腫瘍）の手術、副鼻腔炎の内視鏡下手術に力を注いでいます。また、めまいの診断と治療（良性発作性頭位眩暈症の理学療法、運動療法を含む）、耳鼻咽喉科的な立場からの摂食・嚥下障害の検査（嚥下内視鏡・嚥下造影検査）ならびに治療（嚥下改善手術を含む）、いびきの精査といびきの改善手術も行っております。喉頭癌術後の音声機能喪失に対し、音声回復手術（ボイスプロテーゼ留置術）や、外来においてのボイスプロテーゼの交換術も行っております。

◆ 入院疾患の概要

疾患名	事例数	備考
急性上気道炎（扁桃炎含む）	87例	
口腔・頸部手術	33例	
鼻・副鼻腔手術	28例	
扁桃手術・鼓膜換気チューブ留置	26例	
めまい・突発性難聴・顔面麻痺	26例	
喉頭腫瘍	11例	
鼓膜形成、その他	16例	

◆ 主疾患（悪性疾患）を含む治癒成績

頭頸部腫瘍の治療は、手術を含め、積極的に行っています。慢性副鼻腔炎の内視鏡下鼻内副鼻腔手術を行い、良好な成績が得られています。

◆ 主疾患治療プロトコール（クリパスを含む。）

入院診療におけるクリニカルパス適用率は90%以上であり、診療内容の充実と在院日数の短縮に努めております。

精神科

当科は統合失調症、躁うつ病、不安障害など精神障害全般に対する外来診療を行っております。診察日は毎週月曜から金曜までですが、初診、再診共に予約制となっております。なお当科には入院設備がありませんので、入院治療が必要な方などは他の精神科施設に紹介させていただく場合もあります。

◆ 平成19年診療実績

外来延患者数 6,830人
一日平均外来患者数 27.9人

放射線科

CT, MRI, 血管造影、IVR (interventional Radiology) ,核医学検査の施行と画像診断を行っている。放射線治療では、LINAC(直線加速器)を使用した治療を行っている。四日市医師会等との病診・病病連携システムにより、地域医療機関からの画像診断を行うと共に、院内では中央放射線部門の一員として、各臨床科との密接な連携の元に診療を行っている。

◆平成19年診療実績

入院疾患の概要 (：当科は入院病床を持っていません)

主疾患(悪性疾患)を含む治癒成績(：各診療科の成績を参照下さい)

放射線治療患者の内訳(2007年)

新規登録患者数	113例	132例(治療患者総数)
治癒目的の照射	17例	19例
姑息的照射	43例	58例
術後照射	53例	55例
術前照射	0例	0例

◆疾患(原発)別症例数

脳	頭頸部	肺	乳腺	食道	肝・胃	大腸・直腸	腎膀胱	婦人科	骨軟部	不明
2例	1例	26例	46例	7例	6例	6例	3例	16例	0例	0例
2%	1%	23%	41%	6%	5%	5%	3%	14%	0%	0%

当院の放射線治療の特徴は、肺癌・乳癌・婦人科癌で全体の78%を占める。

肺癌では呼吸器内科主導で化学療法を併用した放射線治療が行われている。乳癌では、当院外科を中心に、近隣の病院からの依頼を含め、乳房温存術後の照射(39例：乳腺照射件数の85%)が多い。2008年6月より更新された新しいリニアックで治療を開始している。

麻酔科

手術を受ける患者様が、安全に手術を受けることが出来るよう麻酔を担当しています。手術中は患者様のそばで、手術部位以外の全身状態を管理しています。

◆平成19年手術症例数

平成19年全手術症例数 2779件

内麻酔科管理症例数 1346件

麻酔法	件数
全身麻酔	688
全身麻酔+硬膜外麻酔	498
硬膜外・脊髄くも膜下麻酔	160
緊急手術	227

◆その他

全例とはいきませんが、全身麻酔、重症の方を中心に術中管理しています。麻酔科担当外の手術でも、手術中に問題が起こった場合は麻酔科医が対応し、全ての方が安全に手術を受けることが出来るよう努力しています。

病理検査室

◆2007年1月～12月の病理検査

種別	件数
組織診断	3, 6 1 4
細胞診	5, 8 6 2
院外受託組織診断	2, 9 8 1
術中迅速診断	1 5 9
病理解剖	2 1

◆2007年病理解剖概要

番号	年齢性	臨床診断	剖検所見
0701	69男	救 外 突然死	誤嚥・窒息、慢性膵炎、糖尿病
0702	76男	外 科 胆管癌	胆嚢癌、上部癌性腹膜炎
0703	89男	呼吸器 間質性肺炎	間質性肺炎（肺線維症）
0704	91女	消化器 胆管細胞癌	胆管細胞癌、癌性胸膜炎
0705	72男	救 外 急性心筋梗塞	急性心筋梗塞
0706	48女	整 外 足関節骨折術後肺塞栓症	肺塞栓症
0707	94男	呼吸器 間質性肺炎	間質性肺炎＋細菌性肺炎、敗血症
0708	76男	呼吸器 肺癌＋腎癌	右肺癌重粒子線照射後 ＋左腎癌ラジオ波照射後
0709	75男	消化器 胃癌 胃癌、	多臓器転移
0710	45男	循環器 S L E	S L E、肺塞栓血栓症
0711	62男	消化器 肝硬変＋肝癌	肝硬変＋肝癌、肝不全
0712	70女	呼吸器 皮膚筋炎	皮膚筋炎、肺線維症
0713	79女	救 C 腹膜炎	ダグラス窩膿瘍、虚血性心臓病変
0714	57女	循環器 敗血症	気管支肺炎、糖尿病
0715	55女	外 科 乳癌	右乳癌、多臓器転移
0716	81男	循環器 胸部大動脈瘤破裂	胸部大動脈瘤破裂（左肺穿破）
0717	59男	消化器 食道癌	頸部食道癌、右総頸動脈浸潤・出血
0718	89女	消化器 胆道癌	胆嚢癌、肝転移
0719	79男	救 C 来院時死亡	急性心筋梗塞、胃・食道癌術後
0720	91男	呼吸器 肺炎	気管支肺炎
0721	57男	消化器 アルコール性肝硬変	アルコール性肝硬変、食道静脈瘤破裂

(2) 中央放射線部

2007年(平成19年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均/月	集計
一般撮影	2,148	2,004	2,262	1,970	2,223	2,250	2,275	2,203	1,895	2,315	2,231	2,352	2,177	26,128
透視	151	146	157	143	159	144	177	182	152	199	196	181	166	1,987
血管造影 頭腹部	32	22	20	19	25	28	19	14	15	19	28	17	22	258
心臓	42	57	45	45	41	42	46	40	28	37	60	36	43	519
放射線治療 体外照射	133	330	290	214	197	234	284	259	196	236	285	211	239	2,869
ラジオサージャリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セラトロン	0	3	3	0	4	8	0	0	0	0	0	0	2	18
CT 単純	972	856	1,039	944	1,055	1,074	1,140	1,043	1,012	1,203	1,129	1,089	1,046	12,556
造影	209	215	242	202	244	232	230	254	219	243	241	221	229	2,752
パーフェクション	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
3D	29	41	34	37	47	41	36	46	31	40	38	39	38	459
☆CT 総計	1,181	1,071	1,281	1,146	1,299	1,306	1,370	1,297	1,231	1,446	1,370	1,310	1,276	15,308
病診連携	55	63	56	0	43	72	83	77	59	72	70	53	59	703
RI	102	105	114	101	119	125	112	101	103	114	100	104	108	1,300
MRI 単純	153	180	196	206	235	218	228	256	180	230	224	198	209	2,504
造影	83	63	93	75	91	91	78	76	63	75	70	88	79	946
MRA	89	89	101	91	91	101	99	89	91	98	108	101	96	1,148
MRCP	16	10	18	9	9	15	20	15	11	16	15	13	14	167
☆MRI 総計	341	342	408	381	426	425	425	436	345	419	417	400	397	4,765
診連携	19	22	25	0	24	43	35	36	22	38	34	28	27	326
超音波検査 腹部	255	259	292	305	325	308	314	311	295	344	335	292	303	3,635
心臓	385	348	400	343	379	382	414	388	302	350	366	347	367	4,404
血管等	173	139	138	135	155	142	166	171	167	195	227	191	167	1,999
コピー	26	37	42	44	43	27	54	31	43	41	42	41	39	471
合計	4,867	4,758	5,338	4,745	5,276	5,296	5,544	5,332	4,669	5,601	5,557	5,378	5,197	62,361

	1-3	4-6	7-9	10-12	総計
病診連携/CT	4.92%	3.07%	5.62%	4.73%	4.59%
病診連携/MRI	6.05%	5.44%	7.71%	8.09%	6.84%

(3)中央検査部(H19年報)

中央検査部概要

部門	中央検査部
部門長	草野五男(検査部長)・上野尚幸(G L)
認定資格	細胞検査士4名・輸血認定技師1名・糖尿病療養指導士名5名 NST療養士1名・組織検査士1名
常勤技師	19名(産休・育児休暇2名)
業務補助職員	1名

外部精度管理参加状況

実施月	精度管理調査名称	主催
毎月	eQAP	シスメックス株式会社
8月	三重県臨床検査精度管理調査	三重県臨床検査精度管理協議会
10月	第39回臨床検査精度管理調査	日本医師会

診療支援

感染症レポート	週報、月報
外来採血	毎日(午前中)
病棟採血管準備	毎日(各病棟に配送)
病棟診察前検査報告	毎日(1時間早出)
外来迅速検査報告	24時間勤務体制
チーム医療への参画	NST・ICT・心カテ待機等
各種認定技師の育成	必要に応じて対応

病診連携検査件数

トレッドミル	19
ホルター心電図	2
脳波	55
尿素呼気試験(ピロリ菌)	15
ABR	2
神経生理検査	4

検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
尿・糞便	3,773	3,915	4,058	4,050	4,385	3,694	4,299	3,996	4,292	4,195	3,972	4,192	48,821
血液	13,147	14,536	14,395	14,571	14,904	12,971	14,770	14,870	15,152	15,241	14,469	14,489	173,515
生化I	70,200	76,889	74,667	77,182	78,840	69,434	78,556	78,418	80,317	81,632	76,977	79,387	922,499
生化II	1,807	1,849	1,853	1,983	1,881	1,747	1,850	1,700	1,695	1,752	1,834	1,880	21,831
負荷試験	20	21	11	18	21	13	27	15	14	9	13	15	197
免疫	6,852	7,546	7,349	7,341	7,267	6,357	7,536	7,690	8,298	8,476	7,648	8,956	91,316
検体合計	95,799	104,756	102,333	105,145	107,298	94,216	107,038	106,689	109,768	111,305	104,913	108,919	1,258,179
輸血	465	498	438	449	453	485	452	506	449	533	536	544	5,808
微生物	1,510	1,745	1,814	1,954	2,025	1,708	1,866	1,882	2,137	2,168	2,035	1,938	22,782
病理	714	791	838	715	838	692	854	795	777	697	718	725	9,154
生理	1,592	1,698	1,706	1,788	1,771	1,524	1,960	1,941	1,784	1,859	1,729	2,189	21,541
検査部合計	100,080	109,488	107,129	110,051	112,385	98,625	112,170	111,813	114,915	116,562	109,931	114,315	1,317,464

(4) 薬剤部

○投薬等に関わる収入

単位：千円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
投薬収入	20,691	19,689	23,415	20,015	21,020	20,310	21,292	23,713	19,620	22,584	21,949	24,274
調剤料収入	610	582	611	546	578	597	617	587	555	626	623	665
調剤技術基本料収入	271	276	292	250	261	244	251	239	235	255	264	298

○薬剤管理指導等の件数

単位：件

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
薬剤管理指導料算定件数	169	165	202	157	177	215	200	230	202	216	191	178
薬剤管理指導料算定件数	1,570	1,580	1,651	1,365	1,334	1,146	1,278	1,274	1,195	1,254	1,305	1,584

○診療科別外来処方箋発行件数

院外処方箋

	内科	外科	心外	脳外	小児	産婦	整形	皮膚	泌尿	耳鼻	精神	放射	神経	循環	呼吸	消化	呼外	合計
1月	105	368	111	166	472	315	209	370	306	232	322	2	175	919	475	590	11	5,148
2月	49	307	78	155	471	301	175	335	337	222	331	1	188	870	449	533	12	4,814
3月	96	364	108	181	465	281	229	389	324	208	356	4	230	978	529	595	12	5,349
4月	91	364	83	181	470	300	310	421	324	223	371	1	184	857	513	558	7	5,258
5月	142	400	94	190	545	313	336	477	332	228	389	1	191	934	524	559	8	5,663
6月	77	373	93	191	521	311	330	431	307	243	387	2	229	913	497	546	12	5,463
7月	71	387	108	186	471	339	313	471	340	193	413	1	218	940	472	544	13	5,480
8月	77	384	96	223	479	333	385	147	395	321	448	2	211	957	513	534	9	5,514
9月	44	340	104	185	389	306	307	439	323	269	376	4	207	769	417	514	13	5,006
10月	80	406	108	196	575	374	333	453	382	391	437	2	224	952	560	568	16	6,057
11月	76	365	86	196	569	279	371	424	347	353	379	2	208	857	514	540	13	5,579
12月	159	350	104	188	651	291	363	371	339	409	398	0	210	808	537	546	13	5,737
	1,067	4,408	1,173	2,238	6,078	3,743	3,661	4,728	4,056	3,292	4,607	22	2,475	10,754	6,000	6,627	139	65,068

全件処方箋

	内科	外科	心外	脳外	小児	産婦	整形	皮膚	泌尿	耳鼻	精神	放射	神経	循環	呼吸	消化	呼外	合計
1月	398	434	114	210	685	363	386	440	362	269	524	2	205	995	615	749	12	6,763
2月	373	367	81	189	782	343	324	393	385	243	529	2	215	961	567	670	13	6,437
3月	446	436	111	212	722	318	420	452	375	230	565	4	267	1,064	647	753	12	7,034
4月	355	418	85	223	688	321	443	476	369	245	543	1	208	920	618	702	7	6,622
5月	389	451	98	217	758	352	439	550	373	251	563	1	212	991	633	706	8	6,992
6月	273	419	97	219	664	336	468	485	345	257	524	2	251	967	600	674	13	6,594
7月	310	457	114	224	632	372	434	554	378	205	567	1	244	988	569	668	13	6,730
8月	364	426	99	250	622	368	523	204	428	340	612	2	232	1,009	619	668	9	6,775
9月	308	390	107	227	519	333	463	518	357	286	494	4	231	802	522	617	13	6,191
10月	320	448	115	229	719	404	481	528	412	412	587	2	248	1,003	687	696	17	7,308
11月	327	420	91	244	718	312	509	489	379	369	531	2	234	908	633	672	13	6,851
12月	601	401	108	220	948	321	485	436	370	429	530	0	238	864	658	676	14	7,299
	4,464	5,067	1,220	2,664	8,457	4,143	5,375	5,525	4,533	3,536	6,569	23	2,785	11,472	7,368	8,251	144	81,596

単位：％(休日・夜間を除く)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
院外処方率	76.1	74.8	76.0	79.4	81.0	82.9	81.4	81.4	80.9	82.9	81.4	78.8

(5) 看護部

看護部の理念

1. 患者様が満足した医療が受けられるよう、安全で質の高い看護を実践し、地域からの信頼を得ます。
2. 看護師の資質（豊かな人間性、科学的根拠に基づいた知識と技術）を向上し、看護師個々のキャリアアップと定着をめざします。

平成19年度看護部目標

1. 患者や家族と『共に喜び合う看護』を実践します。
2. 専門職として対話と思いやりの気持ちで協働します。
3. 『小さな気づき』を大きな改善につなげます。
4. 全員が協力して、病院機能評価の準備に取り組みます。

平成19年度看護部実践報告

1. 看護職員の確保と定着

1) 確保について

- ① 募集活動：平成20年4月1日採用予定者29名
学校訪問約20校余り、ナースセンターとの連携・退職者や職員の知人など対象の勧誘活動
実習終了後に指導者よりメッセージを送る
内定者に対して時節ごとの挨拶や看護部長より年賀状、看護部活動を郵送、及び「内定者の集い」を開催
- ② 就職説明会（ナース専科、転職フェア、県立看護大学、医療センター内）
県立看護大学での相談会を行い好評
- ③ オリジナルグッズの作成・活用
看護部ファイル、看護部シンボルマーク入りのウェア・封筒を活用した就職活動。
季節感のある挿絵のメッセージカードを活用し看護職員間のコミュニケーションを深める
- ④ 広報活動
助産師、実習指導者の募集、ホームページや募集内容の工夫
外来掲示版の看護部スペースにて看護部のPRなど有効活用する。
- ⑤ 看護介助士の派遣会社の活用
- ⑥ 外来に看護補助者（アテンダント）を採用し、外来患者へのサービスにも活用
- ⑦ 講師派遣 看護学校への派遣22回、研修会への派遣68回
- ⑧ 実習生のカンファレンスに参加

2) 定着について

- ① 中途採用者への職場適応支援（業務量の調整、電子カルテ操作訓練実施など）
- ② 支援室の運営 支援室の対応とラウンド
4月から8月の支援室訪問者 54名（採血練習、フットバス、休憩、語らい）
- ③ 看護師定着アンケートの実施
- ④ 新卒者への職場適応（OJT の評価）
- ⑤ 随時面談によるメンタルサポート
- ⑥ セクション面談により病棟運営支援（看護部、師長、副師長）
- ⑦ 看護職員からの気づき、アイデア、知恵を集め、やりがい感の支援
- ⑧ 産休、育休などの長期休暇者へ看護部長の挨拶と病院・看護部の近況情報など手紙で郵送する。
- ⑨ 看護部部長フリートーク『なんじゃもんじゃ』を2回実施し看護職員との対話を深める

2. 看護職員への育成支援

- ① スタッフの支援指導目的で副師長を中心とした明日葉作戦の継続。
新規採用者に対してはプリセプター・アソシエートが主に支援する。
- ② 師長、認定看護師の BSC シート作成、シートに沿った実践活動
- ③ 「私の目標シート」作成し看護部目標達成の役割を担う。
キャリアアップ登録し看護職員個々のスキルアップを図る
- ④ 看護部長から看護職員へ「私の目標シート、キャリアアップシート」のメッセージと評価
- ⑤ 師長活動と副師長看護管理業務の実践
- ⑥ TQM 活動の指導、TQM 発表会の協力
院内TQM大会発表14題、病院事業庁TQM大会発表11題

3. 看護業務の整理、改善

- ① リーダー業務調査3日間実施し時間外勤務の現状把握
- ② 時間外勤務縮減対策の実施
リーダー業務の見直し、ノー残業デー実施、記録場所の改善、標語・師長の声かけ
- ③ 業務量増大及び欠員に対する応援体制
- ④ 各部署で小さな気づきから業務改善に取り組んだ（112件）
- ⑤ 外部講師の投入による職場改善の取り組み（KAIZEN 委員会）
副師長の職場環境改善活動の実施（草取りなど）
- ⑥ リフレッシュ休暇・メモリアル休暇取得推進

4. その他の活動

- ① 第1回看護部活動報告会の実施 7題報告
- ② 院内・院外防災訓練の指導、協力、参加
- ③ 派遣研修受け入れ 松坂市民病院看護師2名（5階東病棟）
- ④ チャレンジ研修 10月3日、4日、9日、10日（4日間）参加人数3名
- ⑤ 看護学生対象に夏季アルバイト募集 7月20日～8月24日 参加人数4名
- ⑥ 就職試験の専門試験廃止と試験会場の選択の自由化
- ⑦ 随時採用試験導入 10月1日から
- ⑧ 一日看護体験実施 8月3日 参加人数23名
- ⑨ 中学生職業体験 11月14日、15日 参加人数2名

5. 実習

実習受け入れ状況(延べ人数)

学 校 名	平成19年度
三重県立看護大学	2090名
三重県立桑名高等学校衛生看護専攻科	337名
四日市医師会看護専門学校	1398名
四日市医療大学	168名
白鳳女子短期大学	38名
合 計	4031名

(6) 機能訓練グループ

平成19年(2007) リハビリテーション科 実施件数

入院

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
運動器	286	309	310	252	248	394	372	291	282	403	359	440	3,946
脳血管疾病等	32	50	29	30	28	29	23	35	1	27	58	63	405
呼吸器	736	534	657	816	849	948	890	1,002	815	1,187	1,027	842	10,303

外来

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
運動器	365	321	345	311	287	230	274	335	227	267	294	263	3,519
脳血管疾病等	0	2	2	2	3	3	2	0	0	0	0	0	14
呼吸器	94	58	66	25	54	47	37	39	27	28	34	49	558

(7) 栄養グループ

平成19年 年間栄養指導件数

	入院外来合計人数	個別指導			集団指導		
		人数 (名)	入院 (名)	外来 (名)	人数 (名)	母親教室(外来)	
						(件)	(名)
1 月	54	44	25	19	10	1	10
2 月	67	44	24	20	23	1	23
3 月	72	51	26	25	21	1	21
4 月	61	49	20	29	12	1	12
5 月	52	44	24	20	8	1	8
6 月	80	67	38	29	13	1	13
7 月	74	62	36	26	12	1	12
8 月	75	67	45	22	8	1	8
9 月	79	70	38	32	9	1	9
10 月	88	79	46	33	9	1	9
11 月	92	80	55	25	12	1	12
12 月	83	72	40	32	11	1	11
合計	877	729	417	312	148	12	148

平成19年栄養指導件数(個別指導)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
腎 臓 病	5	0	0	4	0	6	1	1	1	3	0	3	24
高 血 圧 症	4	1	4	3	8	8	10	9	6	9	6	8	76
心 臓 病	5	7	2	6	3	14	6	15	13	23	32	17	143
肝 臓 病	0	1	6	1	0	1	0	2	2	3	2	0	18
糖 尿 病	17	19	29	23	21	20	22	20	20	19	24	26	260
潰 瘍	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	1	6
膵 臓 病	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	6
高 脂 血 症	3	1	1	2	1	6	9	9	14	12	7	7	72
肥 満 症	2	4	1	2	2	1	4	3	3	1	1	1	25
妊 娠 中 毒 症	2	1	1	2	2	3	0	1	1	0	0	0	13
炎症性腸疾患	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3
貧 血 症	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	5
そ の 他	5	9	7	5	7	5	8	5	8	6	5	8	78
合 計	44	44	51	49	44	67	62	67	70	79	80	72	729

平成19年 給食食数実績

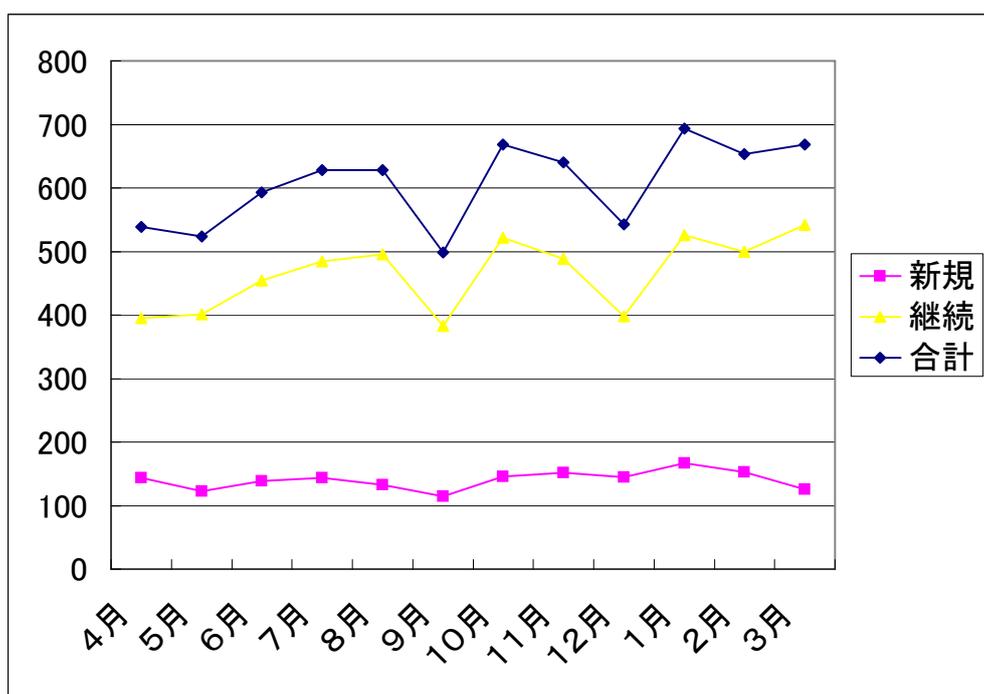
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般食	10,501	9,657	10,373	9,699	10,316	11,333	11,894	10,599	9,625	12,128	11,105	11,094
常食	7,272	6,929	7,244	7,239	7,441	7,941	7,632	6,923	6,589	8,364	7,891	8,124
軟食	3,152	2,620	3,035	2,314	2,698	3,200	4,108	3,542	2,943	3,535	3,066	2,811
流動食	77	108	94	146	177	192	154	134	93	229	148	159
特別治療食	8,641	8,369	9,069	8,550	9,731	9,618	9,455	10,323	9,790	9,616	10,706	10,614
加算食	6,367	5,780	6,152	5,505	6,186	6,405	5,794	6,447	6,227	6,307	7,335	6,909
非加算食	2,274	2,589	2,917	3,045	3,545	3,213	3,661	3,876	3,563	3,309	3,371	3,705

腎臓食	331	178	78	169	306	265	220	239	331	233	173	295
糖腎食	417	364	183	50	355	294	199	443	277	486	375	494
透析食	255	256	513	289	187	142	74	50	126	166	85	130
妊娠中毒症食	171	62	67	71	178	176	68	82	140	17	88	37
減塩食	2,013	2,114	2,158	2,404	2,732	2,627	2,047	2,475	2,677	2,696	3,178	2,593
肝臓食	352	512	501	514	480	671	681	797	512	655	574	718
EC食	2,090	1,690	2,023	1,480	1,221	1,514	1,623	1,420	1,151	1,228	1,769	1,456
高脂血症食	21	8	1	17	55	42	2	44	0	0	30	25
貧血食	118	30	13	9	8	34	90	128	75	95	151	28
脂肪制限食	411	225	363	206	229	430	462	314	434	353	496	349
潰瘍食	52	85	117	30	51	68	56	21	22	8	11	156
炎症性腸疾患	62	32	14	55	42	0	7	8	12	29	0	211
濃厚流動食	419	328	604	763	779	746	1,131	919	850	725	1,049	968
術後食	275	296	379	320	329	318	280	405	596	544	628	719
易消化食	219	408	240	380	653	698	592	680	604	322	209	310
低残渣食	76	52	210	245	188	227	200	240	255	351	110	167
離乳食	289	336	231	285	240	208	193	126	275	219	176	251
検査食	5	10	0	10	12	5	0	0	0	11	0	0
その他	232	384	734	499	543	663	644	836	572	694	754	766
ミルク	833	999	640	754	1,143	490	886	1,096	881	784	850	941
合計	8,641	8,369	9,069	8,550	9,731	9,618	9,455	10,323	9,790	9,616	10,706	10,614

(8) 地域連携室

平成19年度医療福祉相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	入院	96	79	89	89	87	61	87	100	89	115	102	90	1,084
	外来	39	37	44	50	38	48	46	40	42	37	40	25	486
	その他	9	7	6	5	8	6	13	12	14	15	11	11	117
	計	144	123	139	144	133	115	146	152	145	167	153	126	1,687
継続	入院	288	319	356	388	414	316	429	425	346	462	436	465	4,644
	外来	87	70	73	65	64	49	77	48	43	53	54	58	741
	その他	20	12	25	31	17	18	16	15	9	11	10	19	203
	計	395	401	454	484	495	383	522	488	398	526	500	542	5,588
合計	入院	384	398	445	477	501	377	516	525	435	577	538	555	5,728
	外来	126	107	117	115	102	97	123	88	85	90	94	83	1,227
	その他	29	19	31	36	25	24	29	27	23	26	21	30	320
	計	539	524	593	628	628	498	668	640	543	693	653	668	7,275

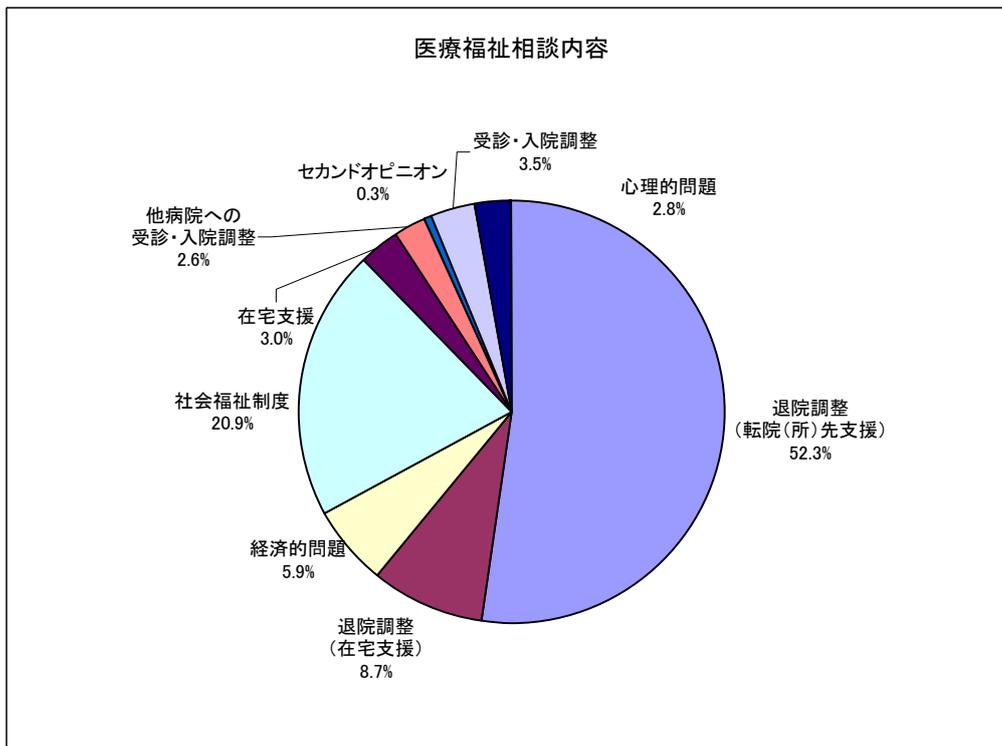


相談件数は、トータルの前年比で新規・継続ともほぼ同数であり横這い。平成18年度は年間通じて各月の差はなかったものの、平成19年度は月により件数のばらつきがあった。

医療福祉相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
退院調整（転院（所）支援）	253	284	311	336	353	239	390	367	290	434	404	442	4,103
退院調整（在宅支援）	50	52	47	65	79	45	40	65	69	88	60	20	680
経済的問題	26	43	41	34	24	43	46	26	38	36	39	67	463
社会福祉制度	186	178	149	131	114	121	147	127	113	115	124	135	1,640
在宅支援	11	17	33	22	15	26	19	20	16	22	21	15	237
他病院への受診・入院調整	18	14	16	16	27	14	17	15	16	11	27	16	207
セカンドオピニオン	3	2	0	2	0	1	7	2	2	6	0	1	26
受診・入院調整	18	18	28	36	13	23	31	24	27	25	15	15	273
心理的問題	25	15	24	16	18	15	25	22	17	8	11	20	216
その他	63	22	64	57	70	41	44	53	45	41	39	44	583
計	653	645	713	715	713	568	766	721	633	786	740	775	8,428

(重複あり)



相談内容の内訳として、退院調整が全体の6割以上を占めており、平成18年度より7%増加となっている。特に転院（所）先支援は17年度42.3%、18年度46.6%、19年度52.3%と年々増加してきている。これらの数値から、院内スタッフや地域の関係機関に、病院にはMSWが配置されており相談できる部署がある、ということが浸透してきているのではないかと推測される。

また、MSWの業務として、地域連携強化による、切れ目のない医療福祉ネットワークの構築が今後ますます重要となるであろう。

転院・在宅等 退院調整相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
退院調整	転院先調整	193	232	249	267	282	194	298	285	224	366	327	361	3,278
	関係機関調整	60	52	62	69	71	45	92	82	66	68	77	81	825
在宅支援		50	52	47	65	79	45	40	65	69	88	60	20	680

退院調整相談の新規相談者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
退院調整	転院先調整	27	31	30	37	28	19	38	42	47	58	52	43	452
	関係機関調整	5	5	8	5	6	2	7	3	4	6	5	3	59
在宅支援		9	9	12	14	14	7	6	12	11	18	6	6	124

退院調整の主な退院先

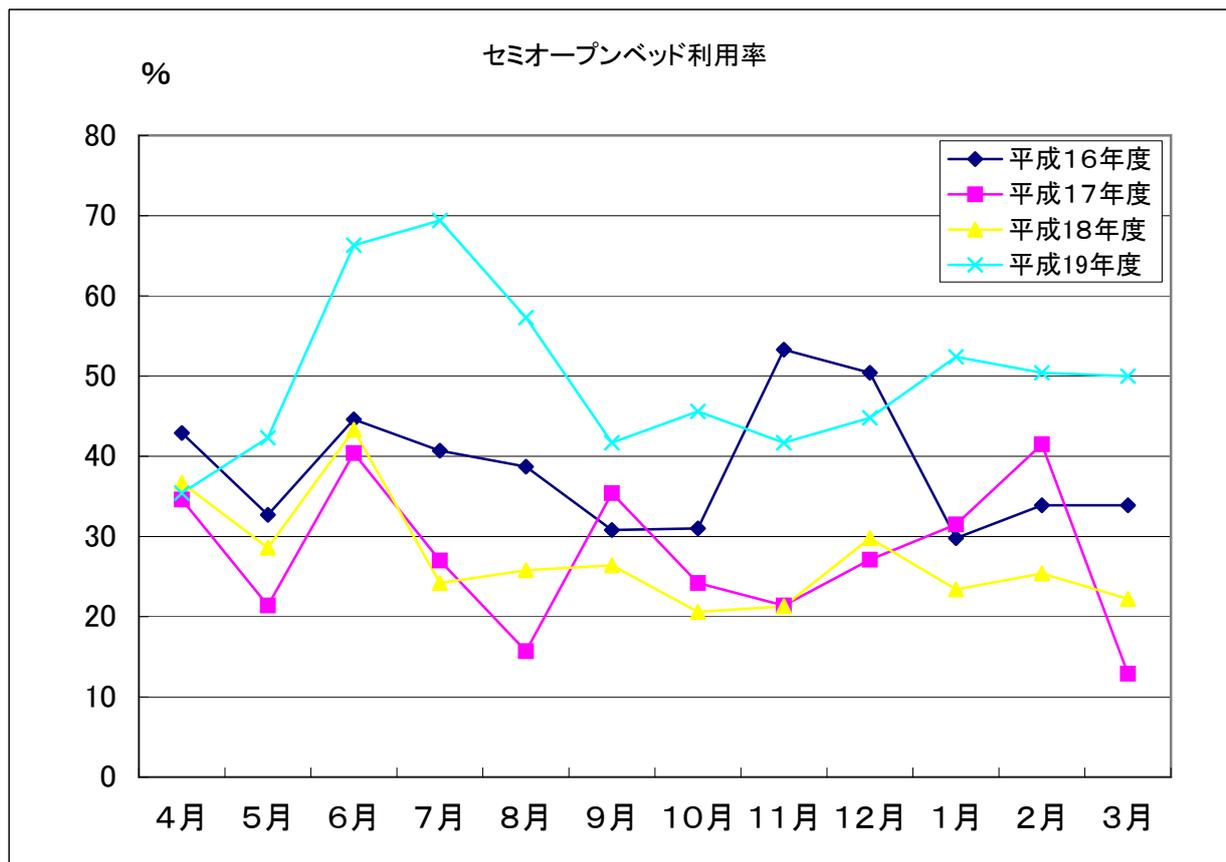
病院				診療所	在宅		施設	死亡	その他	計
一般	回復期	療養型	その他		在宅	自宅待機				
77	170	34	51	22	140	13	59	50	6	622

一般病棟への転院が前年度に比べ半減した。その要因として、医療機能の分化が進んできたことによる影響が考えられる。

また、主な退院先の病院の中で、「その他（51件）」が大幅に増えているが、その理由としてホスピスへの転院が増加したことが挙げられる。今まではターミナルの患者は療養型の病院で最期を迎えることも多かったが、「がん」に関しての情報が一般市民も容易に入手できるようになり、「告知」→「緩和ケア」＝「ホスピス」という流れが世間一般に浸透しつつあることが伺える。

セミオープンベッド利用状況

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
4月	42.9	34.6	36.7	35.4
5月	32.7	21.4	28.6	42.3
6月	44.6	40.4	43.3	66.3
7月	40.7	27.0	24.2	69.4
8月	38.7	15.7	25.8	57.3
9月	30.8	35.4	26.4	41.7
10月	31.0	24.2	20.6	45.6
11月	53.3	21.4	21.3	41.7
12月	50.4	27.1	29.8	44.8
1月	29.8	31.5	23.4	52.4
2月	33.9	41.5	25.4	50.4
3月	33.9	12.9	22.2	50.0



19年度 病診連携・病病連携登録医(医療機関)数

病診連携登録医数(19年度末現在)						病病連携登録 医療機関数
いなべ医師会	桑名医師会	四日市医師会	亀山医師会	鈴鹿医師会	合計	
25	23	279	5	63	395	13
うち19年度新規登録数(内数)						うち19年度新規登 録病病連携機関数
いなべ医師会	桑名医師会	四日市医師会	亀山医師会	鈴鹿医師会	合計	
0	0	6	0	2	8	0

当院では、病診連携を積極的に進める方針から、近隣医師会と病診連携システムに係る合意を交わし、病診連携システムへの賛同を趣旨とする登録医制度を設けており、19年度は新規に8名の登録をいただいた。

また、それぞれの機能分担を図る観点から、周辺地域の病院との病病連携も推進しているところであり、19年度末現在で、13の医療機関と病病連携システムの合意を交わしている。

今後も、更なる登録医療機関の充実と共に、地域医療連携の推進を図りたいと考えている。

18年度 紹介患者数と紹介率

診療科	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	初診数	310	356	275	322	367	295	280	312	540	544	312	348	4261
	紹介数	17	13	11	20	17	15	14	15	18	10	13	16	179
外科	初診数	90	116	142	131	133	101	125	145	142	142	108	126	1501
	紹介数	32	37	32	39	54	39	54	55	69	61	50	47	569
心外科	初診数	12	11	14	11	11	9	8	10	6	6	6	11	115
	紹介数	5	7	8	9	8	2	6	4	3	6	4	7	69
脳外科	初診数	109	134	120	115	108	122	108	148	115	105	127	135	1446
	紹介数	21	22	19	13	11	12	11	18	15	24	25	20	211
小児科	初診数	316	419	298	373	392	271	300	339	687	514	312	329	4550
	紹介数	32	24	33	44	42	30	35	40	44	36	27	32	419
産婦人科	初診数	110	132	158	135	126	123	126	112	122	117	82	119	1462
	紹介数	33	36	32	44	33	35	31	33	38	40	31	33	419
整形外科	初診数	263	265	259	281	286	230	255	253	253	283	233	266	3127
	紹介数	57	57	58	69	52	37	70	56	46	64	58	57	681
皮膚科	初診数	72	97	90	89	74	111	85	88	42	79	54	54	935
	紹介数	10	12	16	15	3	15	11	21	5	12	20	12	152
泌尿器科	初診数	37	51	37	38	53	34	52	44	36	51	43	41	517
	紹介数	13	25	20	18	19	15	21	18	14	19	17	19	218
眼科	初診数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	紹介数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻いんこう科	初診数	105	119	91	95	102	81	95	91	98	104	89	113	1183
	紹介数	19	24	21	15	30	21	31	20	30	21	27	31	290
精神科	初診数	3	2	5	6	5	3	1	0	0	1	2	3	31
	紹介数	3	2	4	5	1	2	1	0	0	0	2	2	22
神経内科	初診数	52	51	63	61	43	43	67	51	48	54	52	59	644
	紹介数	32	30	37	40	26	19	38	27	23	23	26	35	356
循環器科	初診数	75	73	90	102	104	78	88	90	71	76	65	94	1006
	紹介数	35	36	47	53	46	39	46	51	30	36	41	48	508
放射線科	初診数	94	93	99	101	103	84	106	88	70	65	61	80	1044
	紹介数	94	93	99	101	103	84	105	88	70	65	61	80	1043
呼吸器科	初診数	74	95	119	94	58	64	92	75	77	81	73	75	977
	紹介数	38	42	58	46	24	33	41	41	37	40	39	40	479
消化器科	初診数	119	137	134	162	142	142	179	163	135	134	108	109	1664
	紹介数	53	65	60	76	58	60	93	97	60	50	52	41	765
呼吸器外科	初診数	3	2	2	4	2	1	4	4	5	2	4	5	38
	紹介数	2	2	2	2	1	0	1	2	2	0	3	3	20
合計	初診数	1,845	2,153	1,996	2,120	2,109	1,792	1,971	2,013	2,447	2,358	1,731	1,967	24,502
	6歳未満時間外除く初診数	1,665	1,920	1,823	1,929	1,902	1,632	1,820	1,816	2,101	2,095	1,567	1,769	22,039
	紹介数	496	527	557	609	528	458	609	586	504	507	496	523	6,400
	救急車搬送患者数	272	260	266	289	300	288	294	331	324	301	385	362	3,672
	紹介率	51.7	46.7	49.9	51.7	48.8	50.7	54.1	56.6	47.2	44.1	62.8	56.3	51.5

※ 紹介数＝初診である紹介患者数

※ 紹介率＝(初診患者数+救急車搬送患者数)/初診患者数(6歳未満時間外除く)

当院は急性期病院として、病診・病病連携に取り組んでおり紹介率は年々上昇している。また、救急救命センター併置病院としても救急搬送受け入れ患者数が増加しており、今後も引き続き地域医療機関と連携し適切な医療提供体制の充実に努めていきたい

19年度 病診連携検査 検査種類別件数

MRI	CT	胃透視	胃カメラ	心エコー	トレッドミル	ホルター EKG	脳波
426	811	0	85	27	19	2	55
ABR	頸動脈 エコー	腹部 エコー	甲状腺 エコー	下肢静脈 エコー	尿素呼気 試験	マンモ グラフィ	神経生理 検査
2	4	47	8	13	15	6	4
						合計	1,524

当院では、外部医療機関からの依頼により検査のみを行うシステムである病診連携検査を実施している。これは、大型医療機器等を地域で共同利用し、地域医療機関との機能分担を図る趣旨で実施しているものである。全体の件数では、利用数の多い画像診断の増加に牽引される形で、昨年度と比して増加している。

平成19年度 地域支援研修実績

開催日	講座名	テーマ	講師	担当部署
7月5日	学術講演会	胃癌治療の最前線	岐阜市民病院 外科副院長 種村 廣巳	外科 地域連携室
8月2日	地域支援 講習会	「誤嚥性肺炎 の予防ケア」	県立総合医療センター 集中ケア認定看護師 原 知江	地域連携室
9月6日	学術講演会	肺癌の画像診断	三重大学附属病院 像診断科講師 村嶋 秀市	放射線 地域連携室
9月14日	学術講演会	乳がん薬物療法 の実際	名古屋市立大学病院 乳腺内分泌外科副部長 遠山 竜也	外科 地域連携室
10月4日	学術講演会	転移性脳腫瘍に対する ガンマーナイフ治療の 有効性と限界	三重大学 脳神経科講師 塩川病院 三重ガンマーナイフセンター 堀 康太郎	脳外科 地域連携室
11月14日	学術講演会	膵癌と生活 習慣病薬について	金沢大学 癌局所制御学教授 太田 哲生	消化器科 地域連携室
11月22日	地域支援 講習会	「レクリエーション からリハビリテーション に・・・」	県立総合医療センター 作業療法部 富中 慎吾	地域連携室
12月6日	感染 セミナー	「抗菌薬の適正 使用を目指して」	名古屋大学医学部附属病院 難治感染症部助教 馬場 尚志	感染対策室
1月18日	地域支援 講習会	「高齢者のスキンケア」	県立総合医療センター 皮膚認定看護師 大川 恵美	地域連携室
1月25日	H I V /A I D S 講演会	「タイのH I V事情と 名古屋における 早期発見の取り組み」	国立名古屋医療センター 臨床研究センター 止血・血栓研究部長 浜口 元洋	H I V カンファレンス チーム
2月14日	学術講演会	すべての患者さん に睡眠を！	三重大学医学部附属病院 総合診療部準教授 竹村 洋	循環器 地域連携室
2月29日	感染 セミナー	「新しい院内感染 防止の考え方」	東京医療保健大学 医療保健情報学科 感染制御学教授 大久保 憲	感染対策室
3月13日	学術講演会	アスベスト関連疾患 の画像診断と治療	兵庫医科大学 内科学呼吸器・RCU科教授 中野 孝司	呼吸器科 地域連携室

(9) 医療安全管理部 感染対策室

院内感染対策チーム (Infection Control Team)

メンバー構成

リーダー：感染対策室長 (ICN 倉田)

メンバー：ICD (吉田、伊藤秀、西森)

ICD 薬剤師 (森) 薬剤師 (中川)

リンクナース (ICN 垣内、田上)

細菌検査技師 (森外)

施設管理 (高安)

実績

1. 感染対策物品の見直し、検討 (施設管理課と協同)

① 手洗い石鹸の見直し

感染防止の基本は手洗いにあり、手あれが少なく使いやすい石鹸に変更した。

その為か石鹸の使用量は増加し、MRSA 感染率は低下、石鹸に係るコストは減少した。

② TQM 活動の一環として、消毒薬の見直しを行い業務の効率化と生体消毒薬等の採用品目を削減し適正使用を推進することができた。環境清掃用に使用のイソプロパノールを中止し、汚染された部位を清拭できるように低レベル消毒含有のクロスとアルコール含有のクロスの2種類を採用し、現場看護師等の業務の負担を軽減した。

③ 中心静脈カテーテル用に使用のラインを閉鎖式で一体型に変更し、ラインの接続や交換などの看護師業務の軽減に努めた。

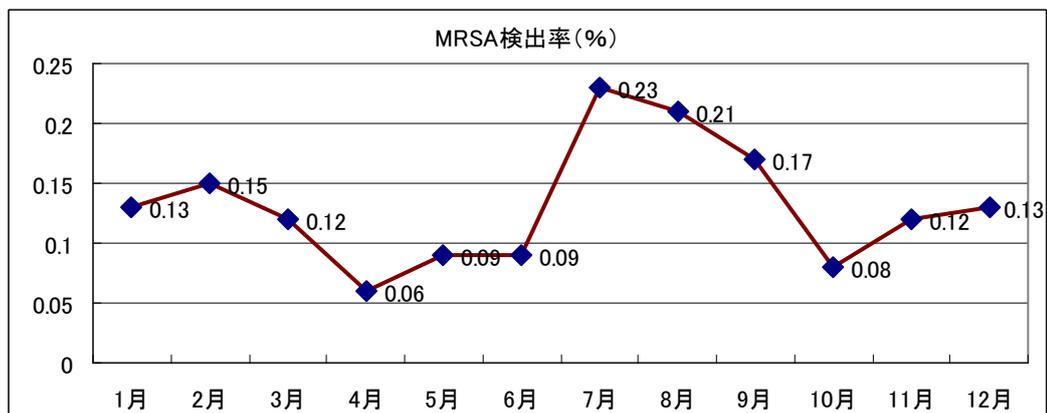
2. 院内感染防止マニュアルの改訂、手術後感染防止 (術後肺炎、創感染) マニュアルを作成

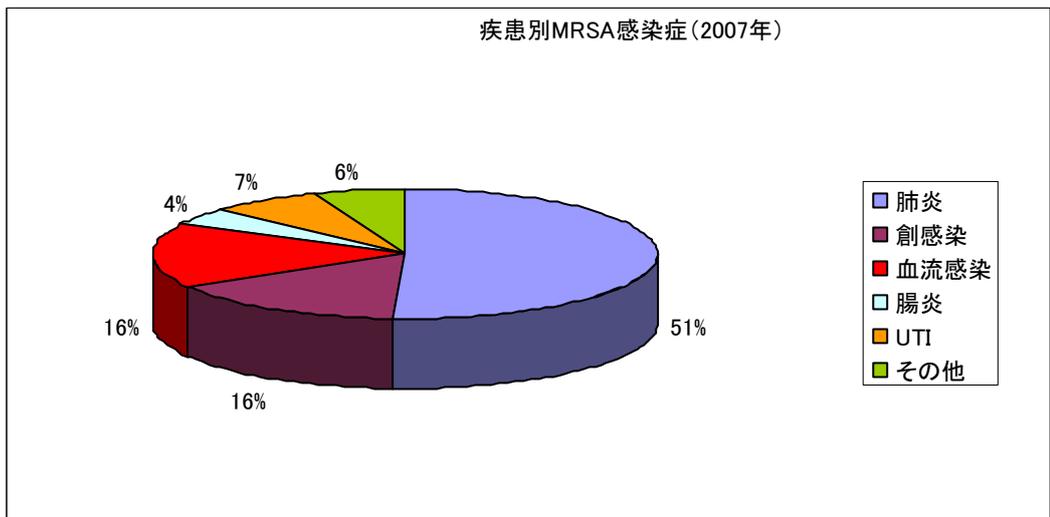
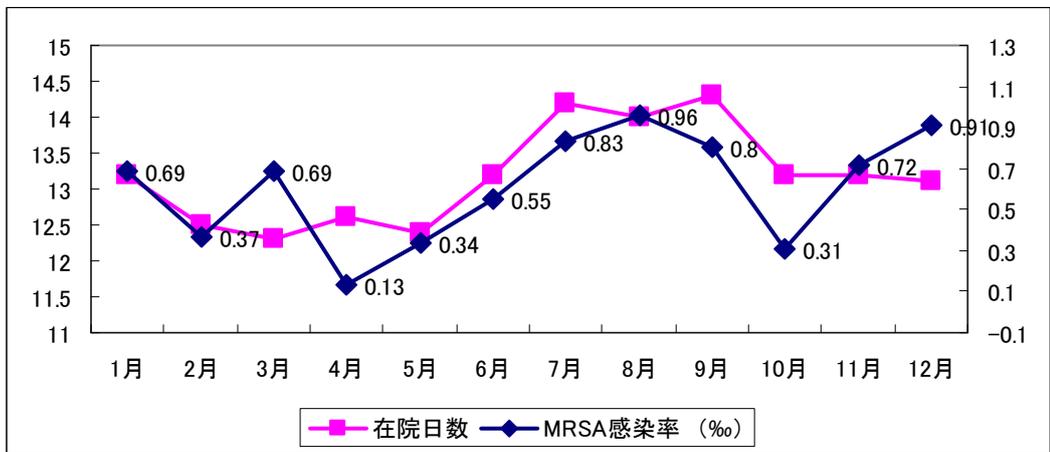
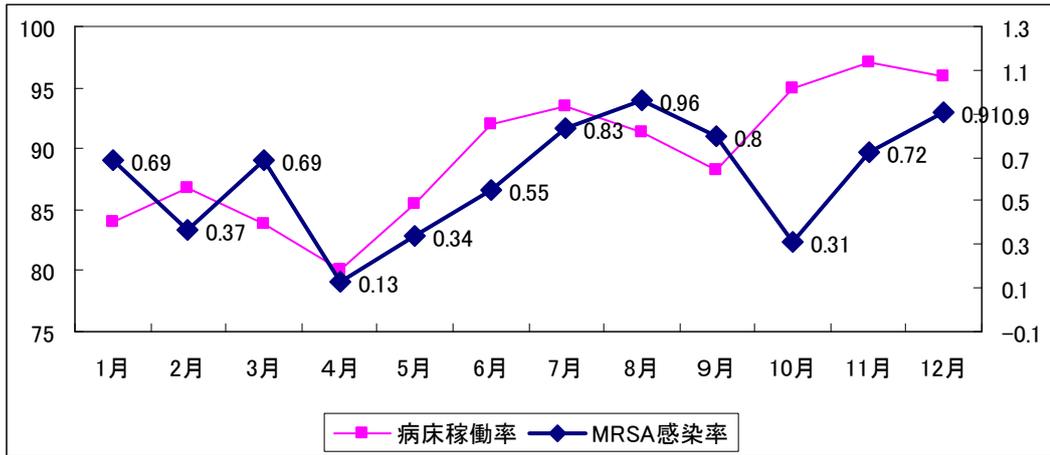
電子媒体フォルダ内に入れ PC から閲覧できるようにした。

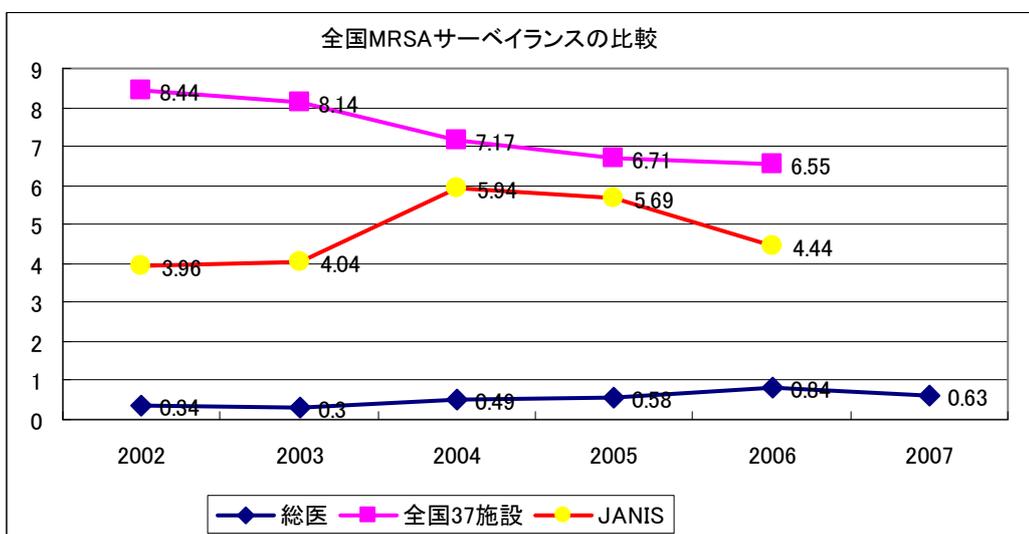
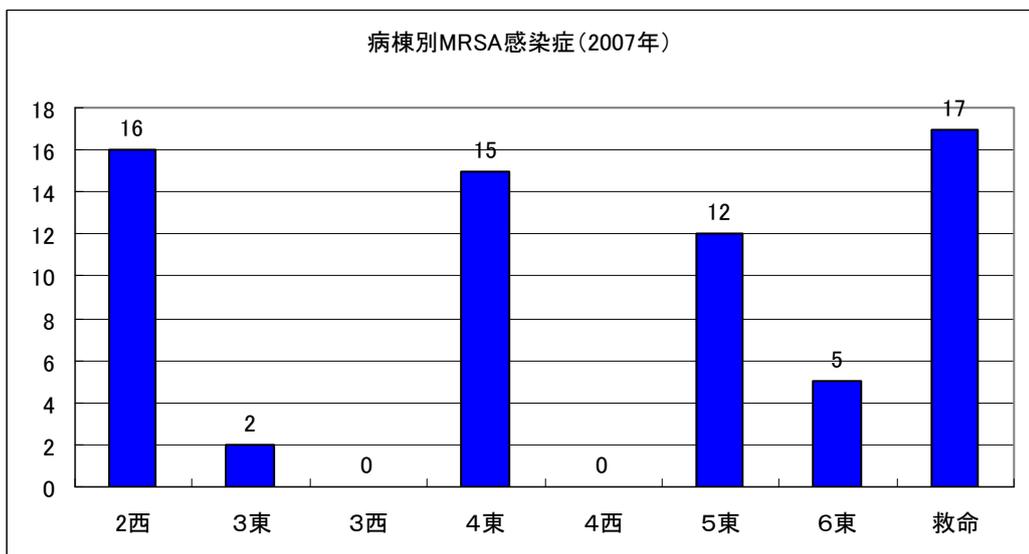
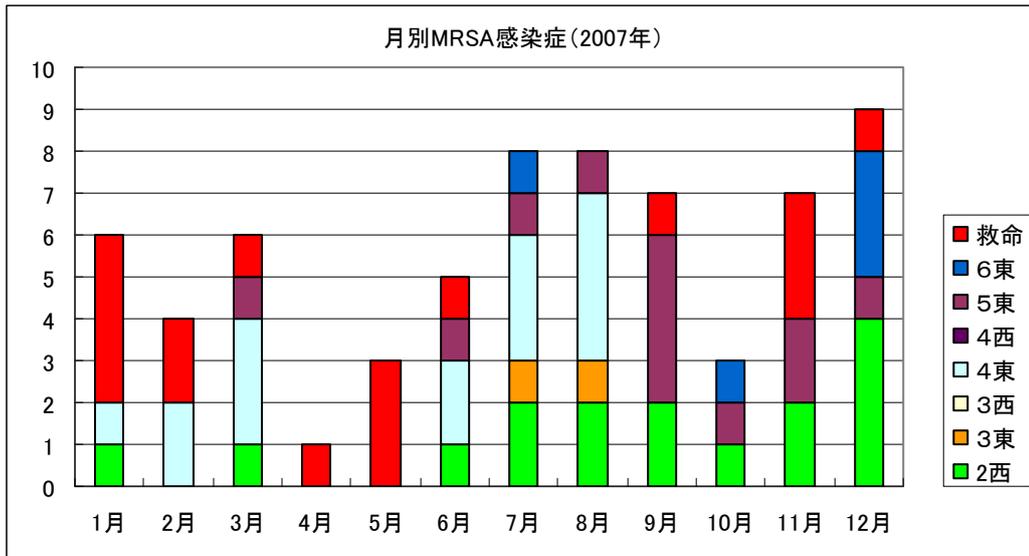
3. MRSA サーベイランス結果

① 2007 年 MRSA 感染率

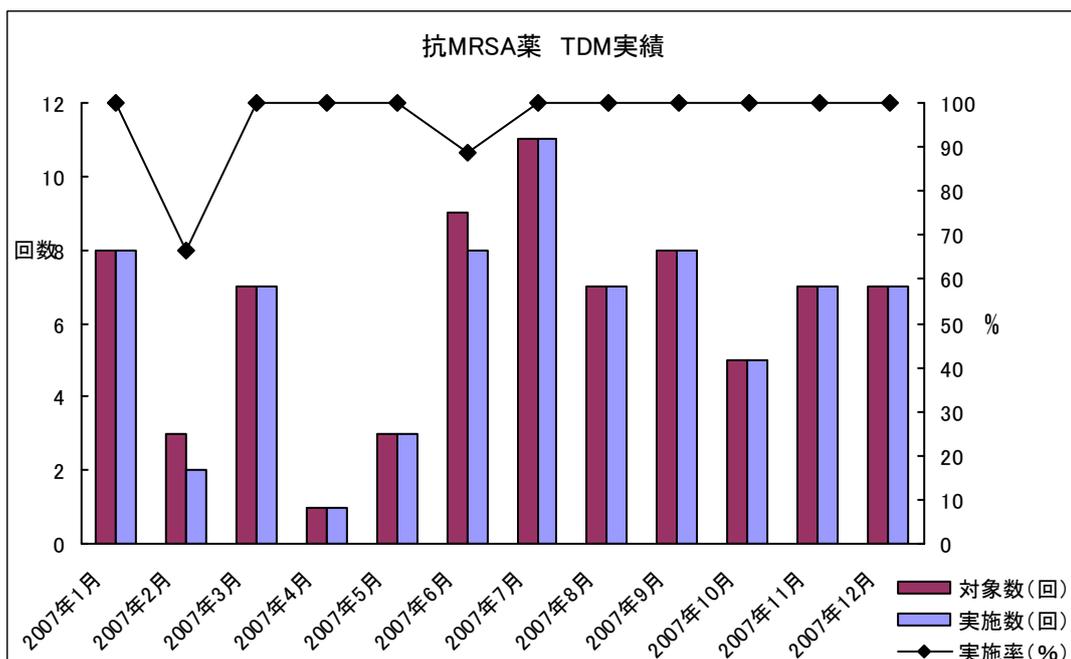
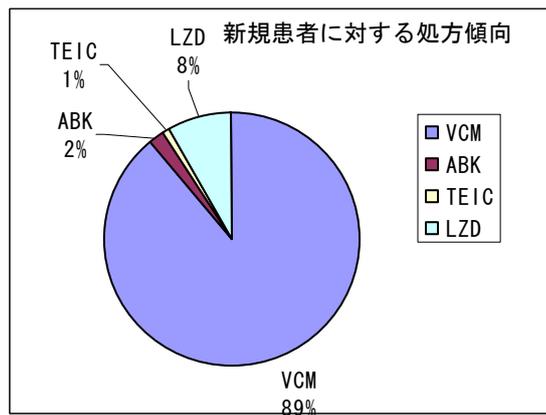
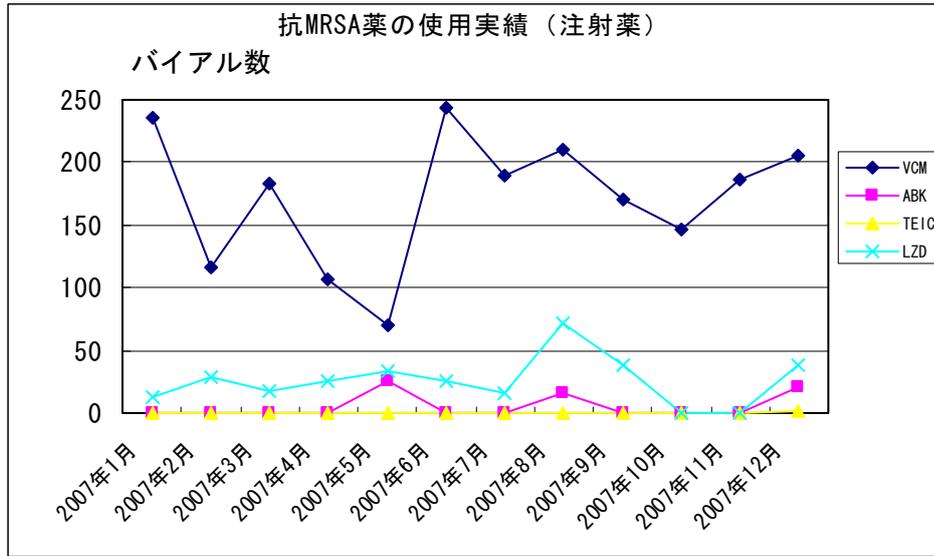
資料 1-① MRSA サーベイランス結果 (2007 年 1 月～12 月)







② 抗MRSA薬使用実績 TDM実績、抗菌薬使用実績
資料1-② (薬剤部) 抗MRSA薬の使用実績 (注射薬)



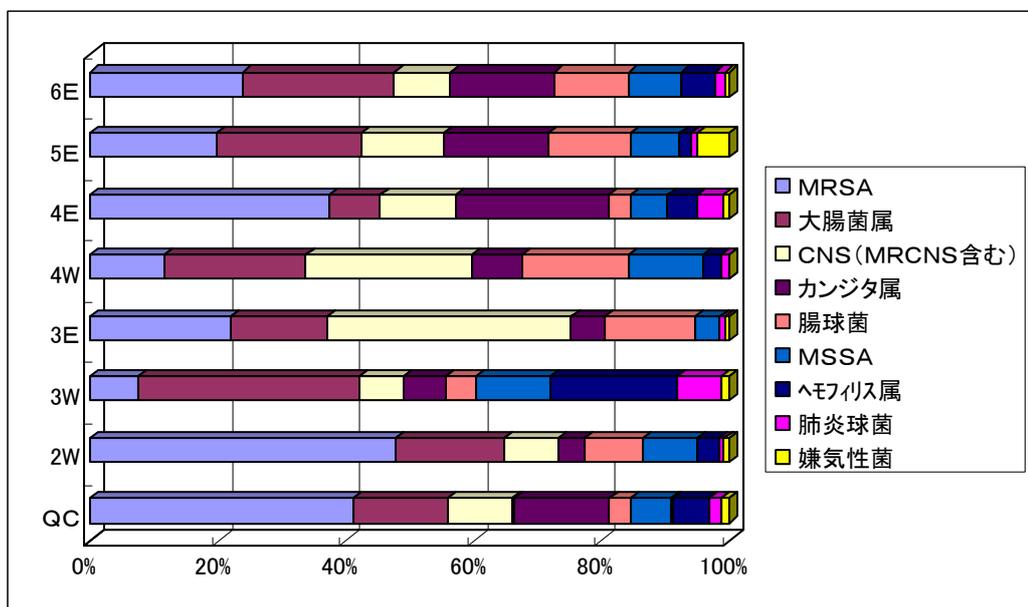
③ MRSA・緑膿菌・肺炎球菌の PCG 感受性率

資料1-③ (細菌検査)

夏季にMRSAのアウトブレイクが発生、異常を察知した時点で早期に介入し現場スタッフとともに対策を講じることで早期の終息となった。

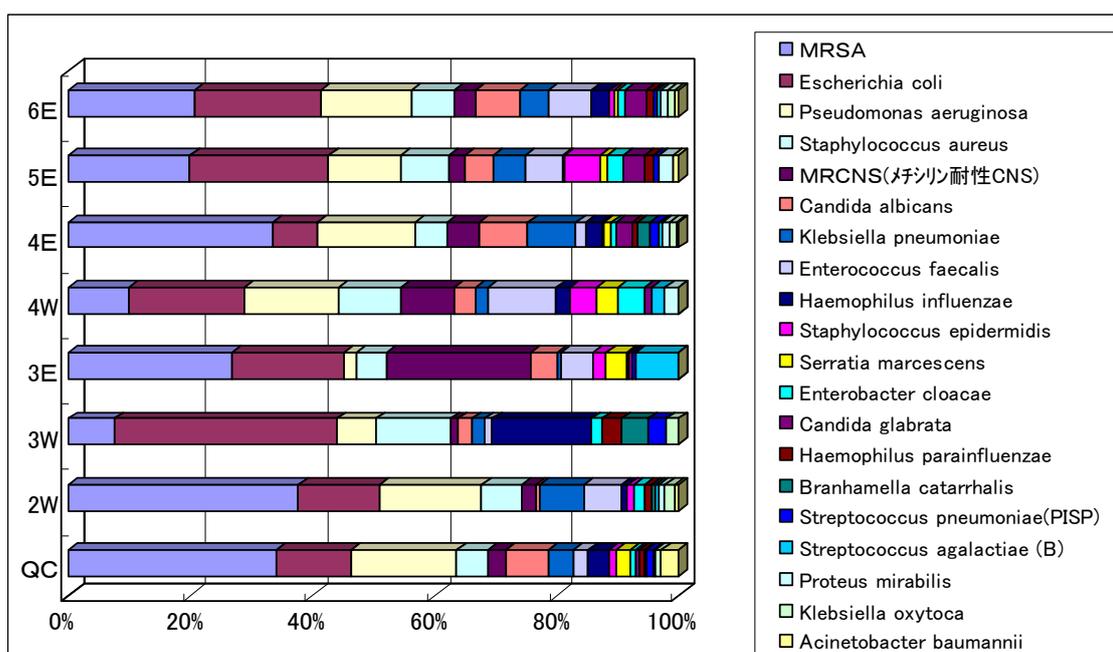
2007年病棟別検出菌件数 *重複患者含む

	QC	2W	3W	3E	4W	4E	5E	6E	合計
MRSA	146	68	19	50	9	98	44	35	469
大腸菌属	52	24	89	34	17	21	50	35	322
CNS(MRCNS含む)	36	12	18	87	20	31	29	13	246
緑膿菌	74	30	16	4	14	48	26	25	237
カンジタ属	53	6	17	12	6	63	36	24	217
腸球菌	12	13	12	32	13	9	29	17	137
MSSA	22	12	30	9	9	15	17	12	126
レンサ球菌	16	10	16	20	5	13	19	5	104
ヘモフィス属	20	5	51	0	2	12	4	8	102
肺炎球菌	7	1	18	2	1	11	2	2	44
嫌気性菌	4	1	3	1	0	2	11	1	23



2007 年病棟別検出菌上位 20 *重複患者含む

		QC	2W	3W	3E	4W	4E	5E	6E	合計
1	MRSA	146	68	19	50	9	98	44	35	792
2	Escherichia coli	52	24	89	34	17	21	50	35	592
3	Pseudomonas aeruginosa	74	30	16	4	14	47	26	25	398
4	Staphylococcus aureus	22	12	30	9	9	15	17	12	230
5	MRCNS(メチリン耐性 CNS)	12	4	3	44	8	16	6	6	186
6	Candida albicans	30	1	6	8	3	23	10	12	156
7	Klebsiella pneumoniae	17	13	5	1	2	23	12	8	145
8	Enterococcus faecalis	11	11	3	10	10	5	13	12	139
9	Haemophilus influenzae	14	2	40	0	2	7	1	5	128
10	Staphylococcus epidermidis	5	2	0	4	4	1	13	1	55
11	Serratia marcescens	10	0	0	6	3	4	2	1	42
12	Enterobacter cloacae	4	3	4	1	4	2	6	2	48
13	Candida glabrata	2	0	0	1	1	8	8	6	50
14	Haemophilus parainfluenzae	4	2	8	0	0	2	3	2	38
15	Branhamella catarrhalis	2	1	11	0	0	6	0	0	38
16	Streptococcus pneumoniae(PISP)	4	0	7	1	0	5	2	1	36
17	Streptococcus agalactiae (B)	0	1	0	13	2	1	0	1	36
18	Proteus mirabilis	2	2	0	0	2	4	5	2	32
19	Klebsiella oxytoca	4	3	5	0	0	3	0	2	30
20	Acinetobacter baumannii	12	1	0	0	0	1	2	1	22



2007 年MRSA感受性率

	S	I	R	合計(件数)
PCG			100.00%	208
MPIPC			100.00%	207
CEZ			100.00%	208
CTX			100.00%	208
CMZ			100.00%	208
IPM/CS			100.00%	208
SBT/ABPC			100.00%	208
EM	1.90%		98.00%	208
LVFX	4.80%	25.00%	70.10%	208
CLDM	6.70%	0.40%	92.70%	208
FOM	29.80%		70.10%	208
MINO	47.10%	0.40%	52.40%	208
GM	65.80%	7.60%	26.40%	208
RFP	96.10%	1.40%	2.40%	208
AMK	99.50%		0.40%	208
ABK	100.00%			208
CP	100.00%			208
VCM	100.00%			208
ST	100.00%			208
TEIC	100.00%			208

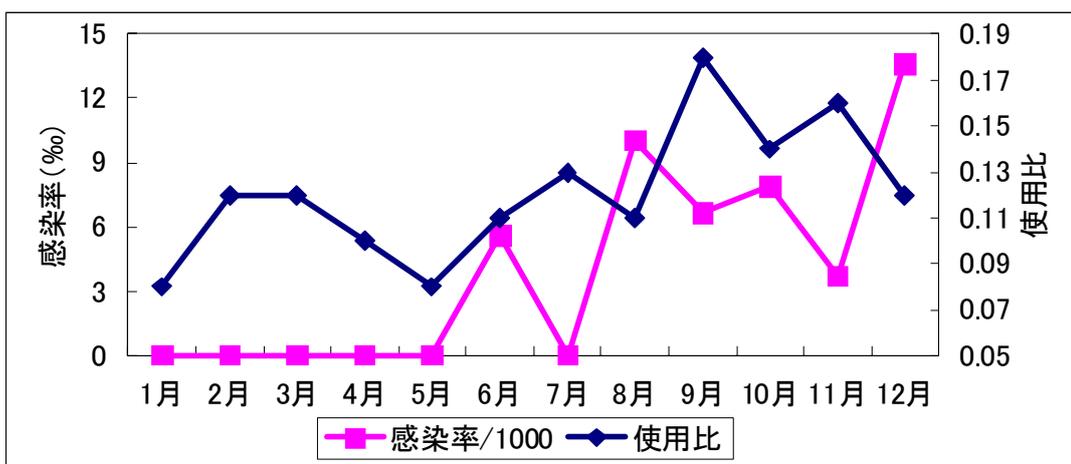
2007 年肺炎球菌感受性率

	S	I	R	合計(件数)
TC	12.20%	1.30%	86.40%	228
EM	18.00%	12.70%	69.10%	227
PCG	21.30%	50.00%	28.70%	230
ST	47.30%	35.60%	16.90%	230
AMPC	67.10%	31.50%	1.30%	225
OFLX	86.40%	10.90%	2.60%	229
CP	90.20%		9.70%	226
CTX	91.70%	6.90%	1.30%	230
CTRX	94.70%	3.40%	1.70%	230
IPM/CS	97.30%	2.60%		230
VCM	100.00%			229

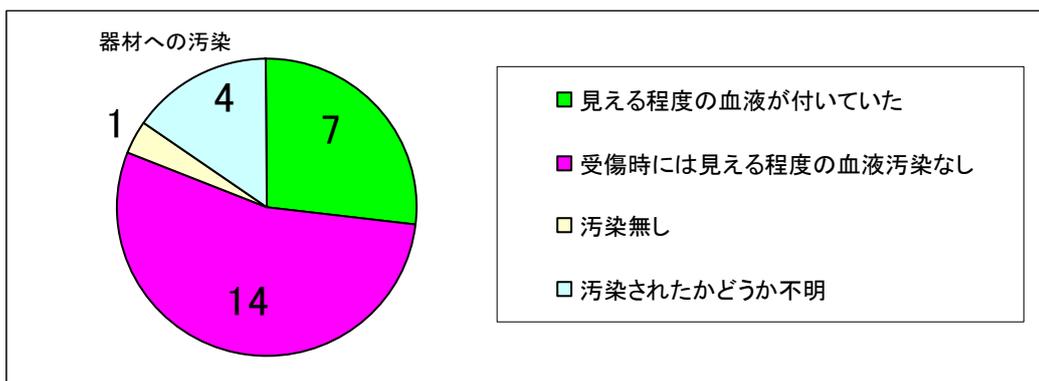
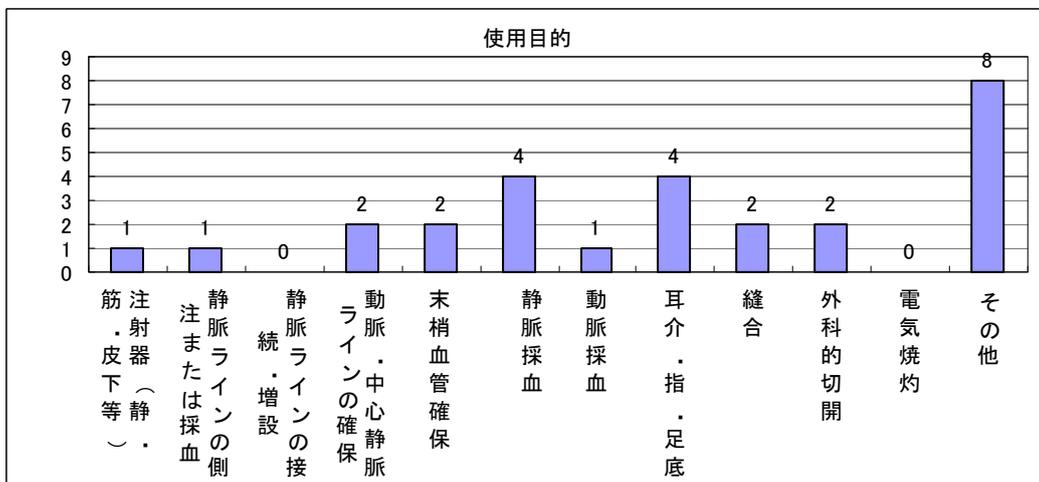
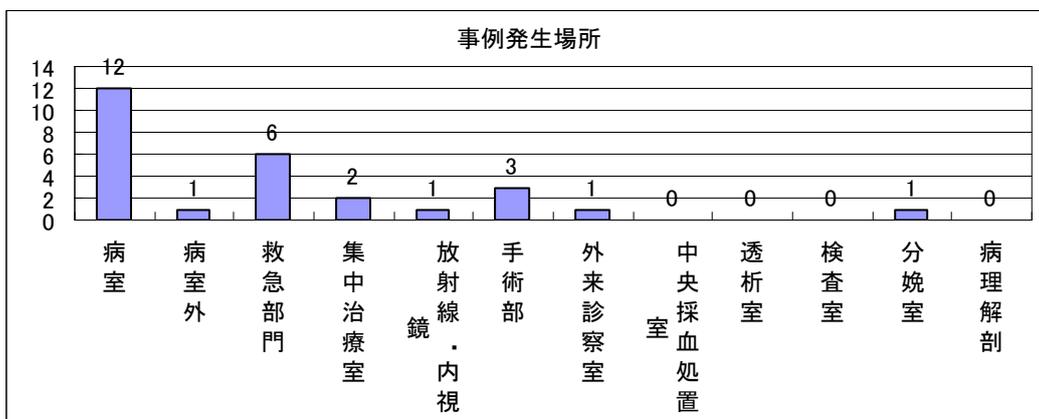
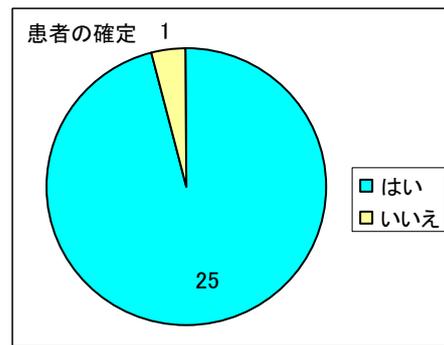
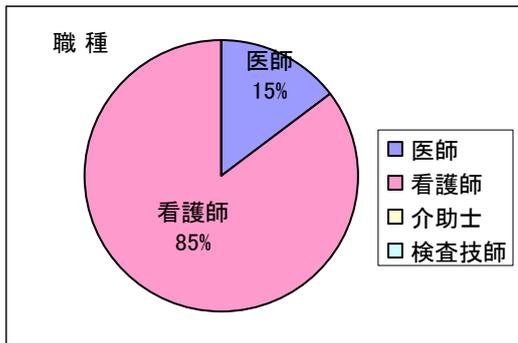
2007年緑膿菌感受性率

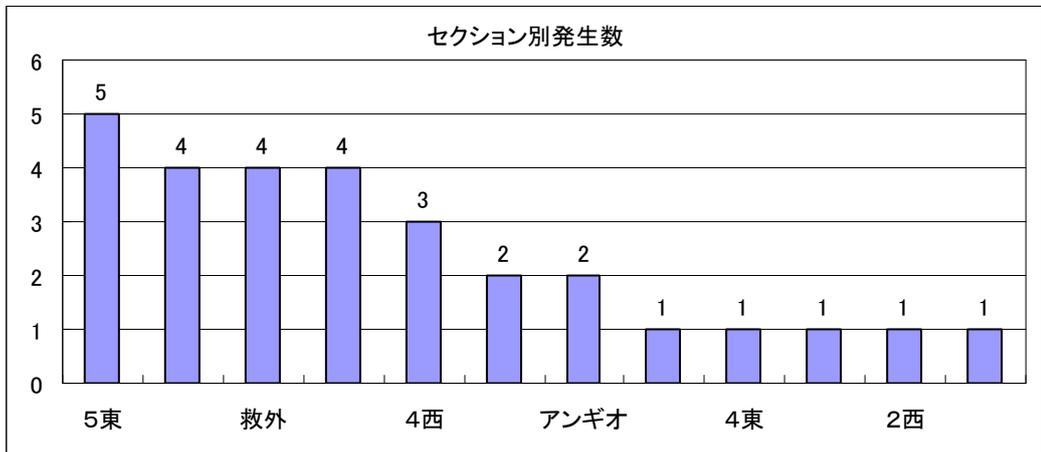
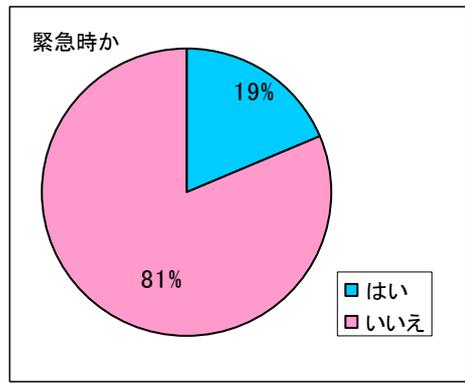
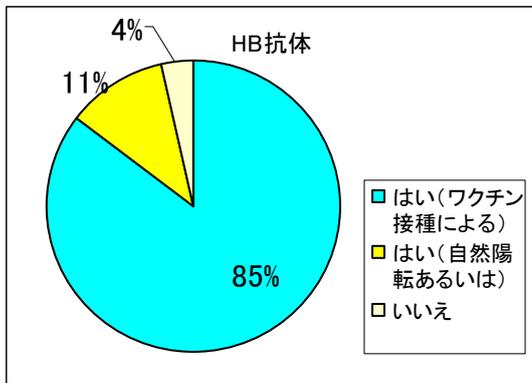
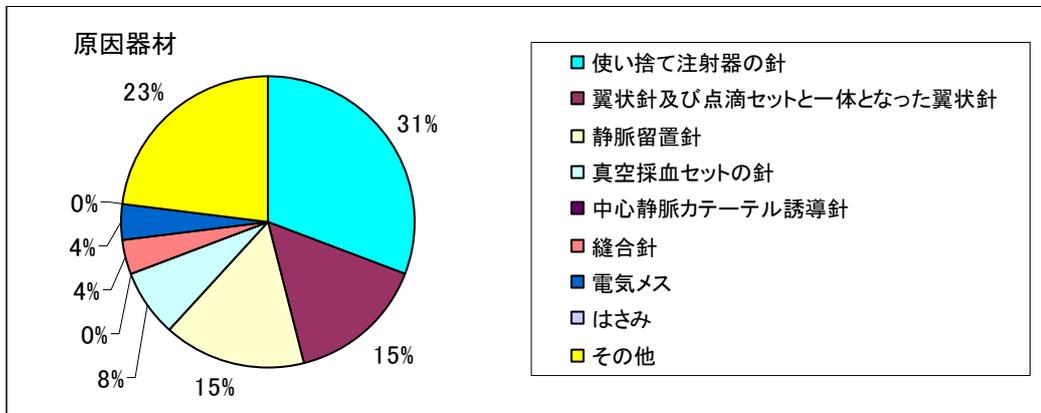
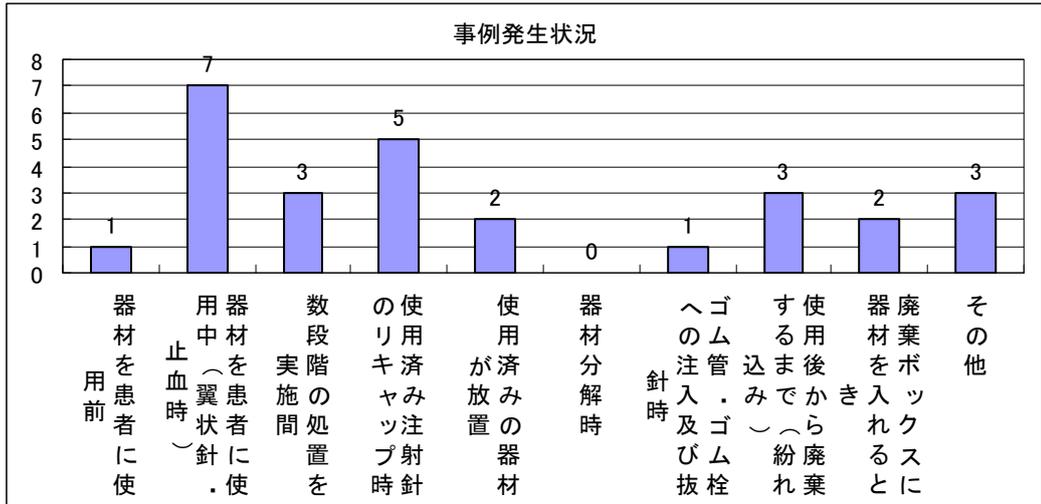
	S	I	R	合計(件数)
ABPC			100.00%	141
GEZ			100.00%	142
CTX			100.00%	139
CFX			100.00%	142
FMOX			100.00%	142
SBT/ABPC			100.00%	140
MINO			100.00%	142
CP			100.00%	140
ST			100.00%	140
AZT	63.50%	21.40%	15.00%	140
IPM/CS	69.70%	12.60%	17.60%	142
CPFX	76.60%	3.50%	19.80%	141
LVFX	77.40%	2.80%	19.70%	142
MEPM	80.80%	7.00%	12.00%	141
CAZ	81.40%	11.40%	7.10%	140
GZOP	92.20%	3.50%	4.20%	141
CFPM	93.60%	2.10%	4.20%	142
GM	95.00%	5.00%		140
PIPC	96.40%		3.50%	141
AMK	97.10%	2.80%		141

4. 血流感染サーベイランス



5. 針刺し・切創サーベイランスのまとめ (資料 2)





6. 職員インフルエンザワクチン接種率 () は 2006 年

職員接種率：94.8% (92.3%)

看護師 93.7% (90.1%)

看護介助士 100% (86.1%)

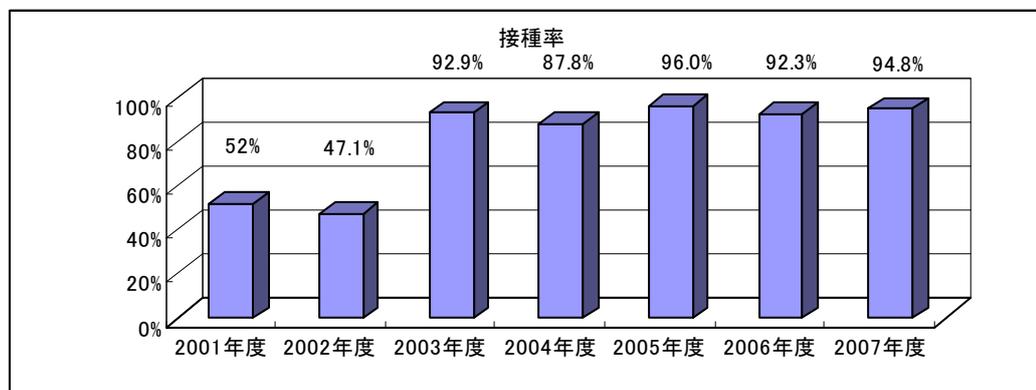
医師 96.6% (96.8%)

研修医 94.7% (100%)

コメディカル 98.5% (98.5%)

事務職員 93.8% (95.1%)

委託業者：名 142 名 (140 名)



7. Infection Control News の発行

毎月 1 回、サーベイランス情報、感染防止情報、お知らせなど発信した。

8. 病院事業庁主催の感染管理研修会開催

5 日間コース 研修生 2 名 (こころの医療センター、一志病院)

9. 講演会開催

1 月 10 日	医師・看護師	感染対策室	65 名	手術時手洗い SSI 対策	60 分	大日本住友
5 月 23 日	院内職員	感染対策室	30 名	手術時手洗い	60 分	大日本住友
12 月 6 日	院内職員	感染対策室	50 名	抗菌薬の適正使用に関して	60 分	馬場尚志

院外講師派遣

1 月 22 日	看護師	志摩病院	5 名	院内ラウンド	5 時間	倉田
11 月 6 日	看護師	看護協会	16 名	在宅ケアにおける感染予防	3 時間	倉田
11 月 13 日	看護師	看護協会	14 名	在宅ケアにおける感染予防	3 時間	倉田

10. 感染症法による発症届 報告

3 類感染症：細菌性赤痢 1 件

5 類感染症：後天性免疫不全症候群 6 件、

クロイツフェルトヤコブ 1 件

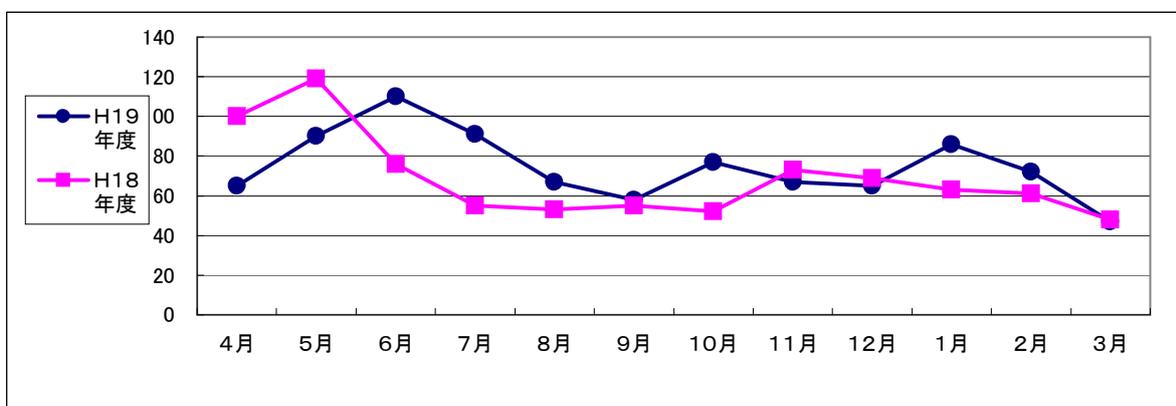
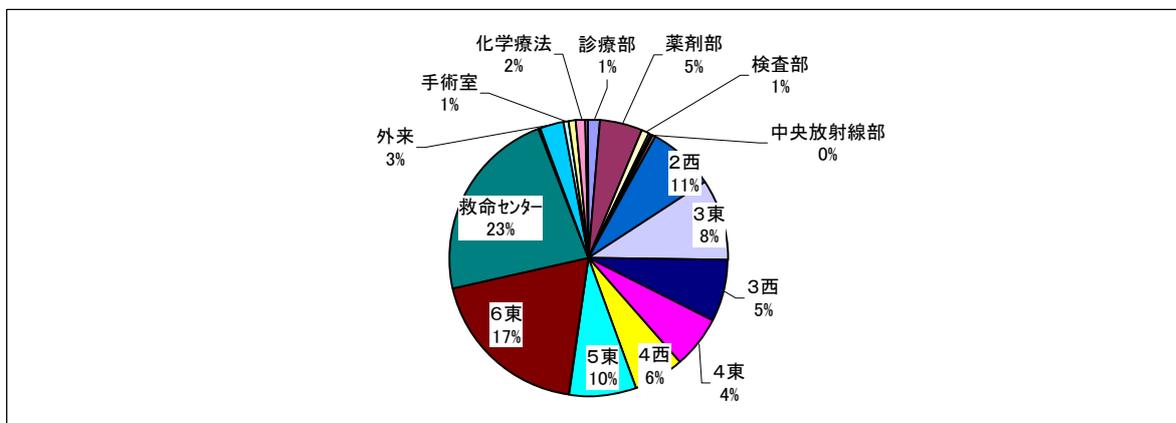
アメーバ赤痢 1 件

成人麻疹 : 2 件

医療安全管理部 医療安全対策室

1. ヒヤリ・ハット体験報告件数

合計	895 件	前年比	+ 71 件
最多報告部署	救命C	202 件	
最多報告月	6月	110 件	



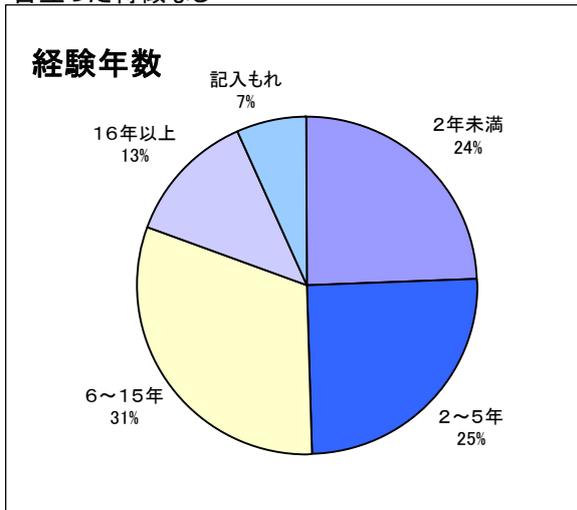
H19年度部署別内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診療部		2	3	2	1	2	0	1	0	0	0	1	0	12
薬剤部		0	7	19	0	3	0	4	3	2	2	3	3	46
中央検査部		0	2	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	6
リハビリテーション科		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
中央放射線部		0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4
血液浄化療法部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
看護部	2西病棟	8	11	13	6	7	2	4	1	3	11	3	0	69
	3東病棟	7	1	4	12	10	6	10	10	6	11	7	1	85
	3西病棟	3	5	4	5	3	2	5	3	5	10	11	8	64
	4東病棟	6	4	0	7	0	3	4	6	5	9	3	8	55
	4西病棟	0	8	9	0	9	4	5	4	3	2	6	4	54
	5東病棟	10	8	10	9	4	5	5	4	3	5	2	3	68
	6東病棟	8	8	16	29	11	8	11	19	19	14	20	10	173
	救命センター	18	23	24	17	10	25	21	12	14	19	10	9	202
	救急外来	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4
	外来	2	4	2	1	3	1	2	4	3	0	3	0	25
	手術室	0	0	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	5
	中材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中央放射線部	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	6
透析室	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
化学療法室	0	2	2	3	1	0	1	1	0	0	0	0	10	
看護部計		63	77	87	89	60	57	69	64	63	82	67	43	821
運営調整部		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計		65	90	110	91	67	58	77	67	65	86	72	47	895

2. ヒヤリ・ハット発生状況の傾向

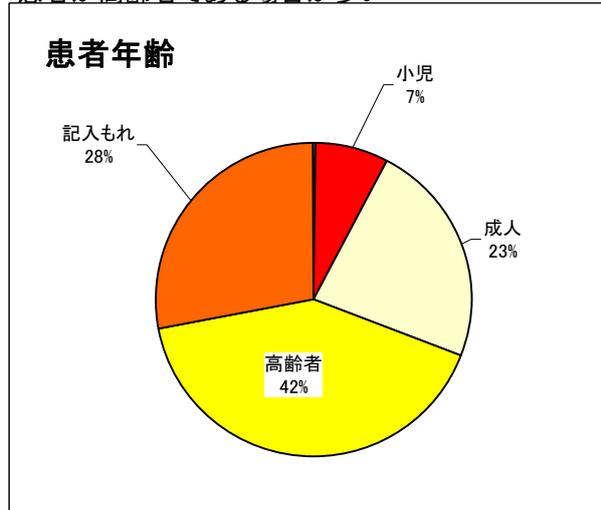
①報告者の経験年数

目立った特徴なし



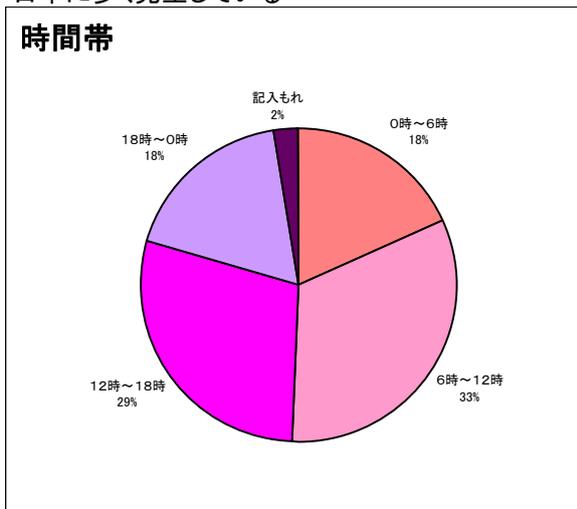
②患者の年齢

患者が高齢者である場合が多い



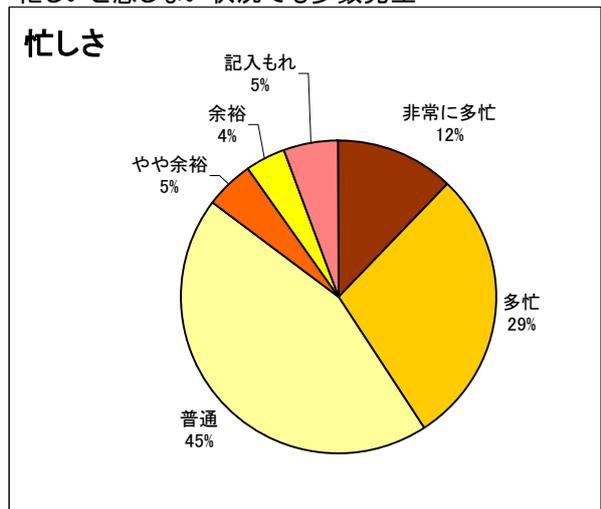
③時間帯

日中に多く発生している



④忙しさ

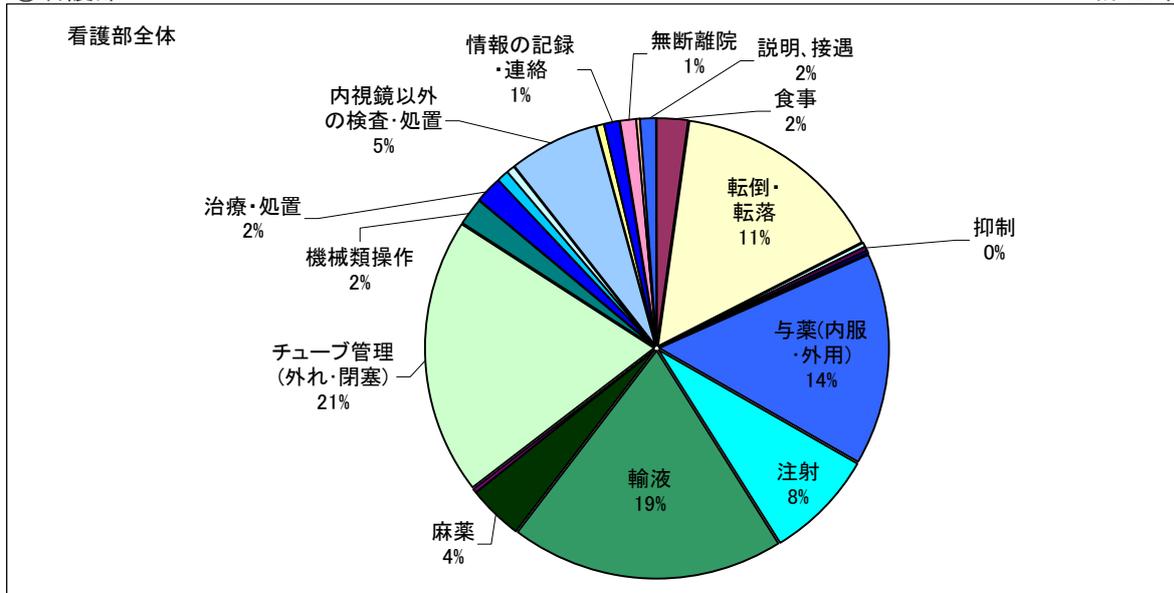
忙しいと感じない状況でも多数発生



3. 部署別 ヒヤリ・ハット内容の傾向

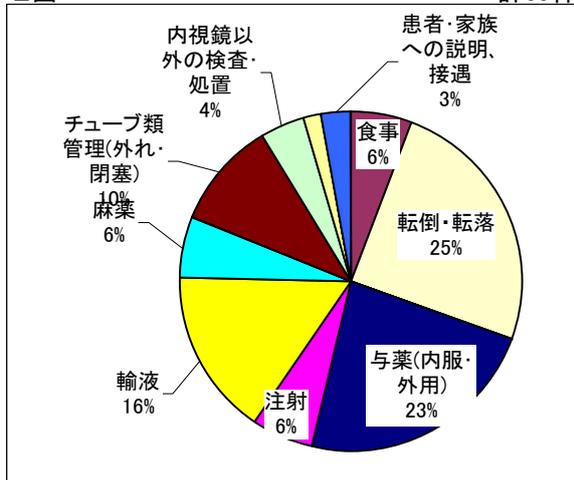
①看護部

計821件



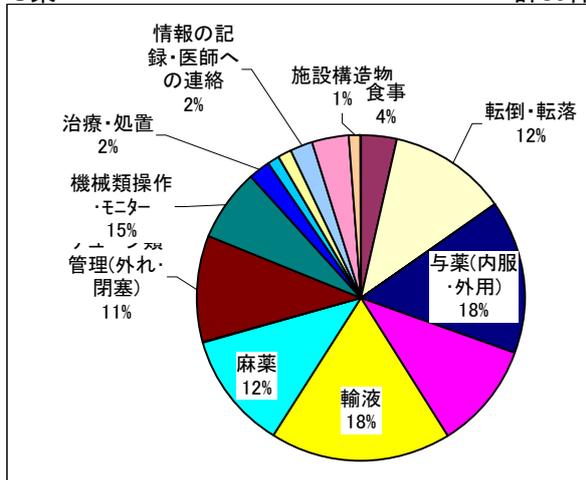
2西

計69件



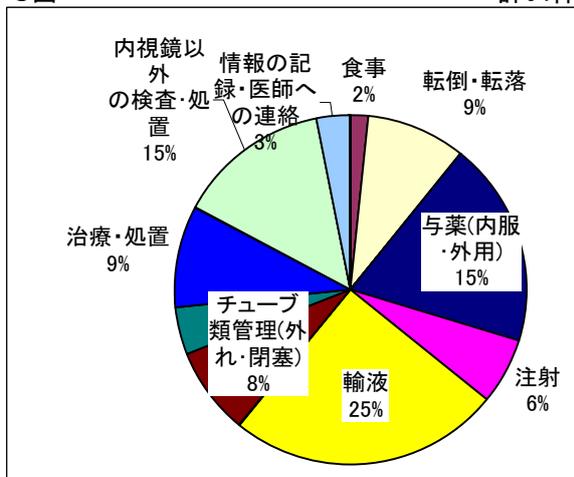
3東

計85件



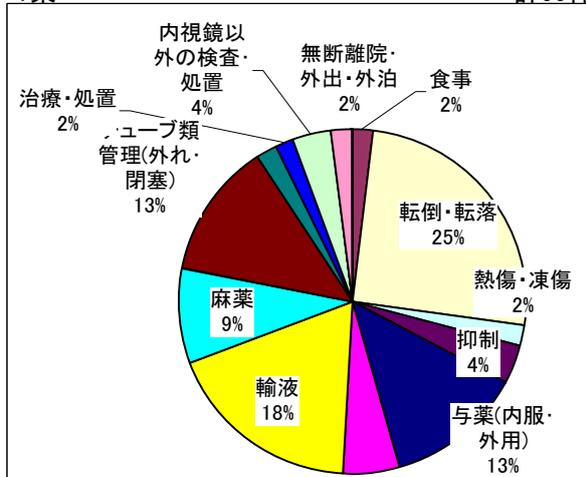
3西

計64件



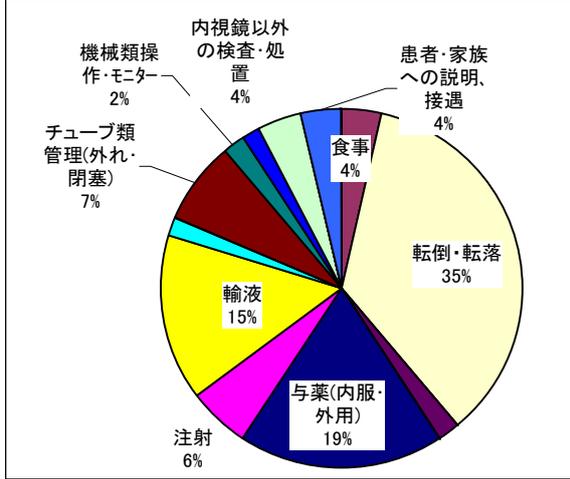
4東

計55件



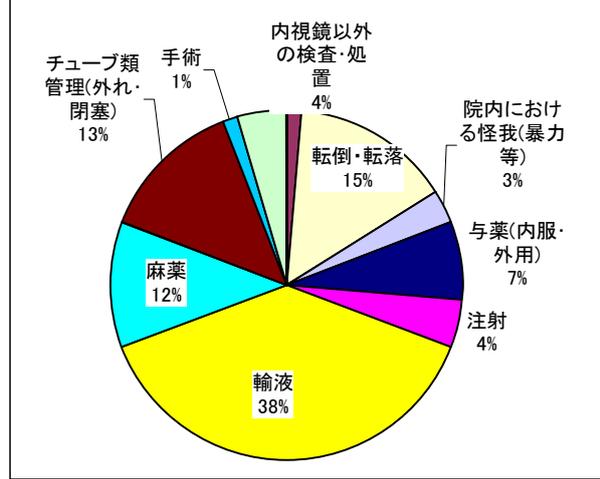
4西

計54件



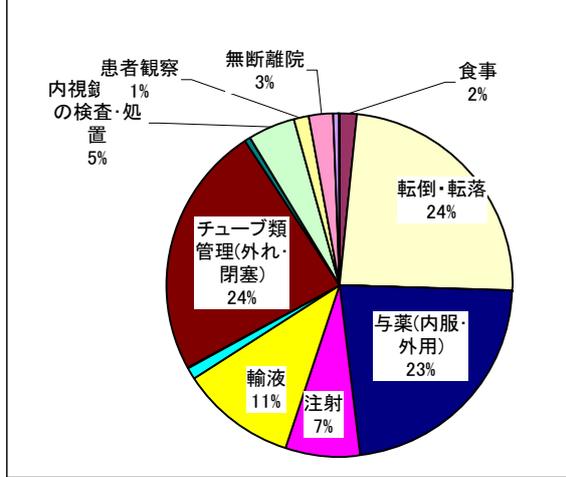
5東

計68件

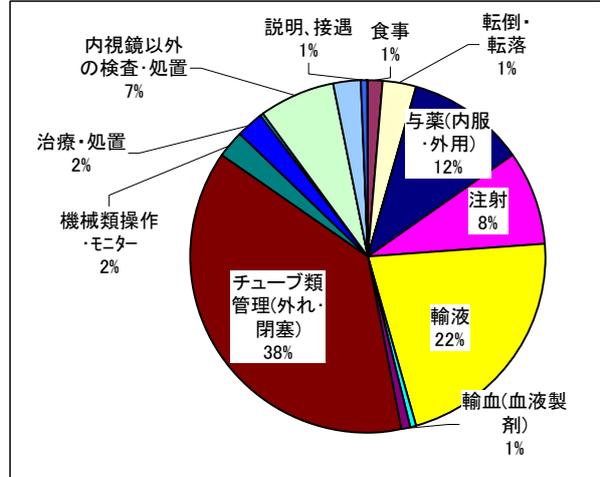


6東

計173件 救命C

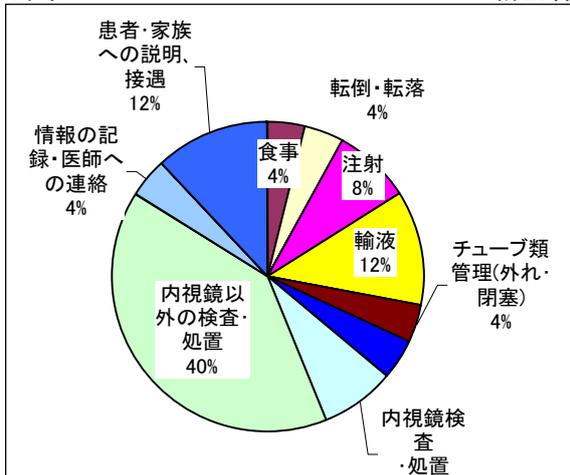


計202件



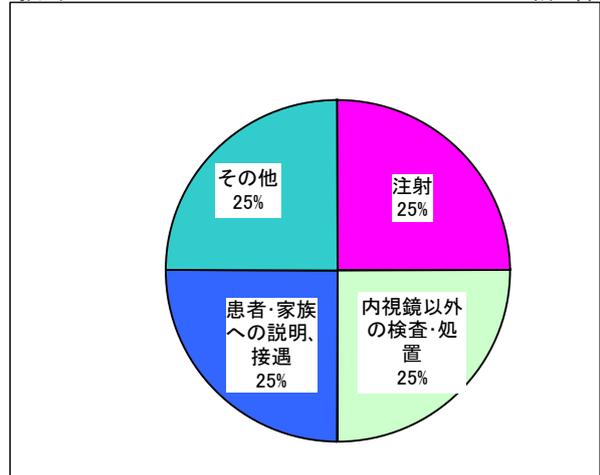
外来

計25件



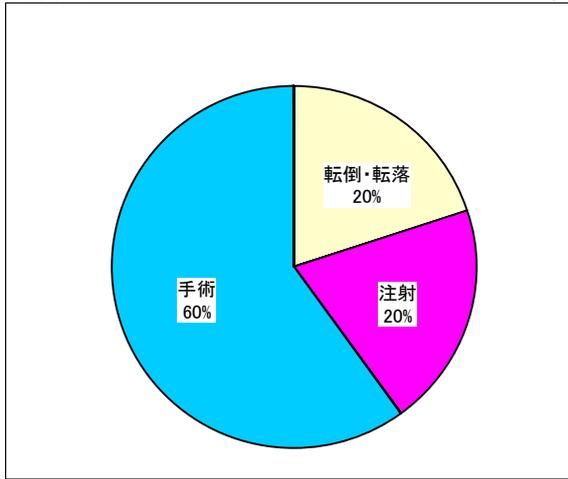
救外

計4件



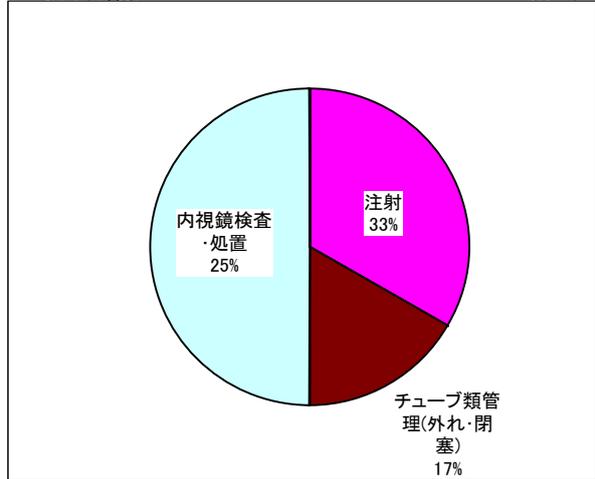
手術室

計5件



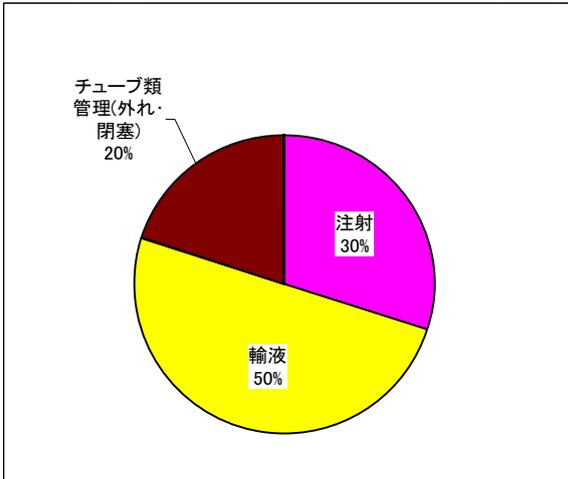
中放(看護)

計6件



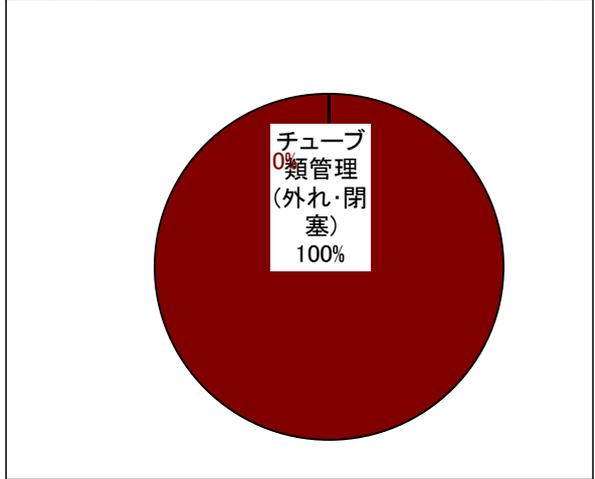
化学療法室

計10件



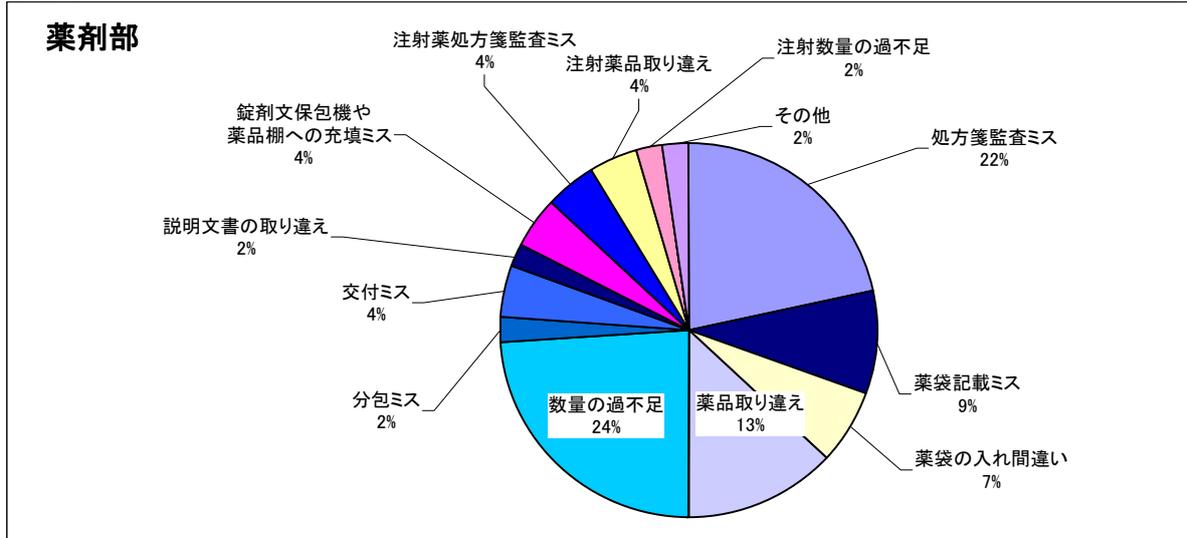
透析室

計1件



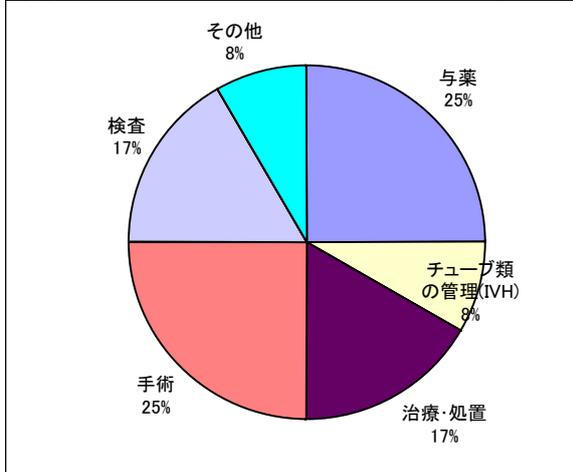
②看護部以外
薬剤部

計46件



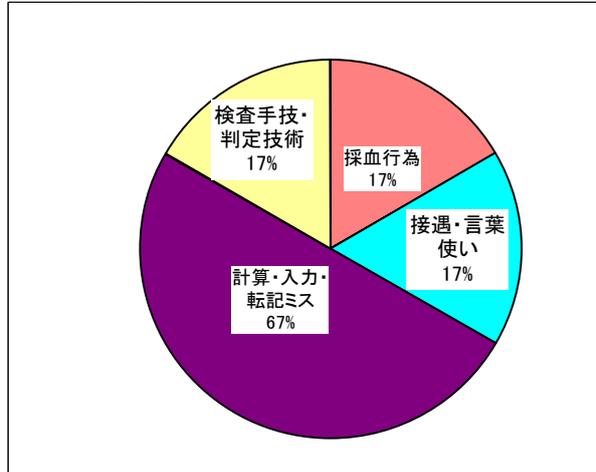
診療部

計12件



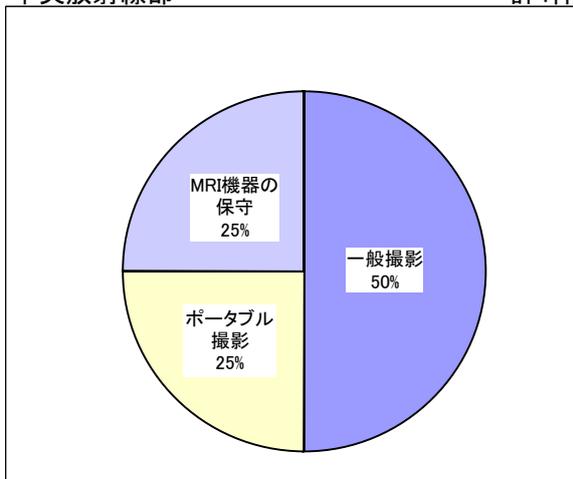
中央検査部

計6件



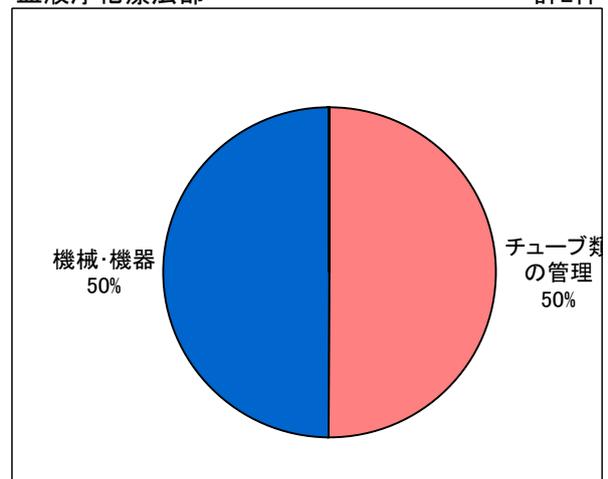
中央放射線部

計4件



血液浄化療法部

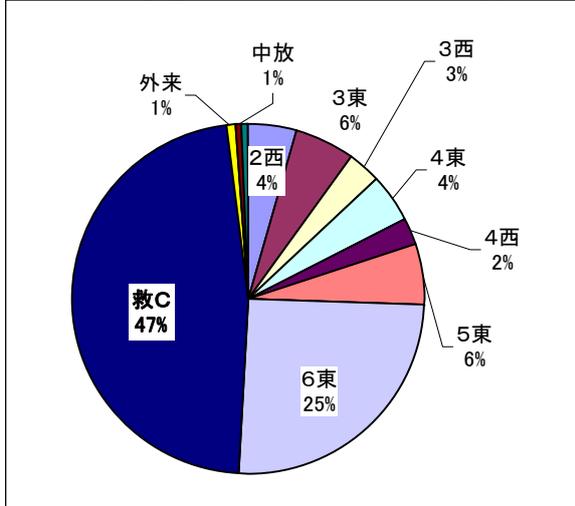
計2件



4. ヒヤリ・ハット内容別 発生場所の傾向

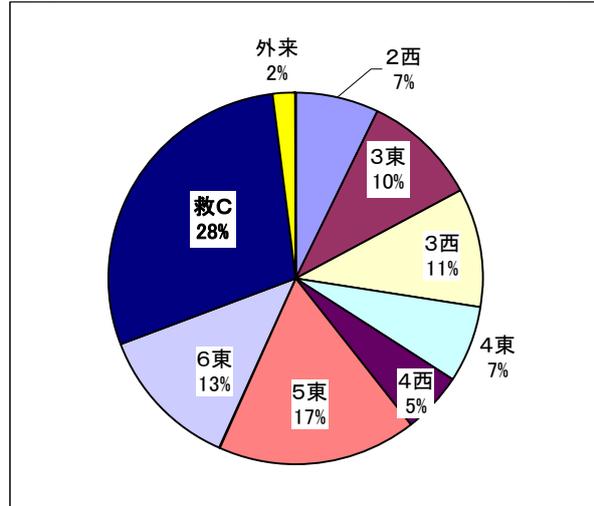
チューブ類管理

計163件



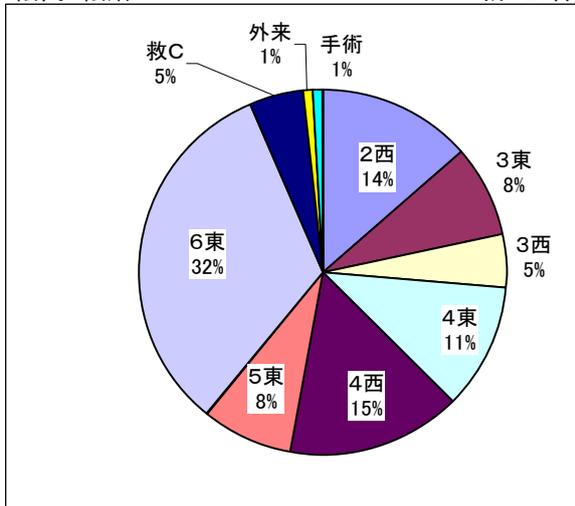
輸液

計157件



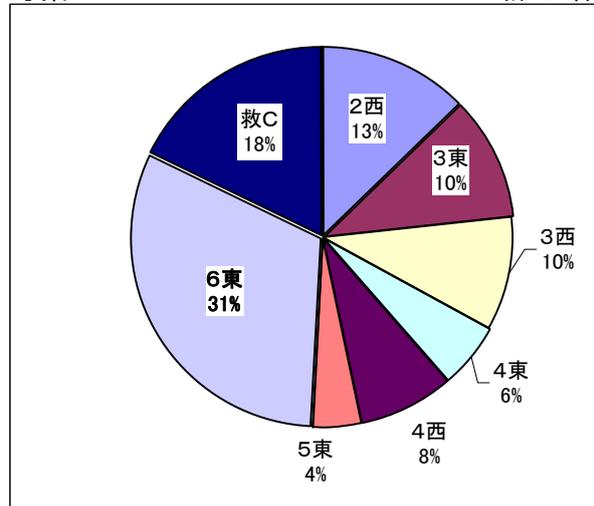
転倒・転落

計125件



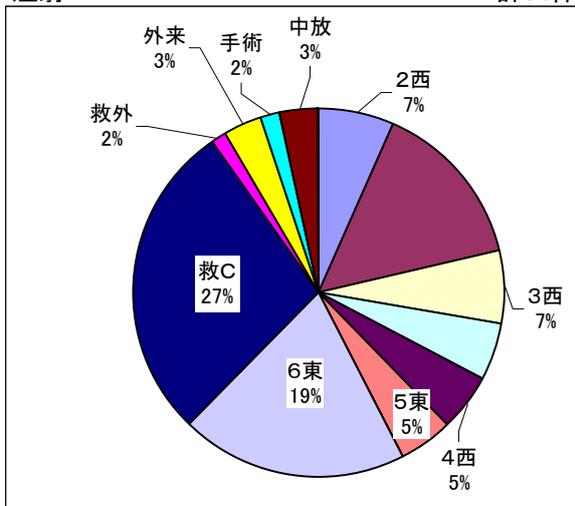
与薬

計124件



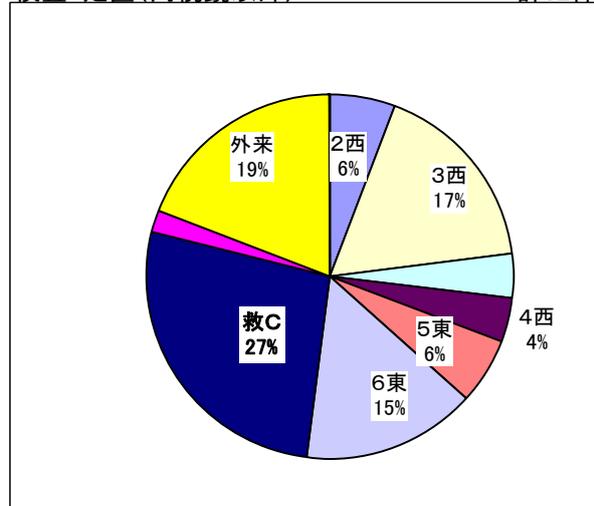
注射

計64件



検査・処置(内視鏡以外)

計52件



(2) 学会・研究会発表および論文発表実績

循環器科

<論文>

クリニカルパス

小西 得司

日本内科学会雑誌 96: 2325-2329, 2007

<地方会>

第 129 回日本循環器学会東海地方会

平成 19 年 6 月 23 日名古屋

インフルエンザ感染症による発熱時に顕性化した Brugada 症候群の 1 例

県立総合医療センター循環器科：渡辺 清孝・熊谷 直人・櫻井 正人・森木 宣行・
沖中 務・牧野 克俊・小西 得司

日本循環器学会第 130 回東海・第 115 回北陸合同地方会

平成 19 年 11 月 17-18 日金沢

救命しえた AMI に伴う oozing rupture の 1 例

県立総合医療センター循環器科：谷村 宗義・森木 宣行・熊谷 直人・加藤 慎也・
櫻井 正人・牧野 克俊・小西 得司

日本心血管インターベンション学会第 17 回東海北陸地方会

平成 19 年 4 月 13-14 日浜松

Coronary Stent 挿入に Rebirth が有効であった 2 例

県立総合医療センター循環器科：牧野 克俊・小西 得司・杉本 匡史・松岡 宏治・
中村 智昭・幸治 隆一

<研究会>

第 90 回三重循環器研究会

平成 19 年 9 月 27 日津

救命しえた AMI に伴う oozing rupture の 1 例

県立総合医療センター循環器科：谷村 宗義・森木 宣行・熊谷 直人・加藤 慎也・
櫻井 正人・牧野 克俊・小西 得司

呼吸器科

<学会・地方会>

第 109 回日本結核病学会東海地方学会・第 91 回日本呼吸器学会東海地方学会

H19. 6. 23-6. 24 名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）

検診にて発見され経気管支肺生検にて診断しえた肺類上皮血管内皮腫の 1 例

○大西真裕、浦和昌史、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

AIDS に合併した播種性 MAC 感染症の 1 例

○内藤雅大、浦和昌史、大西真裕、油田尚総、吉田正道

胸部 CT にて多発空洞結節を呈した肺クリプトコッカス症の 1 例

○油田尚総、浦和昌史、大西真裕、内藤雅大、吉田正道

術前化学療法が有効であった縦隔原発卵黄嚢腫瘍の 1 例

○浦和昌史、大西真裕、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

第 33 回日本呼吸器内視鏡学会中部支部会 H19. 7. 7 名古屋市立大学医学部研究棟 11 階

気管支内病変を高周波スネアにて切除した悪性リンパ腫の 1 例

○内藤雅大、浦和昌史、大西真裕、油田尚総、吉田正道

第 110 回日本結核病学会東海地方学会・第 92 回日本呼吸器学会東海地方学会

H19. 11. 24-11. 25 グランシップ（静岡コンベンションアーツセンター）

早期肺腺癌に合併した良性転移性平滑筋腫の 1 例

○内藤雅大、浦和昌史、大西真裕、油田尚総、吉田正道

化学療法が効果的であった皮膚原発悪性顆粒細胞腫肺転移の 1 例

○油田尚総、浦和昌史、大西真裕、内藤雅大、吉田正道

両側広範囲に陰影を認めた肺 MALT リンパ腫の 1 例

○浦和昌史、大西真裕、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

横紋筋融解症を合併した肺炎球菌性肺炎の 1 例

○大西真裕、浦和昌史、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

局麻下胸腔鏡を用いたウロキナーゼ胸腔内散布が有効であった膿胸の 1 例

○吉田正道、浦和昌史、大西真裕、内藤雅大、油田尚総

<研究会>

第 96 回三重胸部疾患症例検討会

平成 19 年 1 月 16 日 四日市都ホテル

空洞を伴った結節性陰影

○油田尚総、浦和昌史、内藤雅大、藤原篤司、吉田正道

第 63 回東海呼吸器感染症研究会

平成 19 年 9 月 8 日 ロイヤルパーク

横紋筋融解症を合併した肺炎球菌性肺炎の 1 例

○大西真裕、浦和昌史、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

第 96 回三重呼吸器感染症研究会 平成 19 年 11 月 9 日 津都ホテル

横紋筋融解症を合併した肺炎球菌性肺炎の 1 例

○大西真裕、浦和昌史、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

第 5 回三重肺癌研究会 平成 19 年 12 月 15 日 三重大学医学部臨床第 2 講義室

M 因子決定のため腹腔鏡下副腎摘出を行った原発性肺癌の一例

○内藤雅大、浦和昌史、大西真裕、油田尚総、吉田正道

<講演>

第 265 回北勢地区呼吸器談話会 平成 19 年 2 月 19 日 四日市医師会館

空洞性病変について～胸部画像からアプローチした症例検討～ 油田尚総

第 267 回北勢地区呼吸器談話会 平成 19 年 4 月 16 日 四日市医師会館

肺癌補助化学療法 吉田正道

第 269 回北勢地区呼吸器談話会 平成 19 年 6 月 18 日 四日市医師会館

結節性陰影について～偶然の機会に発見される結節性陰影に対する対応～ 油田尚総

第 271 回北勢地区呼吸器談話会 平成 19 年 9 月 10 日 四日市医師会館

最近経験した症例から 吉田正道

第 139 回三重県病院薬剤師会三四地区学術研修会 平成 19 年 9 月 19 日 本町プラザ

成人喘息の長期管理における薬物療法プランについて 油田尚総

第 273 回北勢地区呼吸器談話会 平成 19 年 11 月 19 日 四日市医師会館

MRSA 感染症について 吉田正道

神経内科

<総会>

・ 5 月 18 日 第 48 回 日本神経学会総会（名古屋）

脳梗塞急性期に hemiballism-hemichorea がみられた 6 例の検討

三重県立総合医療センター：古田智之、鈴木賢治

三重大学 神経内科：葛原茂樹

<講演>

・ 7 月 26 日 脳梗塞診療における在宅介護の必要性

～三四地区における地域医療の発展を目指して～（四日市）

招待講演 シンポジウム

三重県立総合医療センター：鈴木賢治

・2月23日 第1回MMC神経内科セミナー（津）

講演 脳梗塞の超急性期治療 tPA治療の実際

三重県立総合医療センター：鈴木賢治

・3月27日 第3回三重脳卒中医療連携研究会学術講演会（四日市）

招待パネリスト 急性期の立場から

三重県立総合医療センター：鈴木賢治

外科

第69回日本臨床外科学会総会

伊藤みのり，肥満智紀，西川隆太郎，伊藤秀樹，小西尚巳，木下恒材，重盛千香，池田哲也，登内仁，松本収生

第62回日本消化器外科学会総会

池田哲也 木下恒材，肥満智紀，伊藤みのり，西川隆太郎，伊藤秀樹，小西尚巳，重盛千香，本泉誠

第79回日本胃癌学会総会

センチネルリンパ節検索を応用した腹腔鏡補助下右胃大網動脈温存幽門保存胃切除術の適応

登内仁他

第62回日本消化器外科学会総会

上部早期胃癌に対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索からみた郭清範囲

登内 仁他

第266回 三重外科集談会

胃癌と腎細胞癌の同時性重複癌の1例

佐々木豪，肥満智紀，伊藤みのり，西川隆太郎，小西尚巳，伊藤秀樹，木下恒材，重盛千香，池田哲也，本泉誠

第15回日本乳癌学会

地方中核病院での安全な外来化学療法のためのチーム医療の取り組み

重盛千香¹⁾、川田和子²⁾、中川育美³⁾、生川ひとみ³⁾、肥満智紀¹⁾、村上智美¹⁾、本泉誠¹⁾

（三重県立総合医療センター外科¹⁾ 外来化学療法室²⁾、薬剤部³⁾）

第4回日本乳癌学会中部地方会

乳がん診療における心のケア—当院での取り組み—

古阪和代、谷口智香子、村林麻子、市岡敬子、多田羅紀子、伊藤久仁子¹⁾、重盛千香²⁾ (三重県立総合医療センター 外科外来看護師、心療心理士¹⁾ 外科²⁾)

バイオモジュレーション研究会

当院における FOLFOX 施行症例の検討

西川隆太郎、小西尚巳、伊藤秀樹、木下恒材、重盛千香、池田哲也、登内 仁、松本収生

<論文発表>

Laparoscopy-assisted distal gastrectomy with laparoscopic sentinel lymph node biopsy after endoscopic mucosal resection for early gastric cancer.

Tonouchi H et al.

Surg. Endosc. 2007 Aug, 21(8):1289-93

Diagnostic sensitivity of contrast swallow for leakage after gastric resection.

Tonouchi H, et al.

World J Surg. 2007 Jan, 31(1):128-31

浸潤を伴った嚢胞内癌を疑った ductal adenoma の一例

伊藤みのり、重盛千香、肥満智紀、西川隆太郎、伊藤秀樹、小西尚巳、木下恒材、池田哲也、松本収生、草野五男、石原明德*

松坂中央総合病院臨床病理*

乳癌の臨床 第22号 第6号 2007年

心臓血管外科・呼吸器外科

<学会・研究会発表>

第26回日本胸腺研究会

平成19年2月17日 徳島

術後8年間無再発生存中のIVa期胸腺腫の1例

藤永一弥、近藤智昭、天白宏典

第24回日本呼吸器外科学会総会

平成19年5月17-19日 横浜

難治性細菌性真菌性肺炎+器質化肺炎に対して左全摘を施行後気管支瘻を発症した1例

天白宏典、藤永一弥、近藤智昭

IVa期胸腺腫に対する集学的治療後8年間無再発生存中の1例

藤永一弥、近藤智昭、天白宏典

第 35 回日本血管外科学会総会 平成 19 年 5 月 23-25 日 名古屋

急性大動脈解離に伴う上腸間膜動脈閉塞に対し血管形成術を施行し救命し得た 3 例

藤永一弥、近藤智昭、天白宏典

腸管および下肢虚血をともなった A 型大動脈解離の 1 手術例

天白宏典、藤永一弥、近藤智昭

第 12 回日本冠動脈外科学会 平成 19 年 7 月 14-15 日 東京

頭頸部血管病変合併例に対する CABG

近藤智昭、藤永一弥、天白宏典

第 87 回東海心臓外科懇話会 平成 19 年 9 月 29 日 四日市

Porcelain aorta を合併した AR に対する 1 手術例

真栄城亮、近藤智昭、井上健太郎、天白宏典

第 3 回三重胸部外科手術手技フォーラム 平成 19 年 11 月 2 日 津

難治性細菌性真菌性肺炎に対して左全摘後気管支瘻→瘻閉鎖→膿胸を発症し治療に難渋した 1 例

天白宏典、井上健太郎、近藤智昭、真栄城亮

第 21 回日本冠疾患学会学術集会 平成 19 年 12 月 14-15 日 京都

OPCAB における周術期脳合併症—ハイリスク例の実際と対策—

近藤智昭、天白宏典、井上健太郎、真栄城亮

脳神経外科

<学会発表>

第 36 回日本脳卒中の外科学会 福岡 2007. 03. 23-24

CEA および上行弓部大動脈置換術後の頸部内頸動脈狭窄、鎖骨下動脈狭窄の一例

亀井裕介、石田藤麿、梅田靖之、霜坂辰一

第 36 回日本脳卒中の外科学会 福岡 2007. 03. 23-24

EC-IC バイパス術後の吻合部動脈瘤の一例

亀井裕介、石田藤麿、梅田靖之、霜坂辰一

第 9 回三重・大阪脳腫瘍カンファランス 津都ホテル 2007. 05. 25

緊急手術を行った小児頭蓋咽頭腫の一例

三浦洋一、石田藤麿、亀井裕介、霜坂辰一、岡田昌彦

第9回三重・大阪脳腫瘍カンファランス 津都ホテル 2007. 05. 25

脂肪成分を含んだ中頭蓋窩腫瘍の一例
梅田靖之、亀井裕介、岡田昌彦

第56回三重脳神経外科集談会 ホテルグリーンプーク津 2007. 06. 08

椎骨脳底動脈系閉塞性疾患の治療経験
亀井裕介、梅田靖之、岡田昌彦、三浦洋一、石田藤麿、霜坂辰一、小島 精

第9回三重大阪脊椎脊髄外科シンポジウム ホテルグリーンプーク津 2007. 07. 06

軸椎骨折の2例
梅田靖之、亀井裕介、岡田昌彦、三浦洋一、小島 精、小川裕行

第8回三重・大阪脳血管障害治療研究会 ホテルグリーンプーク津 2007. 09. 14

両側内頸動脈瘤の一例
亀井裕介、梅田靖之、岡田昌彦

第17回三重大学医学部脳神経外科同門会 ホテルグリーンプーク津 2007. 12. 08

Scion image を用いた椎弓拡大術後の椎体リモデリング評価
梅田靖之、亀井裕介、岡田昌彦、倉石慶太、石田藤麿、久保和親

産婦人科

論文

1) 谷口晴記, 塚原優己, 喜多恒和、和田裕一、外川正生、戸谷良造、稲葉憲之. HIV の母子感染と対策: 日本臨床 65 巻 (増刊号 3): 518-522, 2007.

学会発表

中林裕子、谷口晴記、一尾卓生、松野忠明、田中浩彦、川戸浩明、関義長、樋口恭仁子、小林良成: 淋菌による骨盤腹膜炎を呈した一例: 第3回 MMC 卒後研修臨床懇話会: 2007. 1. 20. (津)

須川毅、小林良成、谷口晴記: 子宮肉腫疑いから発見された子宮内膜間質肉腫の一例: 第3回 MMC 卒後研修臨床懇話会: 2007. 1. 20 (津)

3) 小林良成、谷口晴記、樋口恭仁子、田中浩彦、松野忠明、静脈内平滑筋腫症の1例: 第120回東海産婦人科学会, 2007. 2. 18 (名古屋)

- 4) 林公一、和田裕一、蓮尾泰之、赤城光三、稲葉純一、喜多恒和、塚原優己、谷口晴記、稲葉憲之：母乳投与による HIV 母子感染における妊婦 HIV スクリーニング検査の意義について：第 59 回日本産婦人科学会総会, 2007. 4. 14-17 (京都)
- 5) 塚原優己、谷口晴記、山田里佳、蓮尾泰之、赤城光三、稲葉純一、林公一、早川智、喜多恒和、和田裕一、稲葉憲之：妊婦 HIV スクリーニング検査が母子感染予防に及ぼす効果に関する試算：第 59 回日本産婦人科学会総会, 2007. 4. 14-17 (京都)
- 6) 谷口晴記、田中浩彦、小林良成、樋口恭仁子、松野忠明、一尾卓生：当科の HIV・AIDS 患者における STD の実態：第 59 回日本産婦人科学会総会, 2007. 4. 14-17 (京都)
- 7) 谷口晴記、塚原優己、川戸美由紀、源河いくみ、山田里佳、嶋貴子、大金美和、和田裕一、喜多恒和、外川正生、稲葉憲之：妊婦 HIV スクリーニング検査が母子感染予防におよぼす効果に関する検討：第 25 回日本産婦人科感染症研究会学術講演会、2007. 6. 16 (東京)
- 8) 田中浩彦、吉田佳代、樋口恭仁子、谷口晴記：非感染性血栓性心内膜炎の原因として卵巣癌が疑われた一例：第 42 回日本婦人科腫瘍学会 2007. 6. 29-6. 30 (東京)
- 9) 吉田佳代、田中浩彦、樋口恭仁子、谷口晴記：診断に苦慮した若年巨大変性筋腫の一例：第 121 回東海産婦人科学会, 2007. 9. 2 (名古屋)
- 10) 田中浩彦、吉田佳代、樋口恭仁子、朝倉徹夫、谷口晴記、長尾賢治：出血の回避・出血した際の対処：第 9 回東海産婦人科内視鏡懇話会ワークショップ「こんな時どうする-私が勧める内視鏡手術の手術手技」2007. 10. 20 (名古屋)
- 11) 陣田さつき、森 尚義、藤原篤司、内藤雅大、谷口晴記：当院の患者背景と HAART 療法の変遷：第 21 回日本エイズ学会, 2007. 11. 28-11. 30 (広島)
- 12) 喜多恒和、吉野直人、外川正生、和田裕一、塚原優己、箕浦茂樹、谷口晴記、大場 悟、戸谷良造、稲葉憲之：本邦における HIV 感染妊娠の発生と母子感染予防対策の現状：第 21 回日本エイズ学会, 2007. 11. 28-11. 30 (広島)
- 13) 森尚義、谷口晴記：特別な支援を必要とした外国人 HIV 感染妊婦の症例：第 21 回日本エイズ学会, 2007. 11. 28-11. 30 (広島)

講演会

1) 谷口 晴記：性行為感染による HIV の蔓延と母子感染予防対策：「周産期・小児・生殖医療における HIV 感染対策に関する集学的研究」班 研究成果発表会（平成18年度厚生労働科学研究費（エイズ対策研究推進事業）研究成果等普及啓発事業）、平成19年2月11日（日）宮崎市郡医師会、宮崎

2) 谷口晴記：わが国におけるHIV感染妊娠に関する諸問題：「周産期・小児・生殖医療における HIV 感染対策に関する集学的研究」班 研究成果発表会、平成19年度厚生労働科学研究費（エイズ対策研究推進事業）研究成果等普及啓発事業、平成19年7月28日（土）青森県観光物産館アスパム、青森

3) 田中浩彦：婦人科領域の腹腔鏡手術：平成19年度四日市医師会・三病院合同病診連携意見交換会プログラム2007.10.10（四日市）

小児科

学会発表

第242回日本小児科学会東海地方会（2008. 2. 11）

2006年度当科における血液培養694例の検討

内菌広匡

第243回日本小児科学会東海地方会（2008. 5. 11）

生後1ヶ月時に発症した良性乳児部分てんかんの1例

大槻静

第244回日本小児科学会東海地方会（2008. 10. 19）

痙攣重積型脳症の三例

内菌広匡

第44回中部日本小児科学会（2008. 8. 24）

髄膜炎罹患時に発見されたOCRL1異常を持つDent病の1例

大槻静

第44回日本周産期新生児医学会（2008. 7. 15）

当科で昨年度経験したIII V感染妊婦に対する母子感染予防

杉山謙二

第304回北勢地区小児科臨床懇話会

生後1ヶ月時に発症した良性乳児部分てんかんの1例
太田穂高

第306回北勢地区小児科臨床懇話会

無菌性髄膜炎罹患時に発見された蛋白尿症
大槻静

第310回北勢地区小児科臨床懇話会

三重大医学部海外実習につきあって
タンザニア共和国ムヒンピリ大学病院での実習
西森久史

神経内科

5月18日 第48回 日本神経学会総会（名古屋）

脳梗塞急性期に hemiballism-hemichorea がみられた6例の検討
三重県立総合医療センター：古田智之、鈴木賢治
三重大学 神経内科：葛原茂樹

7月26日 脳梗塞診療における在宅介護の必要性

～三泗地区における地域医療の発展を目指して～（四日市）
招待講演 シンポジウム
三重県立総合医療センター：鈴木賢治

2月23日 第1回MMC神経内科セミナー（津）

講演 脳梗塞の超急性期治療 tPA治療の実際
三重県立総合医療センター：鈴木賢治

3月27日 第3回三重脳卒中医療連携研究会学術講演会（四日市）

招待パネリスト 急性期の立場から
三重県立総合医療センター：鈴木賢治

整形外科

第17回 三重関節鏡・関節外科研究会

19.11.18 プラザ洞津

膝開放性脱臼後の不安定膝に対しACL、MCL、LCLを再建した一例
北尾 淳、松本壽夫、森本剛司、森 浩輝、村木 真、村田耕一郎

第210回整形外科集談会東海地方会

19.12.15

15歳の習慣性膝蓋骨脱臼に対し外側支帯切離、脛骨粗面移動、MPFL再建の同時施行により改善した一例

村田耕一郎、松本壽夫、北尾淳、森本剛司、森浩輝、村木真

第13回東海関節鏡研究会

20.1.12 名古屋国際会議場

鏡視下PCL再建時の小工夫

北尾 淳、松本壽夫、森本剛司、森 浩輝、村木 真、村田耕一郎

皮膚科

<学会発表>

第8回 三重大学皮膚科同門会学会

平成19年2月4日

褥瘡に対する陰圧閉鎖療法の試み

稲葉智子 大川恵美

泌尿器科

<学会発表>

第43回 三重泌尿器科医会 (1月27日・津市)

三重県立総合医療センター泌尿器科における手術統計(2007)

栃木宏水、神田英輝、松浦 浩、亀田晃司、荒瀬栄樹

第48回 中北勢泌尿器科医会 (4月11日・四日市市)

腎癌との鑑別に苦慮した腎周囲の膿瘍の1例

松浦 浩、神田英輝、栃木宏水、亀田晃司

騎乗型会陰部打撲による尿道断裂の1例

神田英輝、松浦 浩、栃木宏水、亀田晃司

<誌上発表>

【原 著】

Naftopidil, a selective α -1 adrenoreceptor antagonist, inhibits growth of human prostate cancer cells by G1 cell cycle arrest

Hideki Kanda, Kenichiro Ishii, Yuji Ogura, Tetsuya Imamura, Masahiro Kanai, Kiminobu Arima, Yoshiki Sugimura

International Journal of Cancer 122 : 444-451, 2008

Improvement to predict tumorigenic phenotype of androgen-insensitive human LNCaP prostatic cancer cell subline in recombination with rat urogenital sinus mesenchyme
Masahiro Kanai, Kenichiro Ishii, Hideki Kanda, Yuji Ogura, Hideaki Kise,
Kiminobu Arima, Yoshiki Sugimura
Cancer Science 99(12) : 2435-2443, 2008

看護部

『看護師のアイデンティティ形成過程の縦断的研究—第1段階；新人看護師を対象に—
川島珠実

第11回日本看護管理学会 平成19年8月24日

『緩和ケアを受けている人の日常生活における看護師のかかわり
外山未季 竹本美重子（三重県立看護大学）

第38回日本看護学会 成人看護学会 平成19年8月28日

『訪問看護師が認識する家族介護者の介護肯定感に関する研究』

久保直子、深堀浩樹、河田みどり（三重県立看護大学）

日本家族看護学会第14回学術集会

『陰圧閉鎖療法を用いた症状緩和が図れた終末期仙骨部褥瘡患者の1例』

大川恵美

第9回日本褥瘡学会 平成19年9月7日

『乳がん診療における心のケア—当院での取り組み—

古坂和代、谷口智香子、村林麻子、市岡敬子、多田羅紀子、
伊藤久仁子（診療心理士） 重森千香（外科診療科）

第4回日本乳癌学会中部地方会 平成19年9月8日

『18トリソミー児をもつ家族への支援について』

佐藤里絵

日本遺伝看護学会第6回学術大会 平成19年9月23日

『三重県における遺伝看護活動の経過と今後の課題』

佐藤里絵 共同研究（発表 竹本美重子：三重県立看護大学）

日本遺伝看護学会第6回学術大会 平成19年9月23日

『術後合併症を予防できる呼吸訓練回数の検証』—インスピロンの呼気量値を利用—

小林直子

第38回日本看護学会—成人看護I— 平成19年10月5日

『看護師の仕事上のストレスと人的環境の現状から』

— ストレス尺度と職場用ソーシャルサポート尺度を用いた精神的支援の検討—

川島珠実

日本管理学会 看護管理分野 平成19年10月25日

『クロイツフェルト・ヤコブ感染症の手術・中材における対応』

黒宮峰子

第56回中部地区中材業務研究会 平成19年12月1日

病院事業庁看護研究発表会 平成19年 6月30日

『気管内挿管中のテープ剥離による皮膚障害予防について』

— ノンアルコール性皮膚保護膜形成剤を使用して—

林恵里、大川恵美、川島珠実

『術後合併症を予防できる呼吸訓練回数の検証』

— インスピレックスの吸気量値を利用して—

小林直子、原知江、山口順子、斎藤蘭織、森川真理子、川島珠実

『看護師のヒヤリハット体験に伴う精神的ストレスの援助について』

岡本朱代、川島珠実

『看護師の転倒・転落に対する認識についての検討』

垣内由美、北見桂子、山中明美、水谷奈保子、御手洗怜子、成井ふくよ

『NICUの母乳育児支援について』— 母乳育児支援の実際—

長谷川実佳

『がん性疼痛看護認定看護師としての活動報告と課題』

川瀬聡美

『平成18年度新人看護職員卒後教育プログラム開発プロジェクト活動報告』

川島珠実、矢橋美紀、前田ゆりか、山路恭子、竹下ちづる、坂倉小夜子（県立病院事業
庁）、河田みどり、河合富美子（県立看護大学）、大谷恵（愛知医科大学看護学部）

中央検査部

三重県臨床検査技師会 生理検査研修会

平成19年11月10日（四日市）

神経伝導検査 — 波形判読の基礎—

坂下 文康

Medical Technology 2007.12 Vol.35 No.12 掲載

臨床検査 Q & A

向井 理香

中央放射線部

超音波検査学会 中部地方会 平成 19 年 9 月 2 日 三重県文化会館
精巣原発悪性リンパ腫
安本 浩二

津柵原地区研究会 平成 19 年 7 月 20 日 こころの医療センター
消化管超音波検査
安本 浩二

三重県消化器画像研究会 平成 19 年 9 月 29 日 四日市検診クリニック
消化器領域の画像診断「US 像と CT 像の対比」
安本 浩二

北勢消化器画像研究会 平成 19 年 12 月 8 日 県立総合医療センター
『クロスモダリティ 肝臓～基本的解剖・装置特徴・症例～』CT・US・MRI
安本 浩二

中部超音波フォーラム

平成 19 年 9 月 30 日、10 月 28 日、11 月 18 日、12 月 16 日 名古屋・福井
胆道系の超音波検査
安本 浩二

薬剤部

第 22 回日本環境感染学会学術集会 平成 19 年 2 月 24 日 横浜
「抗菌薬の使用状況と MRSA 感染率/保菌率との相関」
○森 尚義、中川 育美、倉田 みち子

第 22 回日本環境感染学会学術集会 平成 19 年 2 月 24 日 横浜
「三重県立総合医療センターにおける抗 MRSA 薬使用状況の変動」
○中川 育美、吉田 正道、伊藤 秀樹、森 尚義、森外 由美、倉田 みち子

四日市薬剤師会生涯教育 平成 19 年 5 月 24 日 四日市
「東海地区におけるエイズの現状と薬剤」
○森 尚義

第 55 回日本化学療法学会西日本支部総会 平成 19 年 10 月 30 日 神戸

「保険診療と臨床との乖離」

○森 尚義

第 21 回日本エイズ学会学術集会 総会 平成 19 年 11 月 28 日 広島

「当院の患者背景と HAART 療法の変遷」

○陣田 さつき、森 尚義、藤原 篤司、内藤 雅大、谷口 晴記

第 21 回日本エイズ学会学術集会 総会 平成 19 年 11 月 29 日 広島

「特別な支援を必要とした外国人 HIV 感染妊婦の症例」

○森 尚義、谷口 晴記

リハビリテーション室

三重県呼吸リハビリテーション研究会 2007 年 10 月 四日市勤労者総合福祉センター

理学療法士養成校における呼吸リハビリテーション講義の現状

内田智之

第 23 回東海北陸理学療法学会

2007 年 11 月 ポートメッセなごや

呼吸リハビリテーションにおける不安抑うつ指標の検討

内田智之

栄養 G

第 1 回 北勢・地域連携栄養カンファレンス

平成 19 年 4 月 21 日

寝たきり患者に血中 A 1 b を指標として栄養管理を行った場合の問題点と対応の検討

秦いづみ

第 27 回 北勢 DM ミーティング

平成 19 年 7 月 27 日

当院における糖代謝異常合併妊娠のケア～妊娠糖尿病の 1 症例に基づいて～

世古口幸子、下田智子

(2) 学会・研究会発表および論文発表実績

循環器科

<論文>

クリニカルパス

小西 得司

日本内科学会雑誌 96: 2325-2329, 2007

<地方会>

第 129 回日本循環器学会東海地方会

平成 19 年 6 月 23 日名古屋

インフルエンザ感染症による発熱時に顕性化した Brugada 症候群の 1 例

県立総合医療センター循環器科：渡辺 清孝・熊谷 直人・櫻井 正人・森木 宣行・
沖中 務・牧野 克俊・小西 得司

日本循環器学会第 130 回東海・第 115 回北陸合同地方会

平成 19 年 11 月 17-18 日金沢

救命しえた AMI に伴う oozing rupture の 1 例

県立総合医療センター循環器科：谷村 宗義・森木 宣行・熊谷 直人・加藤 慎也・
櫻井 正人・牧野 克俊・小西 得司

日本心血管インターベンション学会第 17 回東海北陸地方会

平成 19 年 4 月 13-14 日浜松

Coronary Stent 挿入に Rebirth が有効であった 2 例

県立総合医療センター循環器科：牧野 克俊・小西 得司・杉本 匡史・松岡 宏治・
中村 智昭・幸治 隆一

<研究会>

第 90 回三重循環器研究会

平成 19 年 9 月 27 日津

救命しえた AMI に伴う oozing rupture の 1 例

県立総合医療センター循環器科：谷村 宗義・森木 宣行・熊谷 直人・加藤 慎也・
櫻井 正人・牧野 克俊・小西 得司

呼吸器科

<学会・地方会>

第 109 回日本結核病学会東海地方学会・第 91 回日本呼吸器学会東海地方学会

H19. 6. 23-6. 24 名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）

検診にて発見され経気管支肺生検にて診断しえた肺類上皮血管内皮腫の 1 例

○大西真裕、浦和昌史、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

AIDS に合併した播種性 MAC 感染症の 1 例

○内藤雅大、浦和昌史、大西真裕、油田尚総、吉田正道

胸部 CT にて多発空洞結節を呈した肺クリプトコッカス症の 1 例

○油田尚総、浦和昌史、大西真裕、内藤雅大、吉田正道

術前化学療法が有効であった縦隔原発卵黄嚢腫瘍の 1 例

○浦和昌史、大西真裕、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

第 33 回日本呼吸器内視鏡学会中部支部会 H19. 7. 7 名古屋市立大学医学部研究棟 11 階

気管支内病変を高周波スネアにて切除した悪性リンパ腫の 1 例

○内藤雅大、浦和昌史、大西真裕、油田尚総、吉田正道

第 110 回日本結核病学会東海地方学会・第 92 回日本呼吸器学会東海地方学会

H19. 11. 24-11. 25 グランシップ（静岡コンベンションアーツセンター）

早期肺腺癌に合併した良性転移性平滑筋腫の 1 例

○内藤雅大、浦和昌史、大西真裕、油田尚総、吉田正道

化学療法が効果的であった皮膚原発悪性顆粒細胞腫肺転移の 1 例

○油田尚総、浦和昌史、大西真裕、内藤雅大、吉田正道

両側広範囲に陰影を認めた肺 MALT リンパ腫の 1 例

○浦和昌史、大西真裕、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

横紋筋融解症を合併した肺炎球菌性肺炎の 1 例

○大西真裕、浦和昌史、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

局麻下胸腔鏡を用いたウロキナーゼ胸腔内散布が有効であった膿胸の 1 例

○吉田正道、浦和昌史、大西真裕、内藤雅大、油田尚総

<研究会>

第 96 回三重胸部疾患症例検討会

平成 19 年 1 月 16 日 四日市都ホテル

空洞を伴った結節性陰影

○油田尚総、浦和昌史、内藤雅大、藤原篤司、吉田正道

第 63 回東海呼吸器感染症研究会

平成 19 年 9 月 8 日 ロイヤルパーク

横紋筋融解症を合併した肺炎球菌性肺炎の 1 例

○大西真裕、浦和昌史、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

第 96 回三重呼吸器感染症研究会 平成 19 年 11 月 9 日 津都ホテル

横紋筋融解症を合併した肺炎球菌性肺炎の 1 例

○大西真裕、浦和昌史、内藤雅大、油田尚総、吉田正道

第 5 回三重肺癌研究会 平成 19 年 12 月 15 日 三重大学医学部臨床第 2 講義室

M 因子決定のため腹腔鏡下副腎摘出を行った原発性肺癌の一例

○内藤雅大、浦和昌史、大西真裕、油田尚総、吉田正道

<講演>

第 265 回北勢地区呼吸器談話会 平成 19 年 2 月 19 日 四日市医師会館

空洞性病変について～胸部画像からアプローチした症例検討～ 油田尚総

第 267 回北勢地区呼吸器談話会 平成 19 年 4 月 16 日 四日市医師会館

肺癌補助化学療法 吉田正道

第 269 回北勢地区呼吸器談話会 平成 19 年 6 月 18 日 四日市医師会館

結節性陰影について～偶然の機会に発見される結節性陰影に対する対応～ 油田尚総

第 271 回北勢地区呼吸器談話会 平成 19 年 9 月 10 日 四日市医師会館

最近経験した症例から 吉田正道

第 139 回三重県病院薬剤師会三四地区学術研修会 平成 19 年 9 月 19 日 本町プラザ

成人喘息の長期管理における薬物療法プランについて 油田尚総

第 273 回北勢地区呼吸器談話会 平成 19 年 11 月 19 日 四日市医師会館

MRSA 感染症について 吉田正道

神経内科

<総会>

・ 5 月 18 日 第 48 回 日本神経学会総会（名古屋）

脳梗塞急性期に hemiballism-hemichorea がみられた 6 例の検討

三重県立総合医療センター：古田智之、鈴木賢治

三重大学 神経内科：葛原茂樹

<講演>

・ 7 月 26 日 脳梗塞診療における在宅介護の必要性

～三四地区における地域医療の発展を目指して～（四日市）

招待講演 シンポジウム

三重県立総合医療センター：鈴木賢治

・2月23日 第1回MMC神経内科セミナー（津）

講演 脳梗塞の超急性期治療 tPA 治療の実際

三重県立総合医療センター：鈴木賢治

・3月27日 第3回三重脳卒中医療連携研究会学術講演会（四日市）

招待パネリスト 急性期の立場から

三重県立総合医療センター：鈴木賢治

外科

第69回日本臨床外科学会総会

伊藤みのり，肥満智紀，西川隆太郎，伊藤秀樹，小西尚巳，木下恒材，重盛千香，池田哲也，登内仁，松本収生

第62回日本消化器外科学会総会

池田哲也 木下恒材，肥満智紀，伊藤みのり，西川隆太郎，伊藤秀樹，小西尚巳，重盛千香，本泉誠

第79回日本胃癌学会総会

センチネルリンパ節検索を応用した腹腔鏡補助下右胃大網動脈温存幽門保存胃切除術の適応

登内仁他

第62回日本消化器外科学会総会

上部早期胃癌に対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索からみた郭清範囲

登内 仁他

第266回 三重外科集談会

胃癌と腎細胞癌の同時性重複癌の1例

佐々木豪，肥満智紀，伊藤みのり，西川隆太郎，小西尚巳，伊藤秀樹，木下恒材，重盛千香，池田哲也，本泉誠

第15回日本乳癌学会

地方中核病院での安全な外来化学療法のためのチーム医療の取り組み

重盛千香¹⁾、川田和子²⁾、中川育美³⁾、生川ひとみ³⁾、肥満智紀¹⁾、村上智美¹⁾、本泉誠¹⁾

（三重県立総合医療センター外科¹⁾ 外来化学療法室²⁾、薬剤部³⁾）

第4回日本乳癌学会中部地方会

乳がん診療における心のケア—当院での取り組み—

古阪和代、谷口智香子、村林麻子、市岡敬子、多田羅紀子、伊藤久仁子¹⁾、重盛千香²⁾ (三重県立総合医療センター 外科外来看護師、心療心理士¹⁾ 外科²⁾)

バイオモジュレーション研究会

当院における FOLFOX 施行症例の検討

西川隆太郎、小西尚巳、伊藤秀樹、木下恒材、重盛千香、池田哲也、登内 仁、松本収生

<論文発表>

Laparoscopy-assisted distal gastrectomy with laparoscopic sentinel lymph node biopsy after endoscopic mucosal resection for early gastric cancer.

Tonouchi H et al.

Surg. Endosc. 2007 Aug, 21(8):1289-93

Diagnostic sensitivity of contrast swallow for leakage after gastric resection.

Tonouchi H, et al.

World J Surg. 2007 Jan, 31(1):128-31

浸潤を伴った嚢胞内癌を疑った ductal adenoma の一例

伊藤みのり、重盛千香、肥満智紀、西川隆太郎、伊藤秀樹、小西尚巳、木下恒材、池田哲也、松本収生、草野五男、石原明德*

松坂中央総合病院臨床病理*

乳癌の臨床 第22号 第6号 2007年

心臓血管外科・呼吸器外科

<学会・研究会発表>

第26回日本胸腺研究会

平成19年2月17日 徳島

術後8年間無再発生存中のIVa期胸腺腫の1例

藤永一弥、近藤智昭、天白宏典

第24回日本呼吸器外科学会総会

平成19年5月17-19日 横浜

難治性細菌性真菌性肺炎+器質化肺炎に対して左全摘を施行後気管支瘻を発症した1例

天白宏典、藤永一弥、近藤智昭

IVa期胸腺腫に対する集学的治療後8年間無再発生存中の1例

藤永一弥、近藤智昭、天白宏典

第 35 回日本血管外科学会総会 平成 19 年 5 月 23-25 日 名古屋

急性大動脈解離に伴う上腸間膜動脈閉塞に対し血管形成術を施行し救命し得た 3 例

藤永一弥、近藤智昭、天白宏典

腸管および下肢虚血をともなった A 型大動脈解離の 1 手術例

天白宏典、藤永一弥、近藤智昭

第 12 回日本冠動脈外科学会 平成 19 年 7 月 14-15 日 東京

頭頸部血管病変合併例に対する CABG

近藤智昭、藤永一弥、天白宏典

第 87 回東海心臓外科懇話会 平成 19 年 9 月 29 日 四日市

Porcelain aorta を合併した AR に対する 1 手術例

真栄城亮、近藤智昭、井上健太郎、天白宏典

第 3 回三重胸部外科手術手技フォーラム 平成 19 年 11 月 2 日 津

難治性細菌性真菌性肺炎に対して左全摘後気管支瘻→瘻閉鎖→膿胸を発症し治療に難渋した 1 例

天白宏典、井上健太郎、近藤智昭、真栄城亮

第 21 回日本冠疾患学会学術集会 平成 19 年 12 月 14-15 日 京都

OPCAB における周術期脳合併症—ハイリスク例の実際と対策—

近藤智昭、天白宏典、井上健太郎、真栄城亮

脳神経外科

<学会発表>

第 36 回日本脳卒中の外科学会 福岡 2007. 03. 23-24

CEA および上行弓部大動脈置換術後の頸部内頸動脈狭窄、鎖骨下動脈狭窄の一例

亀井裕介、石田藤麿、梅田靖之、霜坂辰一

第 36 回日本脳卒中の外科学会 福岡 2007. 03. 23-24

EC-IC バイパス術後の吻合部動脈瘤の一例

亀井裕介、石田藤麿、梅田靖之、霜坂辰一

第 9 回三重・大阪脳腫瘍カンファランス 津都ホテル 2007. 05. 25

緊急手術を行った小児頭蓋咽頭腫の一例

三浦洋一、石田藤麿、亀井裕介、霜坂辰一、岡田昌彦

第9回三重・大阪脳腫瘍カンファランス 津都ホテル 2007. 05. 25

脂肪成分を含んだ中頭蓋窩腫瘍の一例
梅田靖之、亀井裕介、岡田昌彦

第56回三重脳神経外科集談会 ホテルグリーンプーク津 2007. 06. 08

椎骨脳底動脈系閉塞性疾患の治療経験
亀井裕介、梅田靖之、岡田昌彦、三浦洋一、石田藤麿、霜坂辰一、小島 精

第9回三重大阪脊椎脊髄外科シンポジウム ホテルグリーンプーク津 2007. 07. 06

軸椎骨折の2例
梅田靖之、亀井裕介、岡田昌彦、三浦洋一、小島 精、小川裕行

第8回三重・大阪脳血管障害治療研究会 ホテルグリーンプーク津 2007. 09. 14

両側内頸動脈瘤の一例
亀井裕介、梅田靖之、岡田昌彦

第17回三重大学医学部脳神経外科同門会 ホテルグリーンプーク津 2007. 12. 08

Scion image を用いた椎弓拡大術後の椎体リモデリング評価
梅田靖之、亀井裕介、岡田昌彦、倉石慶太、石田藤麿、久保和親

産婦人科

論文

1) 谷口晴記, 塚原優己, 喜多恒和、和田裕一、外川正生、戸谷良造、稲葉憲之. HIV の母子感染と対策: 日本臨床 65 巻 (増刊号 3): 518-522, 2007.

学会発表

中林裕子、谷口晴記、一尾卓生、松野忠明、田中浩彦、川戸浩明、関義長、樋口恭仁子、小林良成: 淋菌による骨盤腹膜炎を呈した一例: 第3回 MMC 卒後研修臨床懇話会: 2007. 1. 20. (津)

須川毅、小林良成、谷口晴記: 子宮肉腫疑いから発見された子宮内膜間質肉腫の一例: 第3回 MMC 卒後研修臨床懇話会: 2007. 1. 20 (津)

3) 小林良成、谷口晴記、樋口恭仁子、田中浩彦、松野忠明、静脈内平滑筋腫症の1例: 第120回東海産婦人科学会, 2007. 2. 18 (名古屋)

- 4) 林公一、和田裕一、蓮尾泰之、赤城光三、稲葉純一、喜多恒和、塚原優己、谷口晴記、稲葉憲之：母乳投与による HIV 母子感染における妊婦 HIV スクリーニング検査の意義について：第 59 回日本産婦人科学会総会, 2007. 4. 14-17 (京都)
- 5) 塚原優己、谷口晴記、山田里佳、蓮尾泰之、赤城光三、稲葉純一、林公一、早川智、喜多恒和、和田裕一、稲葉憲之：妊婦 HIV スクリーニング検査が母子感染予防に及ぼす効果に関する試算：第 59 回日本産婦人科学会総会, 2007. 4. 14-17 (京都)
- 6) 谷口晴記、田中浩彦、小林良成、樋口恭仁子、松野忠明、一尾卓生：当科の HIV・AIDS 患者における STD の実態：第 59 回日本産婦人科学会総会, 2007. 4. 14-17 (京都)
- 7) 谷口晴記、塚原優己、川戸美由紀、源河いくみ、山田里佳、嶋貴子、大金美和、和田裕一、喜多恒和、外川正生、稲葉憲之：妊婦 HIV スクリーニング検査が母子感染予防におよぼす効果に関する検討：第 25 回日本産婦人科感染症研究会学術講演会、2007. 6. 16 (東京)
- 8) 田中浩彦、吉田佳代、樋口恭仁子、谷口晴記：非感染性血栓性心内膜炎の原因として卵巣癌が疑われた一例：第 42 回日本婦人科腫瘍学会 2007. 6. 29-6. 30 (東京)
- 9) 吉田佳代、田中浩彦、樋口恭仁子、谷口晴記：診断に苦慮した若年巨大変性筋腫の一例：第 121 回東海産婦人科学会, 2007. 9. 2 (名古屋)
- 10) 田中浩彦、吉田佳代、樋口恭仁子、朝倉徹夫、谷口晴記、長尾賢治：出血の回避・出血した際の対処：第 9 回東海産婦人科内視鏡懇話会ワークショップ「こんな時どうする-私が勧める内視鏡手術の手術手技」2007. 10. 20 (名古屋)
- 11) 陣田さつき、森 尚義、藤原篤司、内藤雅大、谷口晴記：当院の患者背景と HAART 療法の変遷：第 21 回日本エイズ学会, 2007. 11. 28-11. 30 (広島)
- 12) 喜多恒和、吉野直人、外川正生、和田裕一、塚原優己、箕浦茂樹、谷口晴記、大場 悟、戸谷良造、稲葉憲之：本邦における HIV 感染妊娠の発生と母子感染予防対策の現状：第 21 回日本エイズ学会, 2007. 11. 28-11. 30 (広島)
- 13) 森尚義、谷口晴記：特別な支援を必要とした外国人 HIV 感染妊婦の症例：第 21 回日本エイズ学会, 2007. 11. 28-11. 30 (広島)

講演会

1) 谷口 晴記：性行為感染による HIV の蔓延と母子感染予防対策：「周産期・小児・生殖医療における HIV 感染対策に関する集学的研究」班 研究成果発表会（平成18年度厚生労働科学研究費（エイズ対策研究推進事業）研究成果等普及啓発事業）、平成19年2月11日（日）宮崎市郡医師会、宮崎

2) 谷口晴記：わが国におけるHIV感染妊娠に関する諸問題：「周産期・小児・生殖医療における HIV 感染対策に関する集学的研究」班 研究成果発表会、平成19年度厚生労働科学研究費（エイズ対策研究推進事業）研究成果等普及啓発事業、平成19年7月28日（土）青森県観光物産館アスパム、青森

3) 田中浩彦：婦人科領域の腹腔鏡手術：平成19年度四日市医師会・三病院合同病診連携意見交換会プログラム2007.10.10（四日市）

小児科

学会発表

第242回日本小児科学会東海地方会（2008. 2. 11）

2006年度当科における血液培養694例の検討

内菌広匡

第243回日本小児科学会東海地方会（2008. 5. 11）

生後1ヶ月時に発症した良性乳児部分てんかんの1例

大槻静

第244回日本小児科学会東海地方会（2008. 10. 19）

痙攣重積型脳症の三例

内菌広匡

第44回中部日本小児科学会（2008. 8. 24）

髄膜炎罹患時に発見されたOCRL1異常を持つDent病の1例

大槻静

第44回日本周産期新生児医学会（2008. 7. 15）

当科で昨年度経験したIII V感染妊婦に対する母子感染予防

杉山謙二

第304回北勢地区小児科臨床懇話会

生後1ヶ月時に発症した良性乳児部分てんかんの1例
太田穂高

第306回北勢地区小児科臨床懇話会

無菌性髄膜炎罹患時に発見された蛋白尿症
大槻静

第310回北勢地区小児科臨床懇話会

三重大医学部海外実習につきあって
タンザニア共和国ムヒンピリ大学病院での実習
西森久史

神経内科

5月18日 第48回 日本神経学会総会（名古屋）

脳梗塞急性期に hemiballism-hemichorea がみられた6例の検討
三重県立総合医療センター：古田智之、鈴木賢治
三重大学 神経内科：葛原茂樹

7月26日 脳梗塞診療における在宅介護の必要性

～三泗地区における地域医療の発展を目指して～（四日市）
招待講演 シンポジウム
三重県立総合医療センター：鈴木賢治

2月23日 第1回MMC神経内科セミナー（津）

講演 脳梗塞の超急性期治療 tPA 治療の実際
三重県立総合医療センター：鈴木賢治

3月27日 第3回三重脳卒中医療連携研究会学術講演会（四日市）

招待パネリスト 急性期の立場から
三重県立総合医療センター：鈴木賢治

整形外科

第17回 三重関節鏡・関節外科研究会

19.11.18 プラザ洞津

膝開放性脱臼後の不安定膝に対しACL、MCL、LCLを再建した一例
北尾 淳、松本壽夫、森本剛司、森 浩輝、村木 真、村田耕一郎

第210回整形外科集談会東海地方会

19.12.15

15歳の習慣性膝蓋骨脱臼に対し外側支帯切離、脛骨粗面移動、MPFL再建の同時施行により改善した一例

村田耕一郎、松本壽夫、北尾淳、森本剛司、森浩輝、村木真

第13回東海関節鏡研究会

20.1.12 名古屋国際会議場

鏡視下PCL再建時の小工夫

北尾 淳、松本壽夫、森本剛司、森 浩輝、村木 真、村田耕一郎

皮膚科

<学会発表>

第8回 三重大学皮膚科同門会学会

平成19年2月4日

褥瘡に対する陰圧閉鎖療法の試み

稲葉智子 大川恵美

泌尿器科

<学会発表>

第41回 三重泌尿器科医会（1月28日・津市）

三重県立総合医療センターにおける手術統計(2006)

栃木宏水、荒瀬栄樹、松浦 浩、亀田晃司

第235回 日本泌尿器科学会東海地方会（3月11日・名古屋市）

精巣原発悪性リンパ腫の4例

荒瀬栄樹、松浦 浩、栃木宏水、亀田晃司

第95回 日本泌尿器科学会総会（4月14-17日・神戸市）

Naftopidil Inhibits Proliferation of Prostate Cancer Cell Lines by Inducing G1 Cell Cycle Arrest

神田 英輝、石井 健一朗、小倉 友二、金井 優博、今村 哲也、金原 弘幸、有馬 公伸、杉村 芳樹

第42回 三重泌尿器科医会（7月7日・津市）

膿腎症を合併した巨大水腎症の1例

松浦 浩、神田英輝、栃木宏水

<誌上発表>

【原 著】

Bisphenol A induces permanent squamous change in mouse prostatic epithelium
Ogura, Y., Ishii, K., Kanda, H., Kanai, M., Arima, K., Wang, YZ., Sugimura, Y.
Differentiation 75 : 745-756, 2007

看護部

『看護師のアイデンティティ形成過程の縦断的研究—第1段階；新人看護師を対象に—
川島珠実
第11回日本看護管理学会 平成19年8月24日

『緩和ケアを受けている人の日常生活における看護師のかかわり
外山未季 竹本美重子（三重県立看護大学）
第38回日本看護学会 成人看護学会 平成19年8月28日

『訪問看護師が認識する家族介護者の介護肯定感に関する研究』
久保直子、深堀浩樹、河田みどり（三重県立看護大学）
日本家族看護学会第14回学術集会

『陰圧閉鎖療法を用いた症状緩和が図れた終末期仙骨部褥瘡患者の1例』
大川恵美
第9回日本褥瘡学会 平成19年9月7日

『乳がん診療における心のケア —当院での取り組み—
古坂和代、谷口智香子、村林麻子、市岡敬子、多田羅紀子、
伊藤久仁子（診療心理士） 重森千香（外科診療科）
第4回日本乳癌学会中部地方会 平成19年9月8日

『18トリソミー児をもつ家族への支援について』
佐藤里絵
日本遺伝看護学会第6回学術大会 平成19年9月23日

『三重県における遺伝看護活動の経過と今後の課題』
佐藤里絵 共同研究（発表 竹本美重子：三重県立看護大学）
日本遺伝看護学会第6回学術大会 平成19年9月23日

『術後合併症を予防できる呼吸訓練回数の検証』 —インスピロンの呼気量値を利用—

小林直子

第38回日本看護学会—成人看護I— 平成19年10月5日

『看護師の仕事上のストレスと人的環境の現状から』

—ストレス尺度と職場用ソーシャルサポート尺度を用いた精神的支援の検討—

川島珠実

日本管理学会 看護管理分野 平成19年10月25日

『クロイツフェルト・ヤコブ感染症の手術・中材における対応』

黒宮峰子

第56回中部地区中材業務研究会 平成19年12月1日

病院事業庁看護研究発表会 平成19年 6月30日

『気管内挿管中のテープ剥離による皮膚障害予防について』

—ノンアルコール性皮膚保護膜形成剤を使用して—

林恵里、大川恵美、川島珠実

『術後合併症を予防できる呼吸訓練回数の検証』

—インスピレックスの吸気量値を利用して—

小林直子、原知江、山口順子、斎藤蘭織、森川真理子、川島珠実

『看護師のヒヤリハット体験に伴う精神的ストレスの援助について』

岡本朱代、川島珠実

『看護師の転倒・転落に対する認識についての検討』

垣内由美、北見桂子、山中明美、水谷奈保子、御手洗怜子、成井ふくよ

『NICUの母乳育児支援について』 —母乳育児支援の実際—

長谷川実佳

『がん性疼痛看護認定看護師としての活動報告と課題』

川瀬聡美

『平成18年度新人看護職員卒後教育プログラム開発プロジェクト活動報告』

川島珠実、矢橋美紀、前田ゆりか、山路恭子、竹下ちづる、坂倉小夜子（県立病院事業
庁）、河田みどり、河合富美子（県立看護大学）、大谷恵（愛知医科大学看護学部）

中央検査部

三重県臨床検査技師会 生理検査研修会

平成19年11月10日（四日市）

神経伝導検査 —波形判読の基礎—

坂下 文康

Medical Technology 2007.12 Vol.35 No.12 掲載

臨床検査 Q & A

向井 理香

中央放射線部

超音波検査学会 中部地方会 平成 19 年 9 月 2 日 三重県文化会館

精巣原発悪性リンパ腫

安本 浩二

津柵原地区研究会 平成 19 年 7 月 20 日 こころの医療センター

消化管超音波検査

安本 浩二

三重県消化器画像研究会 平成 19 年 9 月 29 日 四日市検診クリニック

消化器領域の画像診断「US 像と CT 像の対比」

安本 浩二

北勢消化器画像研究会 平成 19 年 12 月 8 日 県立総合医療センター

『クロスモダリティ 肝臓～基本的解剖・装置特徴・症例～』CT・US・MRI

安本 浩二

中部超音波フォーラム

平成 19 年 9 月 30 日、10 月 28 日、11 月 18 日、12 月 16 日 名古屋・福井

胆道系の超音波検査

安本 浩二

薬剤部

第 22 回日本環境感染学会学術集会 平成 19 年 2 月 24 日 横浜

「抗菌薬の使用状況と MRSA 感染率/保菌率との相関」

○森 尚義、中川 育美、倉田 みち子

第 22 回日本環境感染学会学術集会 平成 19 年 2 月 24 日 横浜

「三重県立総合医療センターにおける抗 MRSA 薬使用状況の変動」

○中川 育美、吉田 正道、伊藤 秀樹、森 尚義、森外 由美、倉田 みち子

四日市薬剤師会生涯教育 平成 19 年 5 月 24 日 四日市

「東海地区におけるエイズの現状と薬剤」

○森 尚義

第 55 回日本化学療法学会西日本支部総会 平成 19 年 10 月 30 日 神戸

「保険診療と臨床との乖離」

○森 尚義

第 21 回日本エイズ学会学術集会 総会 平成 19 年 11 月 28 日 広島

「当院の患者背景と HAART 療法の変遷」

○陣田 さつき、森 尚義、藤原 篤司、内藤 雅大、谷口 晴記

第 21 回日本エイズ学会学術集会 総会 平成 19 年 11 月 29 日 広島

「特別な支援を必要とした外国人 HIV 感染妊婦の症例」

○森 尚義、谷口 晴記

リハビリテーション室

三重県呼吸リハビリテーション研究会 2007 年 10 月 四日市勤労者総合福祉センター
理学療法士養成校における呼吸リハビリテーション講義の現状
内田智之

第 23 回東海北陸理学療法学会 2007 年 11 月 ポートメッセなごや
呼吸リハビリテーションにおける不安抑うつ指標の検討
内田智之

栄養 G

第 1 回 北勢・地域連携栄養カンファレンス 平成 19 年 4 月 21 日
寝たきり患者に血中 A 1 b を指標として栄養管理を行った場合の問題点と対応の検討
秦いづみ

第 27 回 北勢 DM ミーティング 平成 19 年 7 月 27 日
当院における糖代謝異常合併妊娠のケア～妊娠糖尿病の 1 症例に基づいて～
世古口幸子、下田智子

3. 統計データ

(1) 患者統計

平成19年 診療科別外来延べ患者数

科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	571	516	642	553	589	467	567	649	532	546	554	818	7,004
外科	1,059	891	1,103	1,023	1,102	1,108	1,105	1,158	964	1,134	1,156	1,091	12,894
心臓血管外科	181	127	170	138	139	151	151	140	148	168	129	146	1,788
脳神経外科	447	428	470	461	493	491	504	505	461	482	528	491	5,761
小児科	1,031	1,077	1,183	1,031	1,087	1,028	1,032	1,108	881	1,078	1,072	1,345	12,953
産婦人科	1,173	1,124	1,141	1,038	1,198	1,187	1,227	1,278	1,109	1,337	1,117	1,126	14,055
整形外科	1,112	1,016	1,210	1,092	1,202	1,122	1,154	1,280	1,087	1,327	1,245	1,162	14,009
リハ科	439	380	438	457	484	415	472	494	358	463	460	437	5,297
皮膚科	605	521	602	600	704	635	708	250	650	674	638	571	7,158
泌尿器科	715	747	750	716	754	696	749	797	669	806	759	699	8,857
眼科			1		2								3
耳鼻咽喉科	564	533	530	533	564	569	473	604	512	705	652	742	6,981
精神科	542	547	579	566	585	547	584	641	518	603	565	553	6,830
放射線科	153	248	225	208	178	213	241	265	185	243	319	198	2,676
神経内科	320	362	405	372	345	381	418	405	382	400	363	376	4,529
循環器科	1,272	1,241	1,407	1,249	1,299	1,271	1,365	1,350	1,126	1,372	1,244	1,170	15,366
呼吸器科	979	903	1,008	991	1,022	1,038	977	996	881	1,089	1,017	1,055	11,956
消化器科	1,358	1,327	1,433	1,307	1,317	1,280	1,315	1,265	1,210	1,374	1,332	1,274	15,792
呼吸外科	25	25	37	22	25	31	43	30	26	32	43	40	379
合計	12,546	12,013	13,334	12,357	13,089	12,630	13,085	13,215	11,699	13,833	13,193	13,294	154,288

平成19年 診療科別外来延べ患者数

科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科			6										6
外科	1,037	871	909	762	1,106	1,185	1,199	1,278	1,219	1,414	1,333	1,431	13,744
心臓血管外科	262	347	388	378	386	404	383	281	255	194	335	471	4,084
脳神経外科	561	470	651	725	679	700	836	679	677	610	617	615	7,820
小児科	989	943	753	814	858	774	899	907	819	827	910	1,119	10,612
産婦人科	901	765	883	869	973	914	827	816	795	898	848	757	10,246
整形外科	903	867	878	698	841	979	934	814	802	1,042	1,120	1,177	11,055
リハ科													
皮膚科	21	71	31	33	55	34	43		3	22	24	12	349
泌尿器科	218	232	320	216	256	279	318	364	378	412	358	341	3,692
眼科													
耳鼻咽喉科	141	164	166	154	211	94	74	108	134	284	242	183	1,955
精神科													
放射線科													
神経内科	456	337	416	342	444	513	450	537	575	685	600	523	5,878
循環器科	968	850	868	867	796	872	726	783	701	814	949	953	10,147
呼吸器科	1,085	1,056	1,194	1,079	1,069	1,246	1,586	1,386	1,092	1,018	1,061	1,125	13,997
消化器科	880	919	982	774	858	1,041	1,132	1,244	1,171	1,414	1,134	963	12,512
呼吸外科	227	180	189	253	257	125	210	200	174	133	132	204	2,284
合計	8,649	8,072	8,634	7,964	8,789	9,160	9,617	9,397	8,795	9,767	9,663	9,874	108,381

入退院状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
新入院数	696	648	685	634	732	675	694	656	621	756	740	709	8,246
内紹介入院数	89	74	78	68	86	80	85	67	57	77	73	85	919
内救急入院数	135	75	88	96	99	103	94	99	103	118	129	163	1,302
転科入院数	32	43	31	26	32	26	37	31	30	41	39	31	399
退院数	619	647	715	631	682	708	665	687	612	726	721	795	8,208
内死亡退院数	26	20	27	29	20	25	24	29	23	23	23	33	302
転科退院数	32	43	31	26	32	26	37	31	30	41	39	31	399
平均在院日数	13.2	12.5	12.3	12.6	12.4	13.2	14.2	14.0	14.3	13.2	13.2	13.1	13.2

外来通院状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
延患者数	12,546	12,013	13,334	12,357	13,089	12,630	13,085	13,215	11,699	13,833	13,193	13,294	154,288
初診数	1,647	1,579	1,719	1,643	1,839	1,747	1,837	1,865	1,594	1,744	1,726	2,004	20,944
内紹介患者数	369	397	421	445	456	493	535	476	418	541	522	433	5,506
内救急患者数	922	858	916	846	934	689	867	891	874	813	831	1,331	10,772
平均通院日数	7.6	7.6	7.8	7.5	7.1	7.2	7.1	7.1	7.3	7.9	7.6	6.6	7.4

(2) 図書蔵書状況

蔵書状況（2007年12月31日現在）

	図書	製本雑誌	視聴覚資料	計
外国	148冊	0冊	0巻	148
国内	1218冊	0冊	76巻	1294
合計	1366冊	0冊	76巻	1442

雑誌受入タイトル数

外国雑誌	78タイトル
国内雑誌	82タイトル
計	160タイトル

購読雑誌一覧(外国雑誌)

A	ACTA ORTHOPAEDICA SCANDINAVICA	56-72<1985-2001>/
	ACTA RADIOLOGICA. ONCOLOGY	24-40 <1985-1999>/
	AMERICAN HEART JOURNAL	117-154<1989-2007>+
	AMERICAN JOURNAL OF CARDIOLOGY	65-83 <1990-1999>/
	AMERICAN JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY	85-101<1990-2006>/
	AMERICAN JOURNAL OF KIDNEY DISEASES	43-48<2004-2006>/
	AMERICAN JOURNAL OF MEDICINE	78-112 <1985-2002>/
	AMERICAN JOURNAL OF NEURORADIOLOGY	17-23<1996-2002>/
	AMERICAN JOURNAL OF OBSTETRICS & GYNECOLOGY	162-181<1990-1999>/
	AMERICAN JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY	109-140<1990-2005>/
	AMERICAN JOURNAL OF PSYCHIATRY	141-158 <1984-2001>/
	AMERICAN JOURNAL OF RESPIRATORY AND CRITICAL CARE MEDICINE	145-176<1992-2007>+
	AMERICAN JOURNAL OF RESPIRATORY CELL AND MOLECULAR BIOLOGY	17 (3) <1997>/
	AMERICAN JOURNAL OF ROENTGENOLOGY	144-189<1985-2007>+
	AMERICAN JOURNAL OF SURGERY	163-194<1992-2007>/
	ANESTHESIOLOGY	62-107<1985-2007>+
	ANESTHESIA & ANALGESIA	104-105 <2007-2007>+
	ANNALS OF INTERNAL MEDICINE	102-147<1985-2007>+
	ANNALS OF OTOLARYNGOLOGY, RHINOLOGY & LARYNGOLOGY	95-108<1986-1999>/
	ANNALS OF SURGERY	211-246<1990-2007>+
ANNALS OF THORACIC SURGERY	58-84<1994-2007>+	
ARCHIVES OF DERMATOLOGY	126-135<1990-1999>/	
ARCHIVES OF DISEASE IN CHILDHOOD	65-81 <1990-1999>/	
ARCHIVES OF GENERAL PSYCHIATRY	41-56 <1984-1999>/	
ARCHIVES OF NEUROLOGY	59-60 <2002-2003>/	
ARCHIVES OF OPHTHALMOLOGY	97-117<1979-1999>/	
ARCHIVES OF OTOLARYNGOLOGY HEAD & NECK SURGERY	112-133<1994-2007>+	
AURIS NASUS LARYNX	29-34<2002-2007>+	
B	BJU INTERNATIONAL	73-100<1989-2007>+
	BLOOD	75-94 <1985-1999>/
	BRITISH JOURNAL OF DISEASES OF THE CHEST	73-82<1979-1988>/
	BRITISH JOURNAL OF SURGERY	79-94<1992-2007>+
	BRITISH JOURNAL OF UROLOGY (BJU)	69-82 <1992-1998>/
C	CANCER	62-89<1988-2000>/
	CANCER CYTOPATHOLOGY	93<2001>/
	CHEST	127-132<2005-2007>+
	CIRCULATION	73-116<1986-2007>+
	CLINICAL INFECTIOUS DISEASES	34-39<2002-2004>/
	CLINICAL OBSTETRICS AND GYNECOLOGY	28-35<1985-1992>/
	CLINICAL ORTHOPAEDICS AND RELATED RESEARCH	418-465<2004-2007>+
	CURRENT OPINION IN ANESTHESIOLOGY	Online (18-19<2005-2006>/)
D	DIABETES : A JOURNAL OF THE AMERICAN DIABETES ASSOCIATION	38-53<1989-2004>/
	DIGESTIVE DISEASES & SCIENCES	35-37<1990-1992>/
	DISEASES OF THE COLON & RECTUM	34-43<1991-2000>/
E	ENDOSCOPY	24-31 <1992-1999>/
	EXCERPTA MEDICA	29-74<1987-1992>/
G	GASTROENTEROLOGY	110-133<1996-2007>+
	GYNECOLOGIC ONCOLOGY	60-95<1996-2004>/
H	HEPATOLOGY	31-40 <2000-2004>/
J	JOURNAL OF ALLERGY AND CLINICAL IMMUNOLOGY	75-108 <1985-2001>/
	JOURNAL OF BONE AND JOINT SURGERY	67-89<1985-2007>+
	JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY	20-21, 25<2002-2007>+
	JOURNAL OF CLINICAL ENDOCRINOLOGY & METABOLISM	70-84<1990-1999>/
	JOURNAL OF CLINICAL INVESTIGATION	85-103 <1990-1999>/
	JOURNAL OF HEPATOLOGY	44-47<2006-2007>+
	JOURNAL OF NEUROLOGY NEUROSURGERY & PSYCHIATRY	72-77,78(1,2) <2002-2007>/
	JOURNAL OF NEUROSURGERY	102-107<2005-2007>+
	JOURNAL OF PEDIATRICS	116-151<1990-2007>+
	JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY	27-50<1996-2007>+
	JOURNAL OF THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY	89-134<1985-2007>+
JOURNAL OF UROLOGY	143-178<1990-2007>+	
N	NATURE	355-396<1992-1998>/
	NATURE MEDICINE	6<2000>/
	NEUROLOGY	64-69<2005-2007>+
	NEUROLOGY IN PRACTICE	72-77<2002-2006>/
	NEW ENGLAND JOURNAL OF MEDICINE	327-347,348(14-28),349-357 <1992-2007>+
L	LANCET	335-336,342-344,347-352,354-370<1990-2007>+
O	OBSTETRICS & GYNECOLOGY	95-110<2000-2007>+
P	PEDIATRICS	98-120 <1996-2007>+
	PEDIATRIC CLINICS	32-42 <1985-1995>/
	POSTGRADUATE MEDICINE	115-117,118(1-5),119(1,2) <2004-2006>/
R	RESPIRATORY MEDICINE	83-85 <1989-1991>/
S	STROKE	26-35<1995-2004>/
	SURGERY	103-110<1988-1991>/
	SURGERY, GYNECOLOGY & OBSTETRICS	160-161, 163-181<1985-1995>/
	SURGICAL CLINICS	65-81 <1985-2001>/
	SURGICAL NEUROLOGY	45-62<1996-2004>/
U	UROLOGY	40-70 <1992-2007>+

購読雑誌一覧(国内雑誌)

A	CLINICAL ENGINEERING CLINICAL NEUROSCIENCE CLINICAL PRACTICE JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION LISA MEDICAL TECHNOLOGY RAD FAN THE MEDICAL & TEST JOURNAL	17<2006-2006>/ 20-25<2002-2007>+ 23-25, 26(1-8) <2004-2007>/ 13-16<2004-2007>/ 9-13<2004-2006>/ 30-35<2002-2007>+ 3-5<2005-2007>+ <2002-2004>/
あ	医学のあゆみ 胃と腸 医薬ジャーナル 医療経営最前線看護部マネジメント編 栄養評価と治療	136-199<1983-2001>/ 20-42<1985-2007>/ 31-37<1995-2001>/ 172-176<2003-2003>/ 22-24<2005-2007>+
か	看護 看護教育 看護展望 がんサポート 癌の臨床 がんを治す完全ガイド 救急医学 胸部外科 外科 外科診療 外科治療 血液・腫瘍科 月刊地域医学 月刊薬事 検査と技術 呼吸器ケア 呼吸と循環	45-59<1992-2007>+ 35-48<1989-2007>+ 18-24, 28-29<1993-2004>/ 3-5<2005-2007>+ 31-45 <1985-1999>/ 1<2004-2004>/ 30-31<2006-2007>+ 55-57<2002-2004>/ 47-69<1985-2007>+ 27-38 <1985-1996>/ 52-85 <1985-2001>/ 24-39<1992-1999>/ 13-21<1999-2007>+ 44-45 <2002-2003>/ 30-35<2002-2007>+ 5<2007-2007>+ 33-47<1985-1999>/
さ	産科と婦人科 産婦人科治療 産婦人科の実際 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 周産期医学 手術 消化器外科 小児科 小児科診療 小児科臨床 小児外科 小児内科 神経内科 心身医学 診断と治療 整形・災害外科 整形外科 精神医学 精神科治療学 総合リハビリテーション 総合臨床	52-66 <1985-1999>/ 55-95<1987-2007>+ 34-52<1985-2003>/ 63-79<1991-2007>+ 34-37<2004-2007>+ 61<2007-2007>+ 27-30<2004-2007>+ 26-32<1985-1991>/ 52-64 <1989-2001>/ 38-60<1985-2007>+ 13-23<1981-1991>/ 17-39<1985-2007>+ 56-67<2002-2007>+ 27-40 <1987-2000>/ 73-95<1985-2007>+ 33-50<1990-2007>+ 36-42, 47-58<1985-2007>+ 33-41 <1991-1999>/ 16-22<2001-2007>+ 33-35<2005-2007>+ 34-56<1985-2007>/
た	治療 調剤と情報	72-83<1990-2001>/ 10-13<2004-2007>+
な	ナースマネージャー 内科 日本医事新報 日本臨床 日本眼科紀要 日本胸部臨床 脳神経外科 脳神経外科速報 脳と神経	4-5 <2002-2003>/ 47-100<1981-2007>+ <1998-2004>/ 45-62<1987-2004>/ 42-44<1991-1993>/ 61-66<2002-2007>+ 33-34<2005-2006>/ 15-17<2005-2007>+ 37-47, 56-59<1985-2007>/
は	泌尿器外科 皮膚科の臨床 病院 婦長主任新事情	13-20<2000-2007>+ 27-49<1985-2007>+ 63-66<2004-2007>/ 1-3, 6-7<1996-2002>/
ま	麻酔	44-48, 54-56<1995-2007>+
や	薬局	55-58<2004-2007>+
ら	理学療法 臨床栄養 臨床画像 臨床眼科 臨床看護 臨床外科 臨床整形外科 臨床精神医学 臨床脳波 臨床泌尿器科 臨床婦人科産科 臨床放射線 臨床麻酔 レジデントノート	24<2007-2007>+ 88-111<1996-2007>+ 18-23<2002-2007>+ 45-59<1991-2005>/ 22-33<1996-2007>+ 40-62<1985-2007>+ 23-42<1988-2007>+ 14-33 <1985-2004>/ 27-33<1985-1991>/ 43-61<1989-2007>+ 39-45<1985-1992>/ 37-52<1992-2007>+ 31<2007-2007>+ 5(10-12), 6-9<2003-2007>+

(3) 病歴管理室統計

疾病別・診療科別・性別・退院患者数 (ICD小分類)

(H19. 1. 1~H19. 12. 31)

コード	疾病分類名	総数	内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科
	総数	4252	1	595	96	253	550	0	415	20	305	0	136	176	555	487	583	80
		3821	0	383	45	120	518	1139	411	11	31	0	98	125	298	237	378	27
C0100	感染症及び寄生虫症	162	1	4	0	0	80	0	0	3	0	0	0	1	12	27	33	1
		154	0	8	1	1	69	17	0	2	0	0	4	4	9	11	28	0
C0101	原因の明示された腸管感染症	34	0	1	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0
		34	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
C0102	感染症と推定される下痢及び胃腸炎	53	0	2	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	5	4	14	0
		55	0	4	0	0	22	3	0	0	0	0	0	1	3	4	18	0
C0103	呼吸器結核	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1
		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
C0104	その他の結核	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
C0105	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0106	敗血症	14	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	4	3	0
		9	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	0
C0107	その他の細菌性疾患	12	0	0	0	0	8	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0
		8	0	0	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
C0108	梅毒	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0109	淋菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0110	主として性的伝播様式をとるその他の感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		11	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0111	ヘルペスウイルス感染症	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0112	水痘	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0113	带状疱疹	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0
C0114	麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C0115	風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0116	皮膚、粘膜の病変を伴うウイルス疾患	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0117	B型ウイルス肝炎	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
C0118	C型ウイルス肝炎	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
C0119	その他のウイルス肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0120	ヒト免疫不全ウイルス【HIV】病	8	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0
		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
C0121	ムンプス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0122	その他のウイルス疾患	6	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
		9	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0
C0123	皮膚糸状菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0124	カンジタ症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0125	その他の真菌症	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0
		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C0126	結核の続発・後遺症	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0127	その他の感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0128	その他の感染症及び寄生虫症	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
		5	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

コード	疾病分類名	総数	内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科	
C0200	新生物	男	951	0	237	1	14	3	0	6	0	226	0	16	0	5	199	203	41
		女	844	0	178	0	12	0	407	7	0	23	0	13	2	1	70	117	14
C0201	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	男	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
C0202	食道の悪性新生物	男	40	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	0	
		女	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
C0203	胃の悪性新生物	男	94	0	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	20	0	
		女	35	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	
C0204	結腸の悪性新生物	男	74	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	21	0	
		女	34	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
C0205	直腸S状結腸移行及び直腸の悪性新生物	男	25	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
		女	14	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
C0206	肛門及び肛門管の悪性新生物	男	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
C0207	肝及び肝内胆管の悪性新生物	男	68	0	13	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	
		女	58	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	
C0208	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	男	11	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	
		女	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
C0209	膵の悪性新生物	男	15	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	12	0	
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
C0210	その他の消化器の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0211	咽頭の悪性新生物	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0212	気管、気管支及び肺の悪性新生物	男	212	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	176	0	34	
		女	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	0	8	
C0213	その他の呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	男	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2	
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
C0214	骨及び関節軟骨の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0215	皮膚の悪性黒色腫	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0216	その他の皮膚の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0217	中皮及び軟部組織の悪性新生物	男	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	
		女	8	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0218	乳房の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	72	0	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
C0219	子宮頸部の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	97	0	0	0	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0220	子宮体の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	55	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0221	子宮の部位不明の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	6	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
C0222	卵巣の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	84	0	1	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0223	その他の女性性器の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	14	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0224	前立腺の悪性新生物	男	60	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0225	その他の男性性器の悪性新生物	男	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0226	腎及び腎盂の悪性新生物	男	10	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	
		女	10	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	
C0227	膀胱の悪性新生物	男	96	0	0	0	0	0	0	0	95	0	0	0	0	1	0	0	
		女	12	0	0	0	0	1	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	
C0228	その他の尿路の悪性新生物	男	24	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
C0229	眼及び付属器の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0230	中枢神経系の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0231	甲状腺の悪性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	

コード	疾病分類名	総数	内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科	
C0232	ホジキン病	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0233	非ホジキンリンパ腫	男	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
		女	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
C0234	白血病	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0235	その他のリンパ組織、造血組織の悪性新生物	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0236	その他の悪性新生物	男	71	0	26	0	6	0	1	0	29	0	0	0	0	4	2	3	
		女	51	0	19	0	2	0	22	2	0	0	0	1	0	2	0	3	
C0237	子宮頸部の上皮内癌	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0238	その他の上皮内新生物	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
		女	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0239	皮膚の良性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0240	乳房の良性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0241	子宮平滑筋腫	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	62	0	0	0	0	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0242	卵巣の良性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	19	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0243	泌尿器の良性新生物	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0244	中枢神経系のその他の新生物	男	7	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	5	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
C0245	その他の新生物	男	113	0	13	1	1	0	5	0	4	0	12	0	2	1	74	0	
		女	95	0	6	0	2	0	38	5	0	0	8	0	0	0	33	3	
C0300	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	男	12	0	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	
		女	16	0	2	1	8	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	
C0301	鉄欠乏性貧血	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
C0302	その他の貧血	男	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
		女	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
C0303	出血性の病態並びにその他の血液、造血器	男	8	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
		女	12	0	2	0	8	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
C0304	免疫機構の障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
C0400	内分泌、栄養及び代謝疾患	男	71	0	2	0	18	0	0	0	0	0	5	32	2	12	0	0	
		女	112	0	5	0	61	2	0	1	0	0	2	8	19	6	7	0	
C0401	甲状腺中毒症	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
C0402	甲状腺炎	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0403	その他の甲状腺障害	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
C0404	インスリン依存性糖尿病	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0405	インスリン非依存性糖尿病	男	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	0	
		女	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	
C0406	その他の糖尿病	男	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12	1	2	0	0	
		女	17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	9	1	4	0	0	
C0407	卵巣機能障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0408	栄養失調及びビタミン欠乏症	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
		女	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
C0409	肥満症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0410	高脂血症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0411	体液量減少	男	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	4	0	0	
		女	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	2	0	0	0	
C0412	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	男	36	0	1	0	17	0	0	0	0	0	2	12	1	3	0	0	
		女	75	0	3	0	1	59	0	0	0	0	3	6	2	1	0	0	

コード	疾病分類名	総数	内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科	
C0500	精神及び行動の障害	男	13	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	2	1	1	5	0	
		女	15	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	1	2	4	0	3	0
C0501	血管性及び詳細不明の痴呆	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0502	アルコール使用による精神及び行動の障害	男	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0503	その他の精神作用物質使用の精神、行動障害	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
C0504	精神分裂病、分裂病及び妄想性障害	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0505	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
C0506	神経症性障害、ストレス及び身体表現性障害	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
		女	5	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
C0507	精神遅滞	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0508	その他の精神及び行動の障害	男	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
		女	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	
C0600	神経系の疾患	男	132	0	1	0	18	29	0	6	0	0	8	59	5	2	4	0	
		女	90	0	0	0	5	26	0	0	0	0	2	51	1	3	1	1	
C0601	髄膜炎	男	12	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	
		女	14	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
C0602	中枢神経系の炎症性疾患	男	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
		女	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
C0603	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	男	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	
		女	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	
C0604	パーキンソン病	男	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	
		女	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	
C0605	アルツハイマー病	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
C0606	多発性硬化症	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
		女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
C0607	てんかん	男	34	0	0	0	5	18	0	0	0	0	0	10	1	0	0	0	
		女	22	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	8	0	1	1	0	
C0608	片頭痛及びその他の頭痛症候群	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0609	一過性脳虚血性発作及び関連性症候群	男	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	
		女	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	
C0610	睡眠障害	男	11	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6	0	1	1	1	0	
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
C0611	神経、神経根及び神経その障害	男	17	0	0	0	1	2	0	6	0	0	2	6	0	0	0	0	
		女	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	
C0612	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	男	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0613	自律神経系の障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
C0614	その他の神経系の疾患	男	25	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	11	2	1	1	0	
		女	20	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	13	0	1	0	1	
C0700	眼及び付属器の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0701	麦粒腫及びさん粒腫	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0702	涙器の障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0703	結膜炎	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0704	角膜炎	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0705	白内障	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0706	網膜剥離及び裂孔	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C0707	網膜血管閉塞症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

コード	疾病分類名	総数	内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科
C0708	緑内障	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0709	斜視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0710	屈折及び調節の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0711	盲<失明>及び低視力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0712	その他の眼及び付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0800	耳及び乳様突起の疾患	15	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	10	0	1	0	0	0
C0801	外耳炎	24	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	15	1	0	1	1	0
C0802	耳垢栓塞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0803	その他の外耳疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0804	中耳炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
C0805	耳管炎	6	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
C0806	耳管閉塞	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0807	中耳真珠腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0808	その他の中耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
C0809	メニエール病	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
C0810	中枢性めまい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0811	その他の内耳疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0812	難聴	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0
C0813	その他の耳疾患	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	1	1	0
C0900	循環器系の疾患	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0901	本態性高血圧	368	0	3	84	134	3	0	1	0	0	0	1	96	417	10	18	0
C0902	高血圧性心疾患	0	0	3	34	64	7	4	1	0	0	0	0	38	197	11	8	1
C0903	高血圧性腎疾患	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
C0904	高血圧性心腎疾患	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C0905	二次性高血圧症	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
C0906	狭心症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0907	急性心筋梗塞	157	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138	0	0	0
C0908	冠動脈硬化症	60	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	0	0	0
C0909	陈旧性心筋梗塞	57	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	1	0
C0910	その他の虚血性心疾患	21	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	2	0	0
C0911	慢性リウマチ性心疾患	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
C0912	慢性非リウマチ性心内膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C0913	慢性非リウマチ性心内膜炎	40	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0
C0914	慢性非リウマチ性心内膜炎	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0
C0915	慢性非リウマチ性心内膜炎	15	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0
C0916	慢性非リウマチ性心内膜炎	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C0917	慢性非リウマチ性心内膜炎	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0918	慢性非リウマチ性心内膜炎	14	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
C0919	慢性非リウマチ性心内膜炎	11	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0

コード	疾病分類名	総数	診療科															
			内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科
C0913	心筋症	男	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0
		女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
C0914	不整脈及び伝導障害	男	43	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	38	2	1	0
		女	29	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0
C0915	心不全	男	85	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	76	4	1	0
		女	62	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	58	3	0	0
C0916	その他の心疾患	男	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	1	0
		女	10	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0
C0917	くも膜下出血	男	12	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		女	12	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0918	脳内出血	男	52	0	0	0	50	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
		女	28	0	0	0	25	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
C0919	脳梗塞	男	124	0	0	0	18	1	0	1	0	0	1	92	5	2	4	0
		女	47	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	35	2	2	2	0
C0920	脳動脈硬化	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0921	その他の脳血管疾患	男	53	0	1	0	49	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0
		女	20	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
C0922	肺塞栓症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C0923	動脈硬化	男	23	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0924	大動脈瘤及び解離	男	36	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0
		女	18	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	1	0
C0925	レイノー症候群	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0926	動脈の塞栓症及び血栓症	男	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		女	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0927	その他の動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	男	4	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0928	静脈炎、静脈の塞栓症及び血栓症	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
		女	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
C0929	下肢の静脈瘤	男	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	6	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0930	痔核	男	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C0931	食道静脈瘤	男	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
		女	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
C0932	低血圧症	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		女	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C0933	その他の循環器系の疾患	男	9	0	1	0	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
		女	11	0	1	1	1	0	4	1	0	0	0	0	1	1	1	1
C1000	呼吸器系の疾患	男	554	0	5	0	0	194	0	0	0	0	82	0	25	215	10	23
		女	330	0	2	0	0	164	0	0	0	0	48	0	10	98	4	4
C1001	急性鼻咽喉炎	男	6	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		女	5	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C1002	急性副鼻腔炎	男	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0
		女	6	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0
C1003	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	男	36	0	0	0	0	18	0	0	0	0	16	0	0	1	1	0
		女	24	0	0	0	0	14	0	0	0	0	8	0	0	2	0	0
C1004	急性喉頭炎及び気管炎	男	14	0	0	0	0	12	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
		女	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1005	その他の急性上気道感染症	男	22	0	0	0	0	10	0	0	0	0	11	0	1	0	0	0
		女	13	0	0	0	0	2	0	0	0	0	10	0	0	0	1	0
C1006	インフルエンザ	男	19	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0
		女	11	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1007	肺炎	男	150	0	0	0	0	41	0	0	0	0	0	13	93	3	0	0
		女	93	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	6	36	1	0	0
C1008	急性気管支炎	男	46	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
		女	31	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1009	急性細気管支炎	男	6	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	6	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1010	アレルギー性鼻炎	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

コード	疾病分類名	総数	診療科															
			内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科
C1011	慢性副鼻腔炎	男	11	0	0	0	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
		女	8	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
C1012	その他の鼻及び副鼻腔の疾患	男	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
		女	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
C1013	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	男	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0
		女	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
C1014	その他の上気道の疾患	男	20	0	0	0	0	1	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0
		女	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	1	0	0
C1015	急性、慢性と明示されない気管支炎	男	19	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
		女	14	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
C1016	慢性閉塞性肺疾患	男	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0
		女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
C1017	喘息	男	37	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0
		女	46	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0
C1018	気管支拡張症	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
		女	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0
C1019	じん肺	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1020	間質性肺疾患	男	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0
		女	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0
C1021	気胸	男	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0	16
		女	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
C1022	その他の呼吸器系の疾患	男	45	0	5	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8	20	3	7
		女	20	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	11	1	4
C1100	消化器系の疾患	男	510	0	228	0	0	8	0	0	0	0	4	0	4	6	260	0
		女	324	0	122	1	0	7	4	1	0	0	0	4	2	5	5	173
C1101	う蝕	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1102	歯肉炎及び歯周疾患	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1104	口内炎及び関連疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1105	その他の口腔、唾液腺及び顎の疾患	男	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
		女	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	1	0	0	0	0
C1106	胃潰瘍	男	37	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0
		女	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0
C1107	十二指腸潰瘍	男	20	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0
		女	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
C1108	部位不明の消化性潰瘍	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1109	胃炎及び十二指腸炎	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
C1110	その他の食道、胃及び十二指腸の疾患	男	12	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	0
		女	6	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
C1111	虫垂の疾患	男	43	0	40	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		女	28	0	26	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
C1112	鼠径ヘルニア	男	62	0	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1113	その他のヘルニア	男	6	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		女	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1114	クローン病	男	12	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1115	潰瘍性大腸炎	男	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
		女	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
C1116	腸閉塞	男	61	0	25	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	31	0
		女	39	0	11	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	25	0
C1117	過敏性腸症候群	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1118	便秘	男	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1119	裂肛及び痔瘻	男	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コード	疾病分類名	総数	診療科																
			内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科	
C1120	その他の胃腸の疾患	男	56	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	
		女	51	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	
C1121	腹膜の疾患	男	7	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	
		女	6	0	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C1122	アルコール性肝疾患	男	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	
		女	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
C1123	慢性肝炎	男	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
		女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
C1124	肝硬変	男	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	
		女	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	0	
C1125	その他の肝疾患	男	24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	19	0		
		女	32	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	25	0		
C1126	胆石症	男	41	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	
		女	55	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	
C1127	胆のう炎	男	11	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	
		女	10	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
C1128	急性膵炎	男	14	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	
		女	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
C1129	慢性膵炎	男	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C1130	その他の膵疾患	男	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
C1131	その他の消化器系の疾患	男	55	0	13	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	38	0	
		女	31	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	22	0	
C1200	皮膚及び皮下組織の疾患	男	42	0	3	1	2	6	0	8	13	0	0	4	0	4	1	0	0
		女	21	0	0	1	0	5	2	5	4	0	0	1	1	2	0	0	0
C1201	皮膚及び皮下組織の感染症	男	28	0	2	1	1	3	0	6	6	0	0	4	0	4	1	0	0
		女	16	0	0	1	0	5	2	4	0	0	1	1	2	0	0	0	
C1202	アトピー性皮膚炎	男	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
C1203	接触皮膚炎	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1204	その他の皮膚炎及び湿疹	男	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
C1205	幹せん及びその他の丘疹落せつ性障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1206	じんま疹	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1207	爪の障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1208	脱毛症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1209	ざ瘡	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1210	色素異常症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1211	うおのめ及びべんち	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1212	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	男	10	0	1	0	1	2	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
C1300	筋骨格系及び結合組織の疾患	男	146	0	1	0	23	9	0	103	1	0	0	0	5	0	0	3	1
		女	169	0	1	0	8	12	0	133	0	0	0	0	8	4	2	1	0
C1301	慢性関節リウマチ	男	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
		女	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
C1302	痛風	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1303	その他の炎症性多発性関節障害	男	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	8	0	0	0	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1304	関節症	男	10	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	46	0	0	0	0	0	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1305	四肢の後天性変形	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1306	膝内障	男	21	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	26	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コード	疾病分類名	総数	内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科
C1307	関節痛	男	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1308	その他の関節障害	男	9	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1309	全身性エリテマトーデス	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1310	乾燥症候群	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1311	ベーチェット病	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1312	その他の全身性結合組織障害	男	10	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
		女	10	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0
C1313	脊椎障害	男	40	0	0	0	19	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	28	0	0	0	7	0	0	18	0	0	0	2	1	0	0	0
C1314	椎間板障害	男	19	0	0	0	3	0	0	14	0	0	0	1	0	0	0	1
		女	10	0	0	0	1	0	0	7	0	0	0	2	0	0	0	0
C1315	頸腕症候群	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1316	腰痛症及び坐骨神経痛	男	6	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	5	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1317	その他の背部痛	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1318	その他の脊柱障害	男	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
C1319	軟部組織障害	男	16	0	1	0	0	0	11	0	0	0	0	3	0	0	1	0
		女	9	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	1	1	0	0	0
C1320	肩の傷害	男	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1321	骨粗しょう症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1322	その他の骨の密度及び構造の障害	男	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1323	骨髄炎	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1324	若年性骨軟骨症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1325	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	男	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1400	尿路性器系の疾患	男	125	0	3	1	0	13	0	1	0	72	0	0	0	18	4	13
		女	199	0	0	0	0	9	148	0	0	7	0	0	0	13	12	10
C1401	急性及び急速進行性腎炎症候群	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1402	ネフローゼ症候群	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1403	その他の糸球体疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1404	腎尿細管間質性疾患	男	18	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	3	0	4	0
		女	15	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	3	7	0
C1405	慢性腎不全	男	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	2	0
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
C1406	その他の腎不全	男	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0
		女	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0
C1407	尿路結石症	男	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		女	7	0	0	0	0	1	3	0	0	2	0	0	1	0	0	0
C1408	膀胱炎	男	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1409	その他の尿路系の疾患	男	33	0	1	0	0	12	0	1	0	8	0	0	4	3	4	0
		女	22	0	0	0	0	6	0	0	2	0	0	0	5	8	1	0
C1410	前立腺肥大	男	25	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1411	その他の男性性器の疾患	男	27	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1412	乳房の障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コード	疾病分類名	総数	診療科															
			内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科
C1413	卵管炎及び卵巣炎	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1414	子宮頸部の炎症性疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1415	その他の女性骨盤臓器の炎症性疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	17	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
C1416	子宮内膜症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	39	0	0	0	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1417	女性性器脱	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	20	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1418	卵巣、卵管及び子宮広間膜の非炎症性障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	15	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1419	月経障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1420	閉経期及びその他の閉経周辺期障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1421	女性不妊症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1422	その他の女性性器の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	47	0	0	0	0	46	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
C1500	妊娠、分娩及び産じょく	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	544	0	0	0	0	1	543	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1501	自然流産	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	10	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1502	医学的人工流産	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	9	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1503	その他の流産	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	33	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1504	妊娠中毒症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	12	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1505	妊娠早期の出血	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	12	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1506	前置胎盤、胎盤早期剥離及び分娩前出血	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	16	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1507	胎児、羊膜腔の母体のケア、分娩の諸問題	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	111	0	0	0	0	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1508	早産	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1509	分娩後出血	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1510	単胎自然分娩	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	232	0	0	0	0	232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1511	その他の妊娠及び分娩の障害及び合併症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	100	0	0	0	1	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1512	産じょくに関連する合併症	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1600	周産期に発生した病態	男	120	0	0	0	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	104	0	0	0	101	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1601	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	男	18	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1602	出産外傷	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1603	周産期に特異な呼吸障害及び心血管障害	男	22	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	20	0	0	0	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1604	周産期に特異な感染症	男	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1605	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	男	14	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	7	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1606	その他の周産期に発生した病態	男	60	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	55	0	0	0	54	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1700	先天奇形、変形及び染色体異常	男	21	0	3	1	9	0	1	0	2	0	3	0	1	0	0	0
		女	8	0	0	1	2	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
C1701	二分脊椎	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コード	疾病分類名	総数	診療科															
			内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科
C1702	その他の神経系の先天奇形	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1703	心臓の先天奇形	男	4	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		女	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1704	その他の循環器系の先天奇形	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1705	唇裂及び口蓋裂	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1706	小腸の先天欠損、閉鎖及び狭窄	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1707	その他の消化器系の先天奇形	男	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1708	停留精巣	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1709	その他の尿路性器系の先天奇形	男	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1710	股関節部の先天奇形	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1711	足の先天奇形	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1712	脊柱及び骨性胸部の先天奇形	男	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1713	その他の筋骨格系の先天奇形及び変形	男	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1714	その他の先天奇形	男	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
C1715	染色体異常	男	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1800	症状、徴候及び異常臨床、検査所見	男	100	0	6	0	6	35	0	0	0	0	2	8	17	12	13	1
		女	103	0	4	1	2	35	5	1	0	0	4	6	16	13	14	2
C1801	腹痛及び骨盤痛	男	8	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0
		女	9	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	5	0
C1802	めまい	男	13	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	4	1	2	0
		女	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	3	3	0
C1803	不明熱	男	9	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0
		女	9	0	0	1	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
C1804	頭痛	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1805	老衰	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C1806	症状、徴候及び異常臨床、検査所見	男	69	0	4	0	5	28	0	0	0	0	2	2	11	11	5	1
		女	69	0	4	0	2	27	0	1	0	0	4	3	11	10	5	2
C1900	損傷、中毒及びその他の外因の影響	男	504	0	91	8	55	9	0	289	3	5	0	6	0	9	8	13
		女	393	0	57	5	24	1	2	262	4	1	0	3	2	13	5	9
C1901	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	男	4	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		女	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
C1902	頭部、胸部及び骨盤の骨折	男	32	0	5	0	2	0	0	24	0	0	0	0	0	0	1	0
		女	29	0	6	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	1	1	1
C1903	大腿骨の骨折	男	35	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	85	0	1	0	0	0	0	84	0	0	0	0	0	0	0	0
C1904	その他の四肢の骨折	男	109	0	4	0	0	0	0	105	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	56	0	4	0	0	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0
C1905	多部位の骨折	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1906	多部位の脱臼、捻挫及びブストレイン	男	102	0	3	0	0	1	0	98	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	99	0	5	0	1	0	0	93	0	0	0	0	0	0	0	0
C1907	眼球及び眼窩の損傷	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1908	頭蓋内損傷	男	45	0	11	1	32	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		女	21	0	7	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1909	その他の内臓の損傷	男	25	0	11	2	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	8
		女	10	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
C1910	挫滅損傷及び外傷性切断	男	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コード	疾病分類名	総数	内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	神経内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	呼吸器外科	
C1911	部位不明及び多部位の損傷	男	101	0	47	3	18	3	0	23	0	0	0	2	0	1	0	0	4
		女	44	0	19	3	8	0	1	9	0	1	0	2	0	0	0	0	1
C1912	自然開口部からの異物侵入の作用	男	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		女	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C1913	熱傷及び腐食	男	7	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0
		女	8	0	3	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
C1914	薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	男	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	0
		女	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	1	7	0
C1915	薬用を主としない物質の毒作用	男	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		女	5	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0
C1916	虐待症候群	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1917	その他及び詳細不明の外因の作用	男	13	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	5	2	0
		女	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
C1918	外傷の早期合併症	男	13	0	3	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	1	1
		女	7	0	2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C1919	損傷、中毒及び外因による影響の続発・後遺	男	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2100	健康状態に影響をおよぼす要因、保健	男	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
		女	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
C2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2102	無症候性ヒト免疫不全ウイルス感染状態	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2103	予防接種	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2104	伝染病に関する健康障害をきたす恐れのある者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2105	避妊管理	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2106	分娩前スクリーニング及び妊娠管理	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2107	生殖に関連する保健サービスの利用者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2108	分娩後のケア及び検査	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2109	歯の補てつ	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2110	特定の処置及び保健ケアの保健サービスの利用者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
C2111	腎透析依存	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C2112	その他の理由による保健サービスの利用者	男	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
		女	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

※上記コードは疾病分類表（小分類）であり、数字は退院患者数と他科へ転科した患者数を合計した数です。